

令和3年度
南砺市総合計画市民意識調査
調査報告書

令和3年10月
南砺市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計と回収状況	1
3. 回答者の属性	1
本報告書を読む際の注意点	4
II 調査結果	5
III 自由意見集計結果	56
1. 記入状況	56
2. 意見分類一覧	56
3. 意見詳細	57

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、「第2次南砺市総合計画」におけるKPIの進捗状況などから施策の実行度合いや成果の把握の参考資料とすることを目的とする。

2. 調査設計と回収状況

(1) 調査の設計

調査対象者	南砺市在住の満18歳以上の方から2,500人
抽出方法	男女、年齢、地域に偏りがないよう無作為抽出
配布方法	郵送による配布
回収方法	郵送及びインターネット回答による回収
調査時期	令和3年

(2) 有効回答数と回収率

調査票発送数(人)	有効回答数(人)	回収率(%)
2,500	1,360	54.4%

3. 回答者の属性

(1) 性別・年齢

(上段:人、下段:%)

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	不明	合計
男性	11 0.8%	31 2.3%	38 2.8%	97 7.1%	108 7.9%	66 4.9%	110 8.1%	142 10.4%	1 0.1%	604 44.4%
女性	11 0.8%	36 2.6%	56 4.1%	124 9.1%	142 10.4%	76 5.6%	134 9.9%	174 12.8%	0 0.0%	753 55.4%
不明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	2 0.1%	3 0.2%
全体	22 1.6%	67 4.9%	94 6.9%	221 16.3%	250 18.4%	142 10.4%	244 17.9%	317 23.3%	3 0.2%	1,360 100%

(2) 家族

図1 家族構成 N=1,351

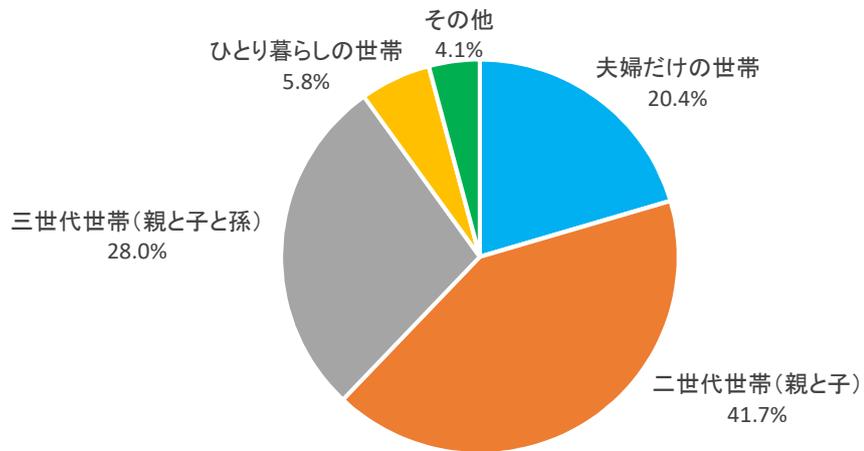


図2 配偶者 N=1,342

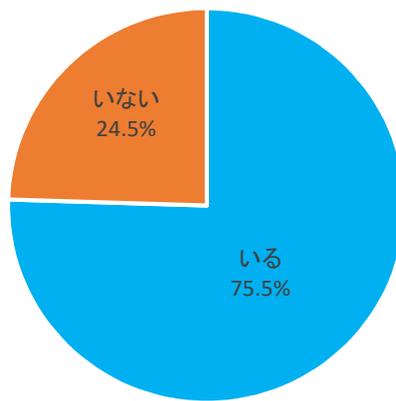
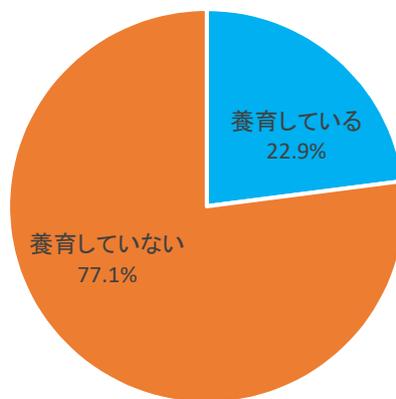


図3 子供(0歳~中学生) N=1,107



(3) 就労・就学

図4 就労・就学状況

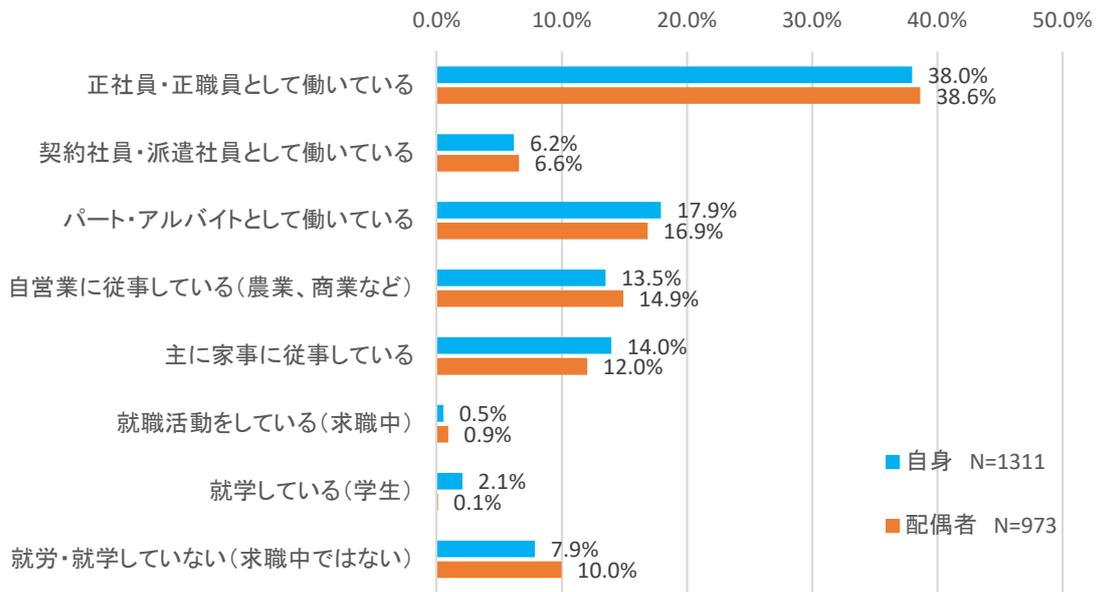
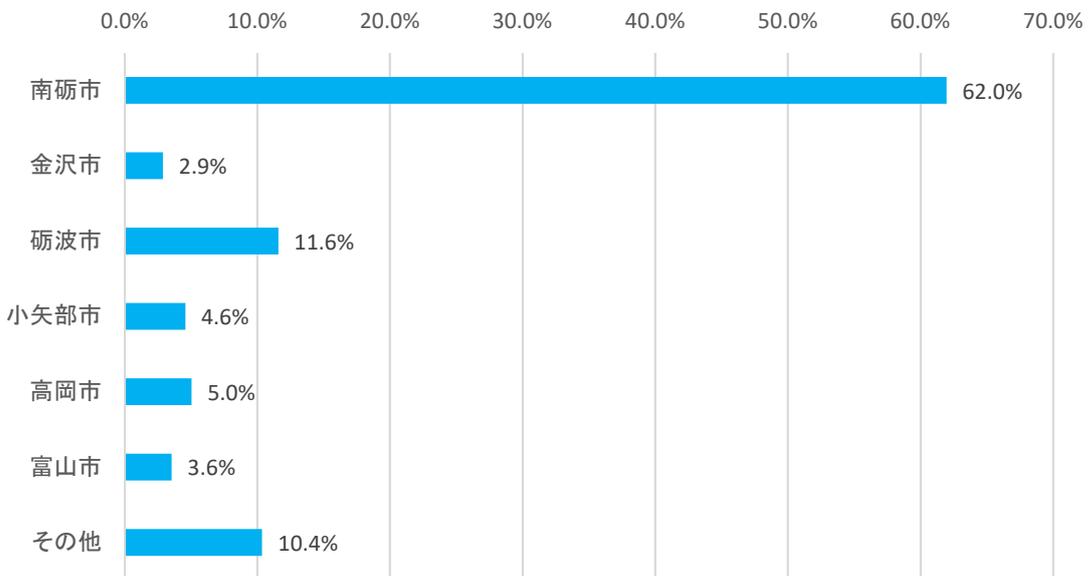


図5 就労・就学場所 N=1,070



(4)住まい

図6 お住まいの地域 N=1,345

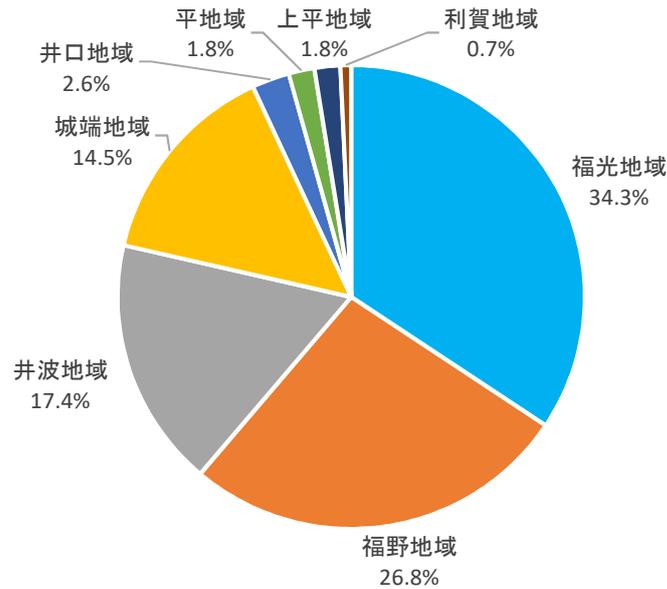
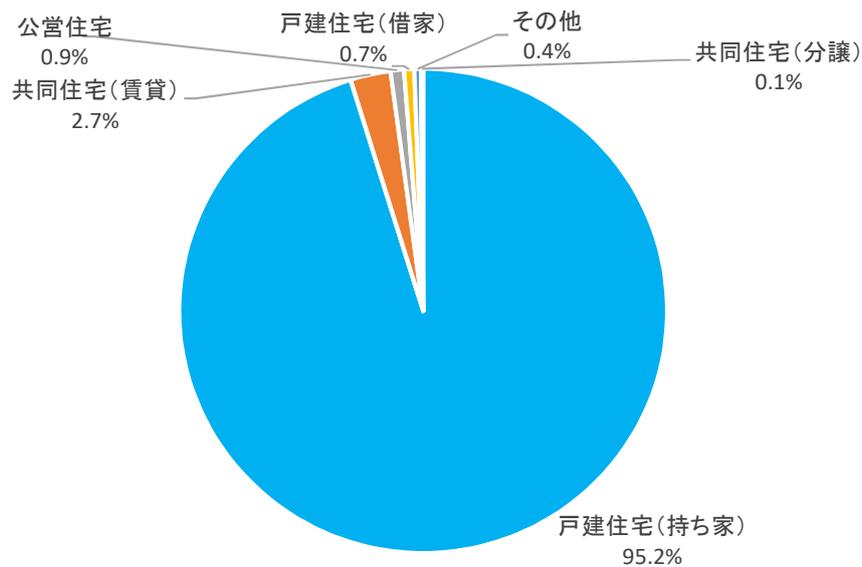


図7 お住まいの形態 N=1,351



本報告書を読む際の注意点

- ・調査結果は百分率で表示した。その百分率は小数第2位を四捨五入した。したがって、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。
- ・図表中に「N」とあるのは、質問に対する回答者総数で、回答比率(%)が何人の回答に相当するかを示す比率算出用である。
- ・全体の「N」は、属性不明の回答を含んでいるため、各属性個々の「N」の合計と合致しない。
- ・図表中に「MA」(Multiple Answer)と記してあるのは、1つの質問に対して2つ以上の回答(複数回答)を求めた場合を示し、その百分率は回答数を回答者数(N)で割った比率である。

II 調査結果

問10 あなたが買い物をする主な行き先はどこですか。

それぞれの目的に関して、買い物をする主な行き先をそれぞれ2つまで○印を付けてください。

食料品、日用雑貨の買い物は南砺市内が最も多くなっている。

目的ごとの買い物場所をみると、食料品は「南砺市内」が89.9%と最も多く、次いで「砺波市」が53.1%、「金沢市」が2.4%となっている。
 日用雑貨は、「南砺市内」が79.1%と最も多く、次いで「砺波市」が60.5%、「インターネット」が5.3%となっている。
 衣料品は、「砺波市」が64.1%と最も多く、次いで「南砺市」が38.3%、「高岡市」が18.8%となっている。
 電化製品は、「砺波市」が75.8%と最も多く、次いで「南砺市」が35.6%、「インターネット」が14.9%となっている。
 趣味に関するものは、「砺波市」が44.1%と最も多く、次いで「インターネット」が30.0%、「南砺市」が28.2%となっている。

図1 目的ごとの買い物場所(MA)

	南 砺 市	砺 波 市	小 矢 部 市	高 岡 市	射 水 市	富 山 市	金 沢 市	イ ン タ ー ネ ッ ト	そ の 他 通 信 販 売	そ の 他
食料品 N=1,353	89.9	53.1	0.5	1.6	0.7	0.7	2.4	1.6	0.6	1.4
日用雑貨 N=1,329	79.1	60.5	0.2	3.8	0.4	1.1	4.0	5.3	1.1	1.4
衣料品 N=1,326	38.3	64.1	3.5	18.8	0.2	5.2	14.0	12.4	4.3	2.3
電化製品 N=1,320	35.6	75.8	0.2	7.3	0.1	1.4	5.1	14.9	2.7	1.3
趣味に関するもの N=1,278	28.2	44.1	0.9	17.9	0.6	7.0	14.1	30.0	4.7	4.4

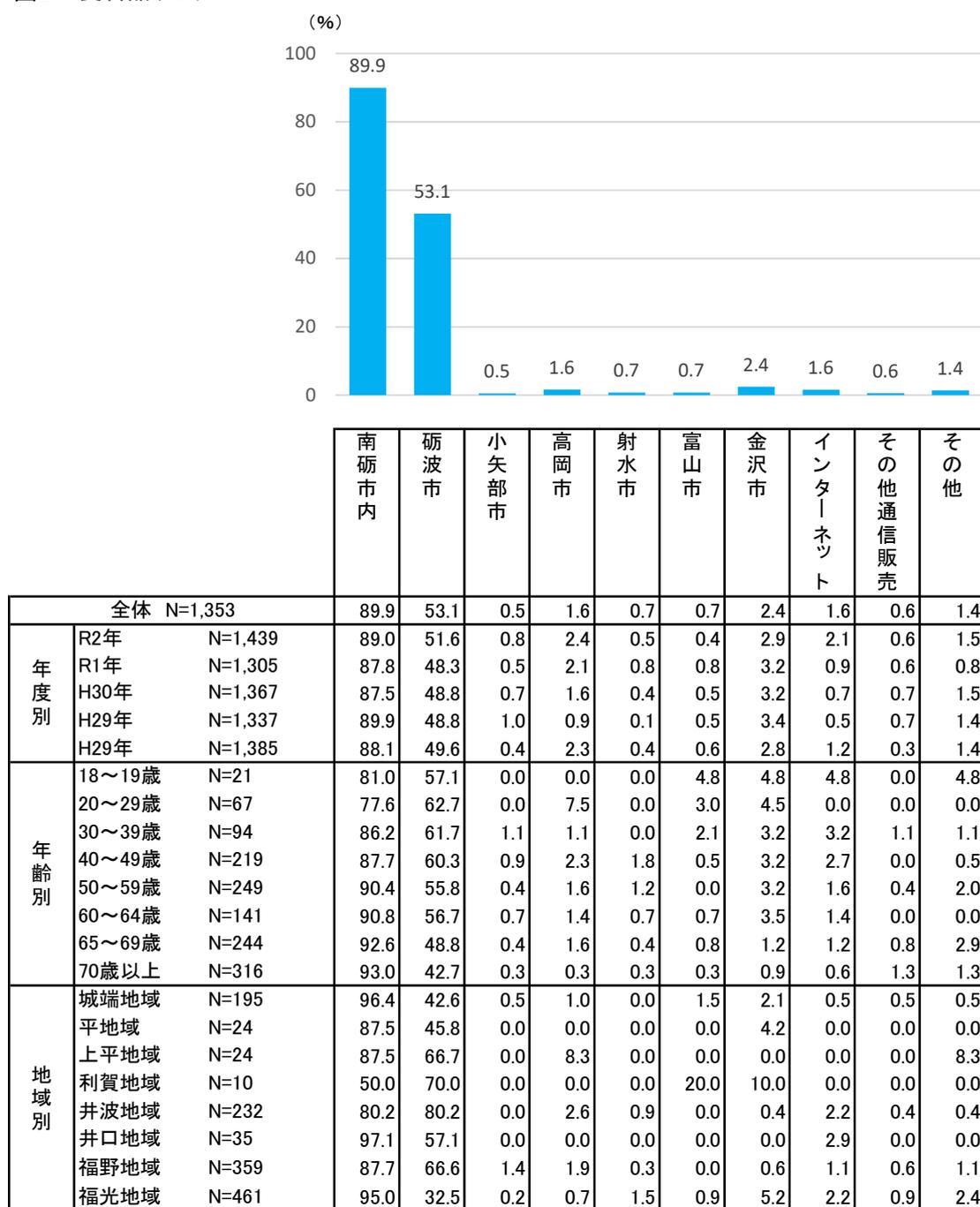
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

(1) 食料品

全体の9割は食料品を南砺市内で購入している。

食料品についてみると、「南砺市内」が89.9%と最も多く、次いで「砺波市」が53.1%、「金沢市」が2.4%となっている。年度別にみると、「南砺市内」や「砺波市」で購入する割合が増えてきている。また、「インターネット」で購入する割合も年々増えてきている。年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ南砺市内で購入する傾向にあるようだ。また、若くなるにつれ金沢市で購入する傾向となっている。

図2 食料品(MA)



※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

(2) 日用雑貨

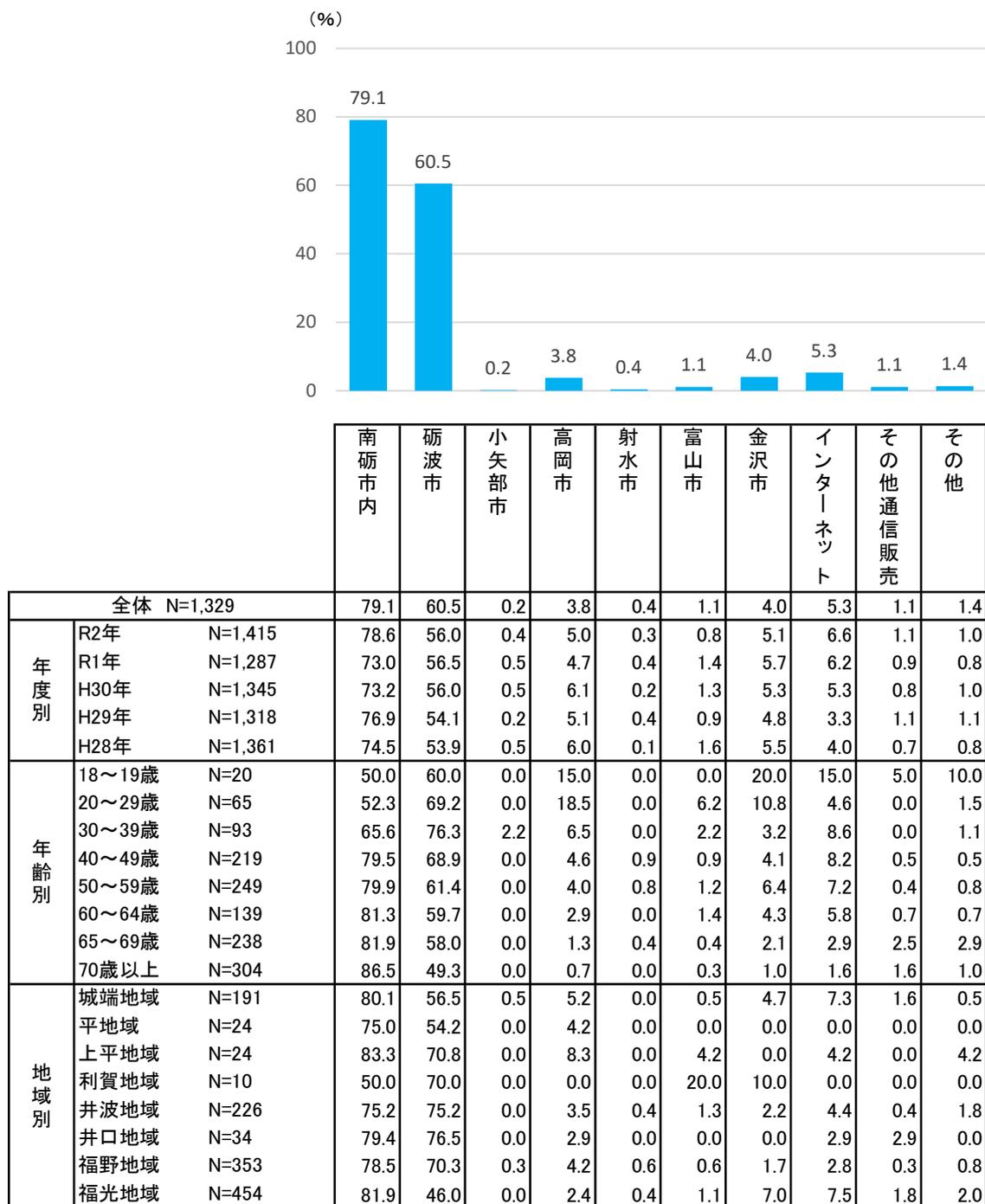
全体の8割は日用雑貨を南砺市で購入している。

日用雑貨についてみると、「南砺市内」が79.1%と最も多く、次いで「砺波市」が60.5%、「インターネット」が5.3%となっている。

年度べつにみると、食料品と同様に「南砺市内」「砺波市」「インターネット」で購入する割合が増えてきている。

年齢別にみると、年齢が高いほど「南砺市内」が多くなっている。

図3 日用雑貨(MA)



※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

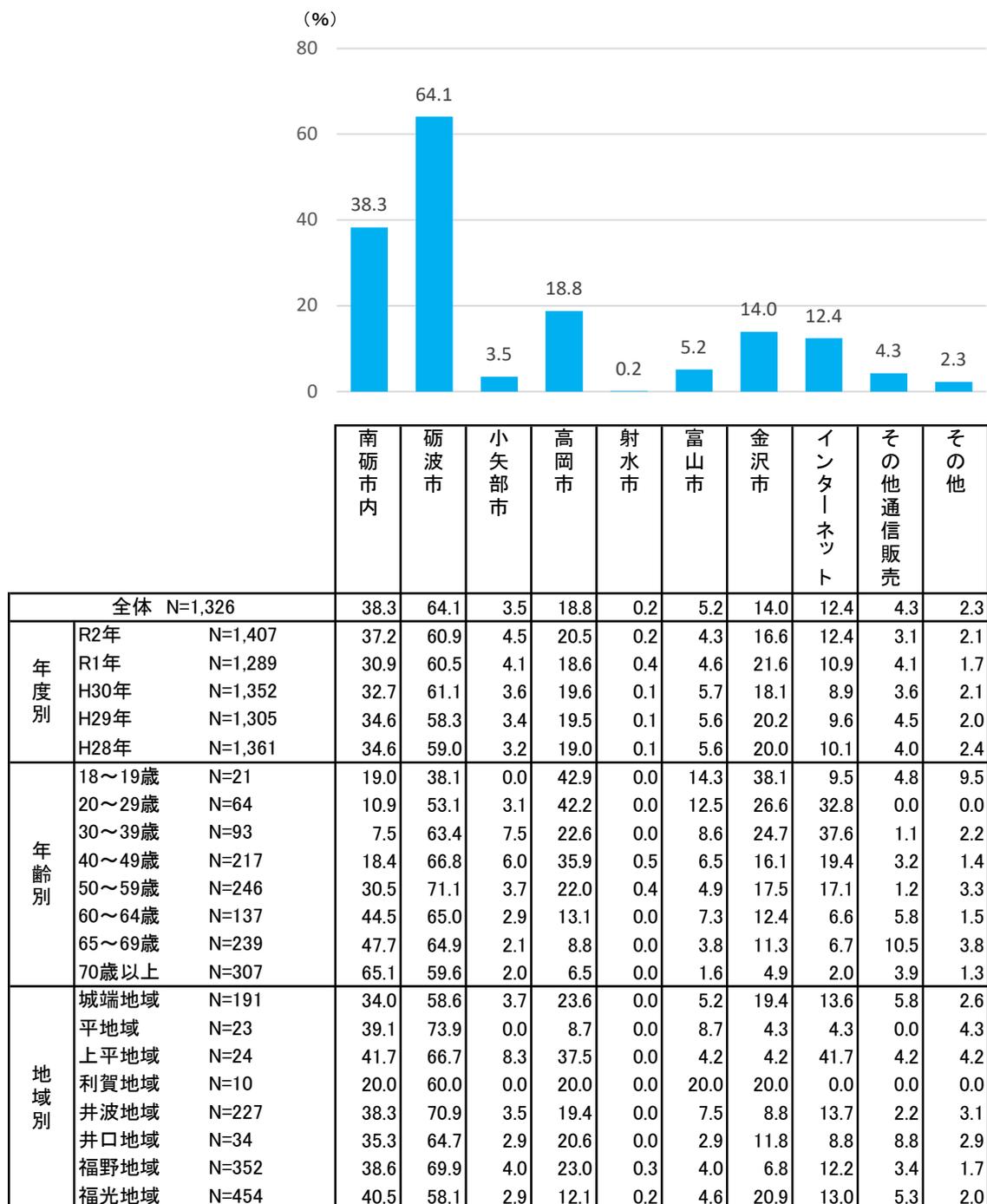
(3)衣料品

全体の6割は衣料品を砺波市で購入している。

衣料品についてみると、「砺波市」が64.1%と最も多く、次いで「南砺市」が38.3%、「高岡市」が18.8%となっている。年度別にみると、「南砺市」は一昨年まで減少傾向にあったが、昨年度より増加してきている。また、「インターネット」も昨年度より増加の傾向にある。

年齢別にみると、年齢が高いほど「南砺市内」が多い傾向にあり、若いほど「高岡市」「富山市」「金沢市」「インターネット」が多い傾向にある。

図4 衣料品(MA)



※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

(4) 電化製品

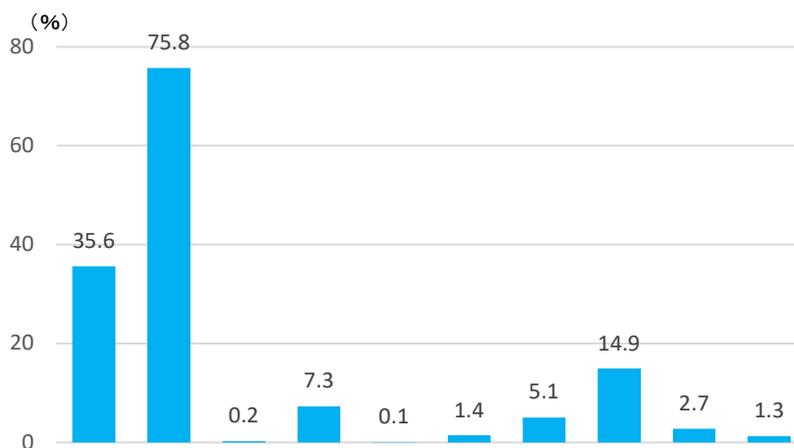
全体の7割強は電化製品を砺波市で購入している。

電化製品についてみると、「砺波市」が75.8%で最も多く、次いで「南砺市内」が35.6%、「インターネット」が14.9%となっている。

年度別にみると、「インターネット」の割合が増加の傾向にある。

年齢別にみると、年齢が高いほど「南砺市内」が多い傾向にあり、一方で若いほど「金沢市」や「高岡市」が多い傾向にある。

図5 電化製品(MA)



		南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,326		35.6	75.8	0.2	7.3	0.1	1.4	5.1	14.9	2.7	1.3
年度別	R2年 N=1,402	35.0	74.4	0.3	9.6	0.2	1.7	5.8	15.5	1.6	1.0
	R1年 N=1,276	30.2	74.7	0.5	7.6	0.2	1.8	7.3	14.1	1.5	0.9
	H30年 N=1,338	30.7	76.2	0.1	7.8	0.1	1.6	5.8	12.1	1.4	1.4
	H29年 N=1,303	32.3	75.4	0.5	7.4	0.0	1.4	6.3	11.4	1.1	1.5
	H28年 N=1,356	31.9	75.2	0.3	9.5	0.0	2.8	5.6	10.1	1.3	1.3
年齢別	18～19歳 N=20	30.0	60.0	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0	20.0	5.0	10.0
	20～29歳 N=65	16.9	75.4	1.5	12.3	0.0	6.2	9.2	24.6	1.5	1.5
	30～39歳 N=92	13.0	81.5	1.1	15.2	0.0	4.3	7.6	29.3	0.0	0.0
	40～49歳 N=217	22.6	84.8	0.5	14.3	0.0	1.4	9.2	22.6	0.5	0.5
	50～59歳 N=246	31.3	78.0	0.0	7.7	0.4	0.8	8.5	21.1	2.0	1.2
	60～64歳 N=138	34.8	81.9	0.0	5.8	0.0	2.2	1.4	9.4	3.6	1.4
	65～69歳 N=240	44.2	72.5	0.0	3.8	0.0	0.8	2.9	7.9	5.4	1.3
70歳以上 N=300	53.3	66.3	0.0	1.7	0.0	0.3	0.0	5.7	3.3	1.7	
地域別	城端地域 N=190	45.8	69.5	0.5	7.9	0.0	1.1	5.3	15.8	3.7	0.0
	平地域 N=24	58.3	66.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	上平地域 N=24	41.7	91.7	4.2	8.3	0.0	4.2	4.2	16.7	0.0	4.2
	利賀地域 N=10	10.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域 N=226	23.0	87.6	0.0	5.8	0.0	0.9	1.3	15.5	4.4	1.3
	井口地域 N=34	29.4	91.2	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0	14.7	5.9	0.0
	福野地域 N=352	22.7	88.9	0.3	10.5	0.0	1.4	1.7	13.1	1.1	0.3
福光地域 N=448	47.5	60.7	0.0	5.1	0.2	1.3	9.8	17.2	2.7	2.2	

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

(5) 趣味に関するもの

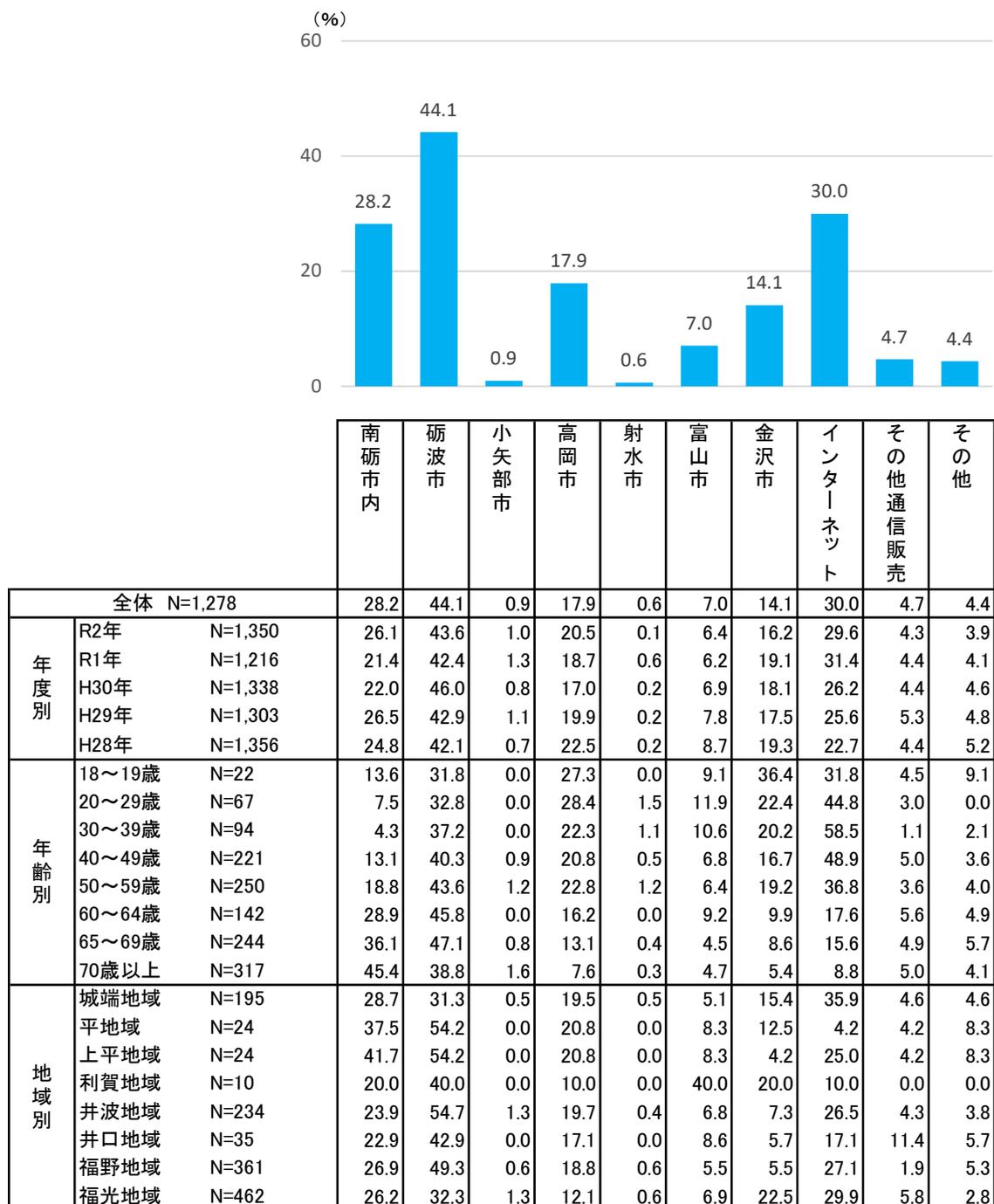
趣味に関するものの買い物場所は分散傾向にある。

趣味に関するものについてみると、「砺波市」が44.1%と最も多く、次いで「インターネット」が30.0%、「南砺市内」が28.2%、「高岡市」が17.9%、「金沢市」が14.1%となっている。

年度別にみると、「南砺市内」「インターネット」で購入する割合が増えてきている。

年齢別にみると、年例が高いほど「南砺市内」が多い傾向にあり、若いほど「金沢市」が多い傾向にある。

図6 趣味に関するもの(MA)



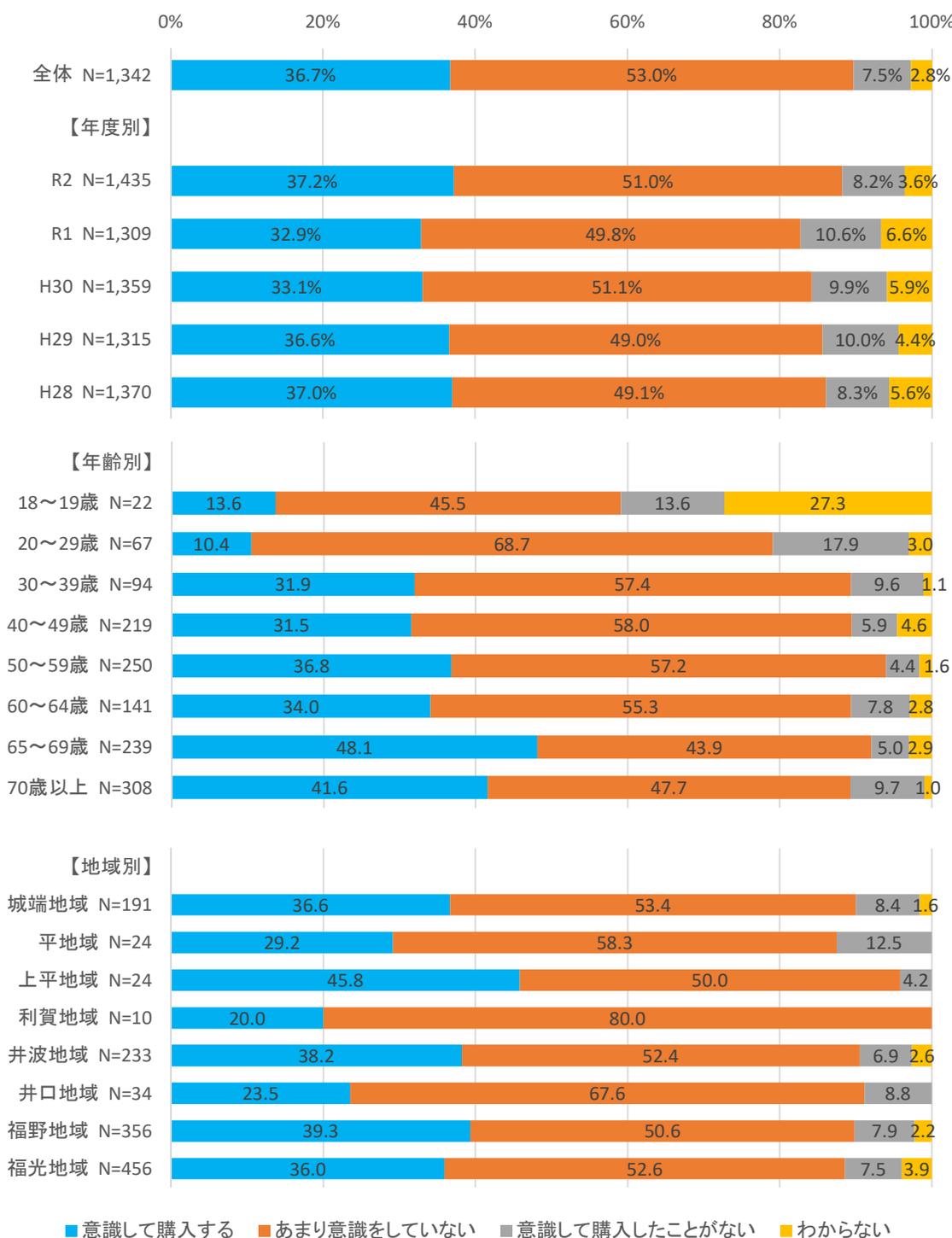
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問11 あなたは、地場産の食材を意識して購入していますか。

全体の3割は地場産の食材を意識して購入している。

地場産の食材を意識して購入しているかをみると、「意識して購入する」が36.7%、「あまり意識をしていない」が53.0%、「意識して購入したことがない」が7.5%、「わからない」が2.8%となっている。
年齢が高いほど「意識して購入する」傾向にある。

図7 地場産食材の購入意識



問12 あなたは、1日のうち平均どの程度、家事や育児などを行っていますか。

男性の2割が休日の2時間以上家事等を行っている。

休日の男女別家事等(家事・育児・介護)時間をみると、「2時間以上(「2時間以上3時間未満」+「3時間以上4時間未満」+「4時間以上」)家事等を行う男性の割合は19.2%で女性は67.7%となった。
 男性の家事の平均時間をみると、平日で「していない」+「1時間未満」が80.2%、休日で70.9%となった。女性の家事の平均時間をみると、「1時間以上」の割合が平日で84.1%、休日で84.6%となった。

図8 [全体] 平日・休日の家事・育児・介護時間

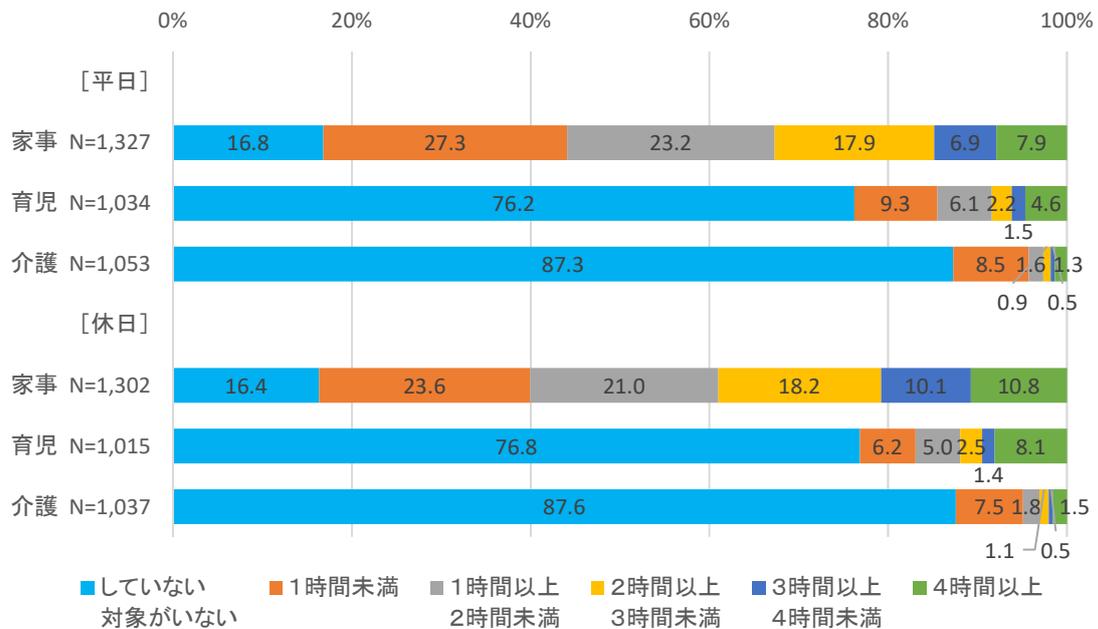


図9 [男女別] 休日の家事・育児・介護時間

(1時間未満 0.5 / 1時間以上、2時間未満 1.5 / 2時間以上、3時間未満 2.5 / 3時間以上、4時間未満 3.5 / 4時間以上 4.5として計算)

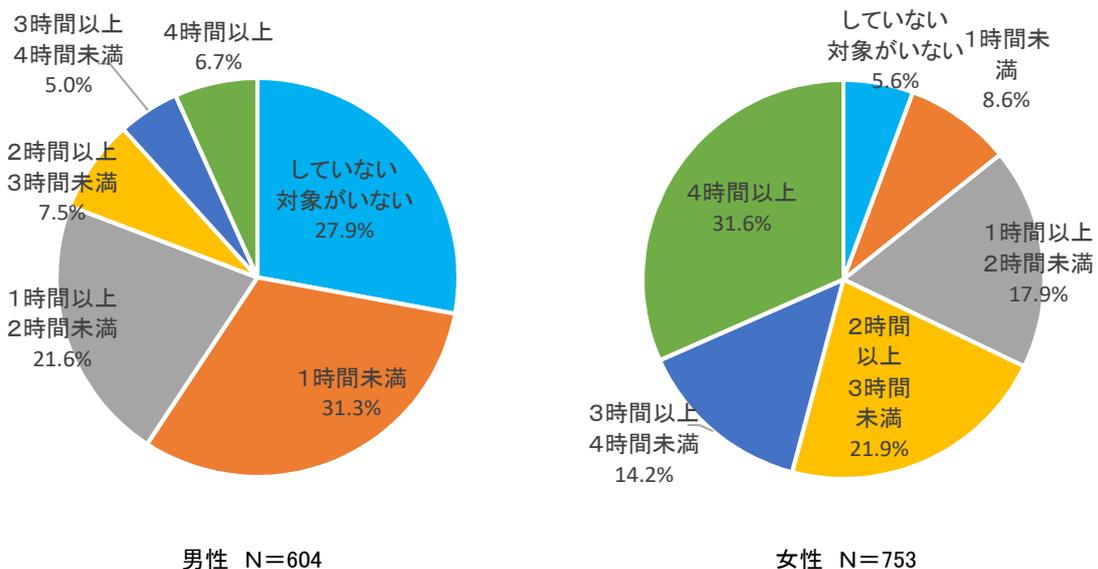


図10 [男女別] 平日の平均家事・育児時間

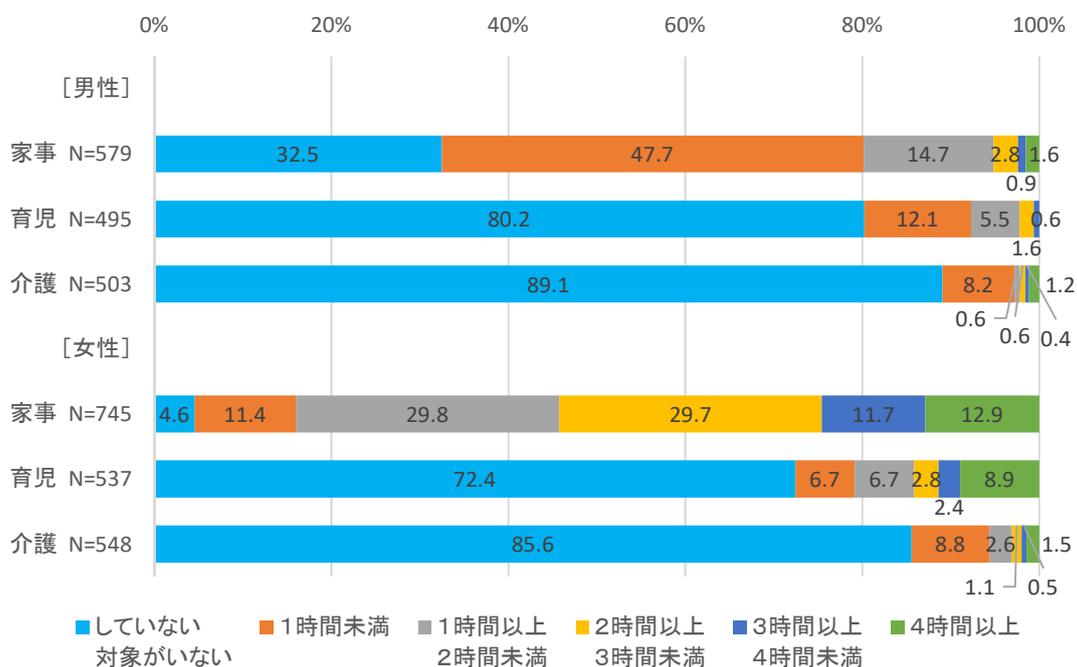
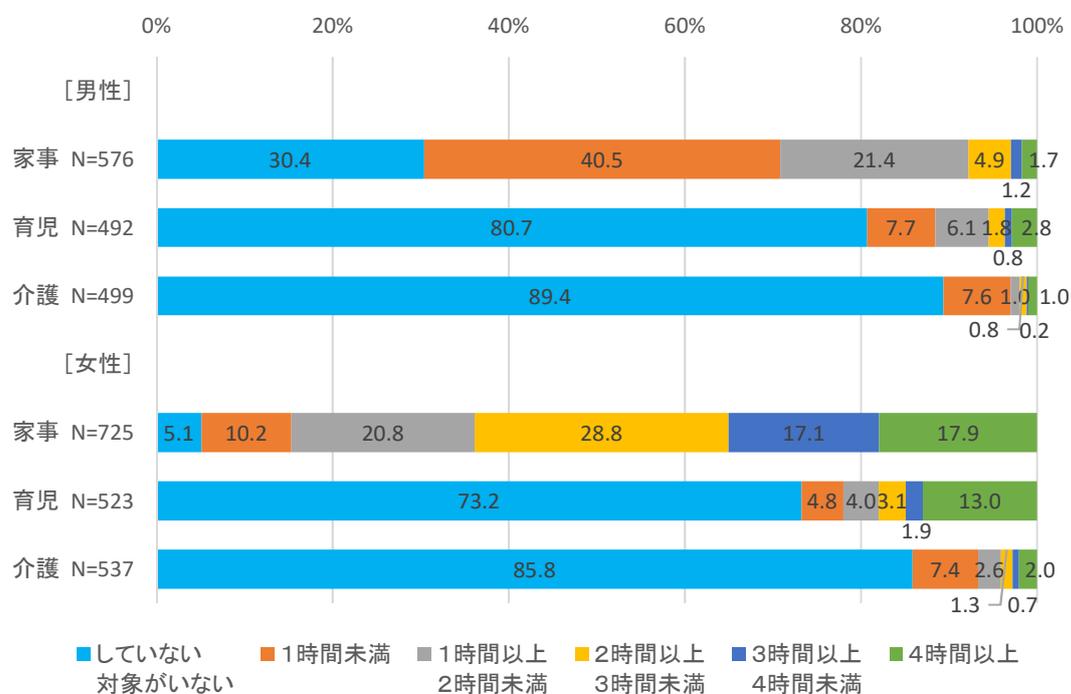


図11 [男女別] 休日の平均家事・育児時間



問13 あなたは、次の情報通信機器を利用していますか。利用している場合、それらを快適に利用できていますか。

全体の8割はインターネットを快適に利用できている。

情報通信機器の利用状況を見ると、インターネット(パソコン)を利用している方は57.1%、インターネット(スマホ、タブレット)を利用している方は84.1%、携帯電話を利用している方は40.8%、FAXを利用している方は26.2%となった。
 情報通信機器の快適さについてみると、インターネット(スマホ、タブレット)は「快適に利用できている割合(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う)」が80.4%、インターネット(パソコン)は80.3%、携帯電話は78.9%、FAXは74.6%となっている。

図12 情報通信機器の利用状況

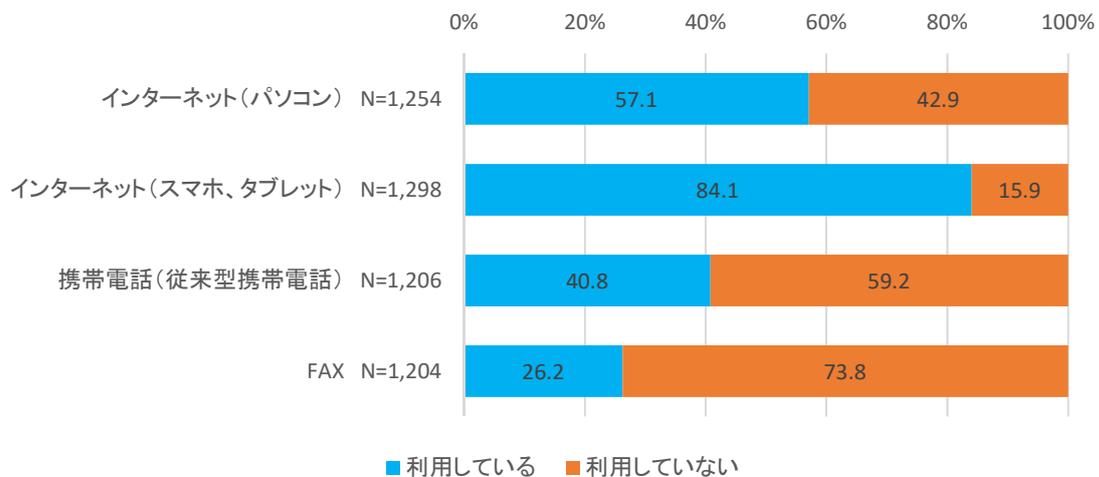
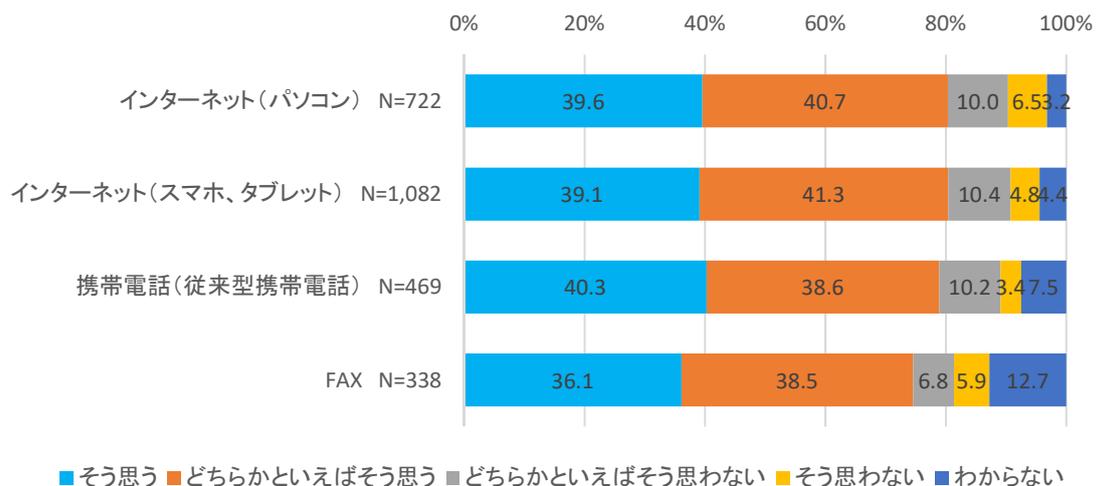


図13 情報通信機器の快適さ



問14 問13でインターネット(スマホ、タブレット)を利用している「1」と回答した方にお聞きます。使うアプリは何ですか。

スマートフォン、タブレット利用者の3割がLINEを使用している。

スマホ、タブレットでインターネットを利用している方が使用するアプリについてみると、「LINE」が30.4%と最も多く、次いで「Youtube」が20.4%、「キャッシュレス決済(PayPayなど)」が17.5%となっている。
 使用者の年齢層でみると、「Twitter」と「Instagram」は若い年齢の利用者が多く、「南砺市防災」と「LINE」は年齢が高い層が多い。

図14 スマートフォン、タブレット利用者の使用アプリ N=3,131

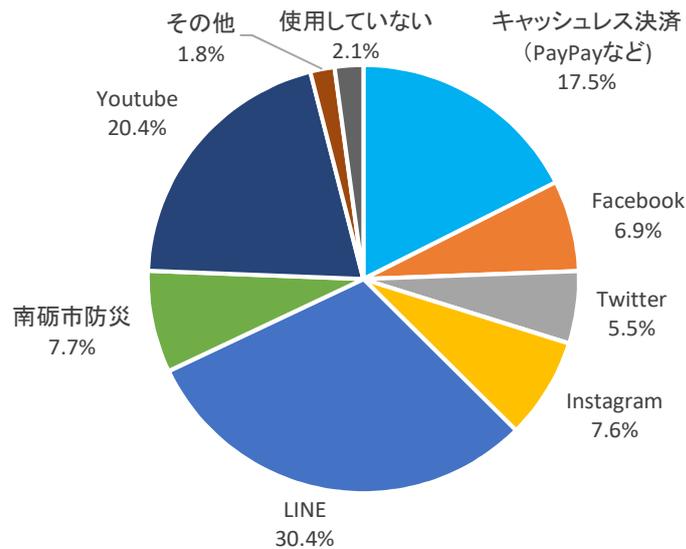
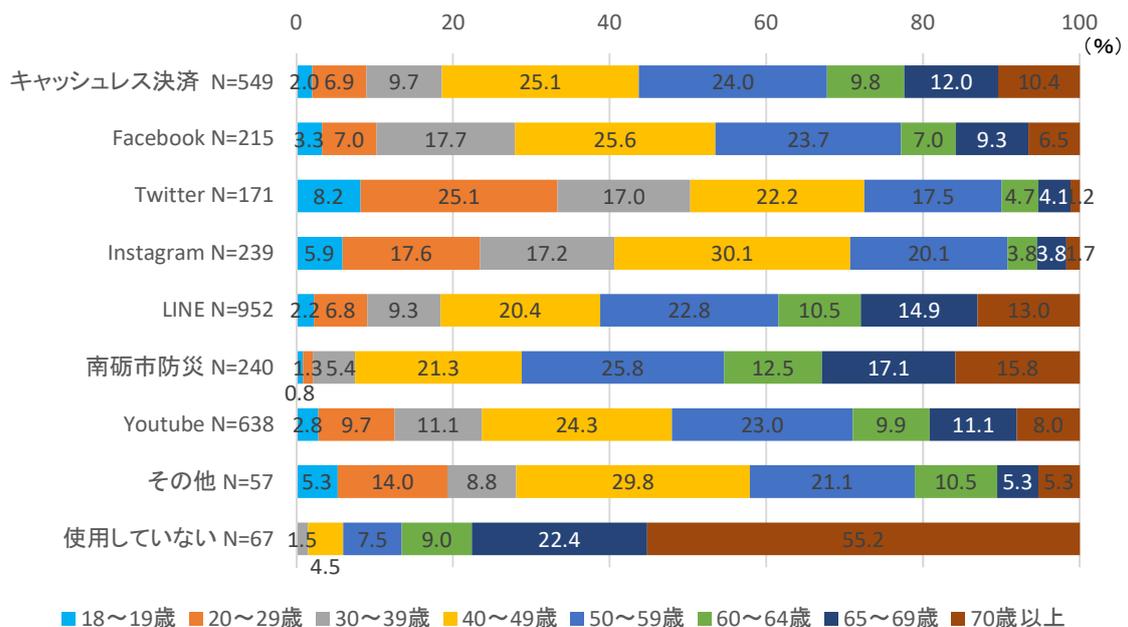


図15 アプリ毎の利用者年齢層



問15 テレワークの実施やオンライン授業に参加したことはありますか。

全体の7割強はテレワークやオンライン授業に参加したことがない。

テレワークやオンライン授業の参加状況を見ると、「参加したことはない」が75.1%となっている。
 選択肢別にみると、「テレワークの実施」、「オンライン授業に参加」、「オンライン講演会に参加」と回答した人の年齢は59歳までの方が約8割を占めているが、「参加したことはない」と回答した方の年齢は分散傾向にある。

図16 テレワーク等の参加状況 N=1,279

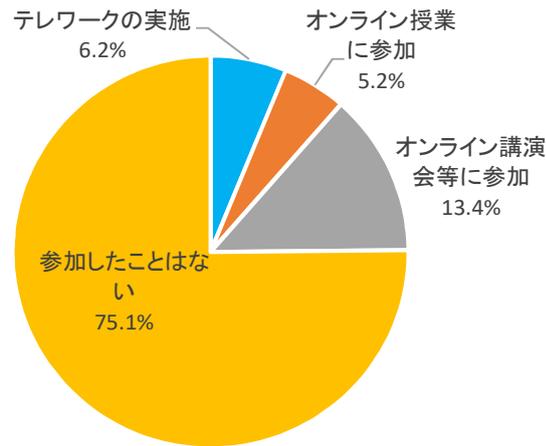
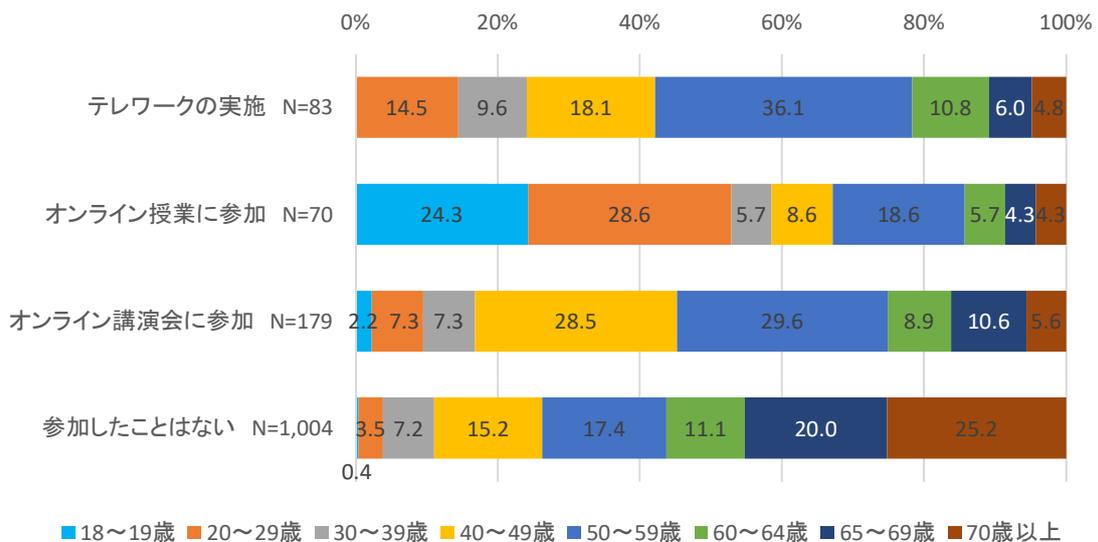


図17 テレワーク等の参加年齢層



問16 今後、デジタル化されることを期待する行政手続きや行政サービスは何ですか。

「各種届出・証明書の取得」のデジタル化が期待されている。

デジタル化を期待する行政手続きや行政サービスについては、「各種届出・証明書の取得」が54.6%と最も多く、次いで「医療・健康」38.6%、「防災、災害」が31.4%となっている。
項目別にみると、「学校教育」と「子育て、保育」と回答した方の内、30歳～49歳が46.9%と51.0%と半数を占めている。

図18 デジタル化を期待する行政サービス N=1,245

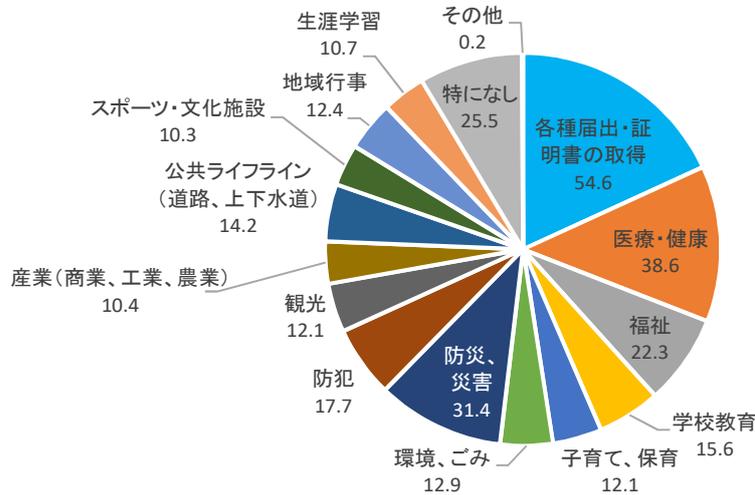
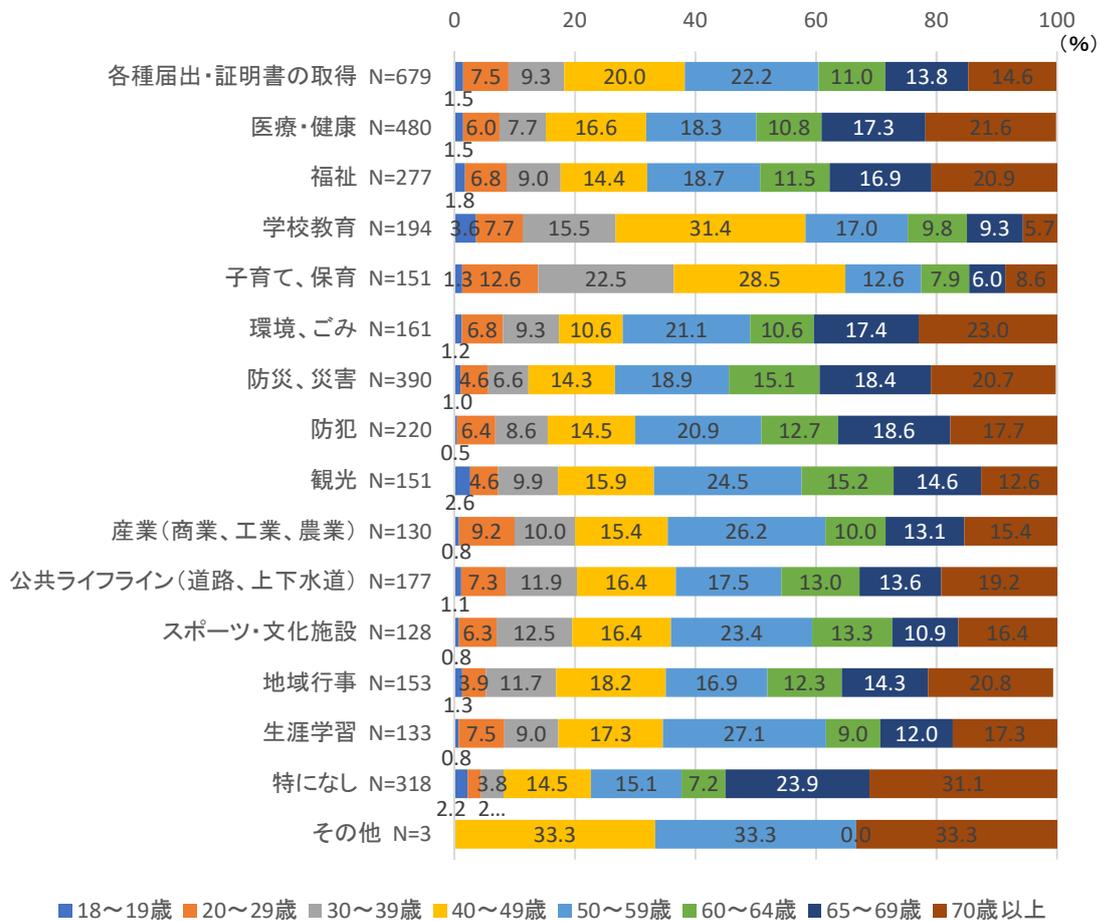


図19 デジタル化を期待する行政サービス毎の年齢層

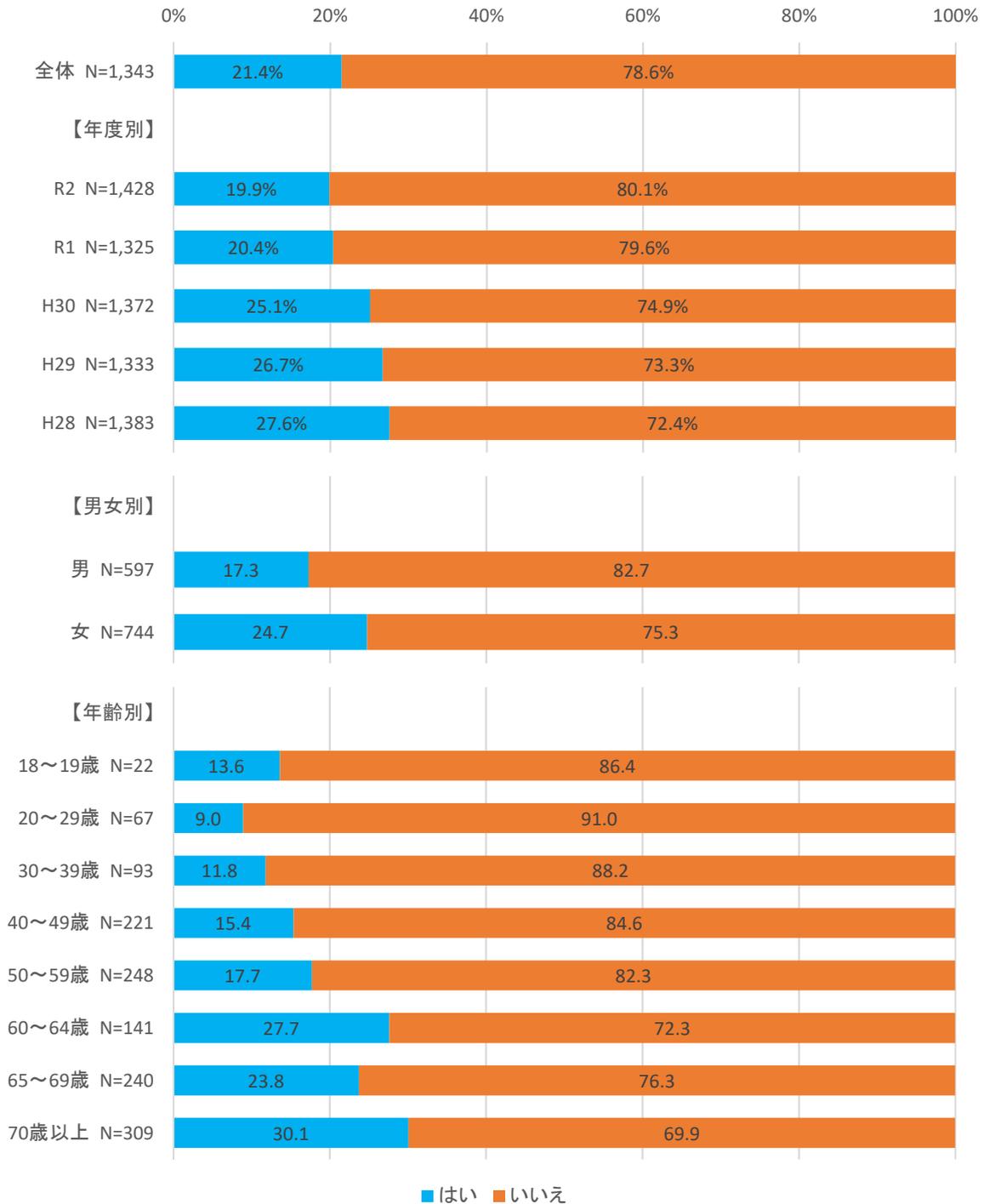


問17 あなたは、日頃から学習活動(市や地区交流センター(公民館)、民間が開催する講座、教室、サークル、講演会及び個人が自宅で行う学習)に取り組んでいますか。

全体の2割強は日頃から学習活動に取り組んでいる。

日頃の学習活動の取組状況をみると、「はい(取り組んでいる)」が21.4%、「いいえ(取り組んでいない)」が78.6%となっている。
 年齢別にみると、年齢が高いほど「はい(取り組んでいる)」が多い傾向にある。
 また、男女別にみると女性が男性に比べて「はい(取り組んでいる)」が多くなっている。

図20 学習活動の取組み状況

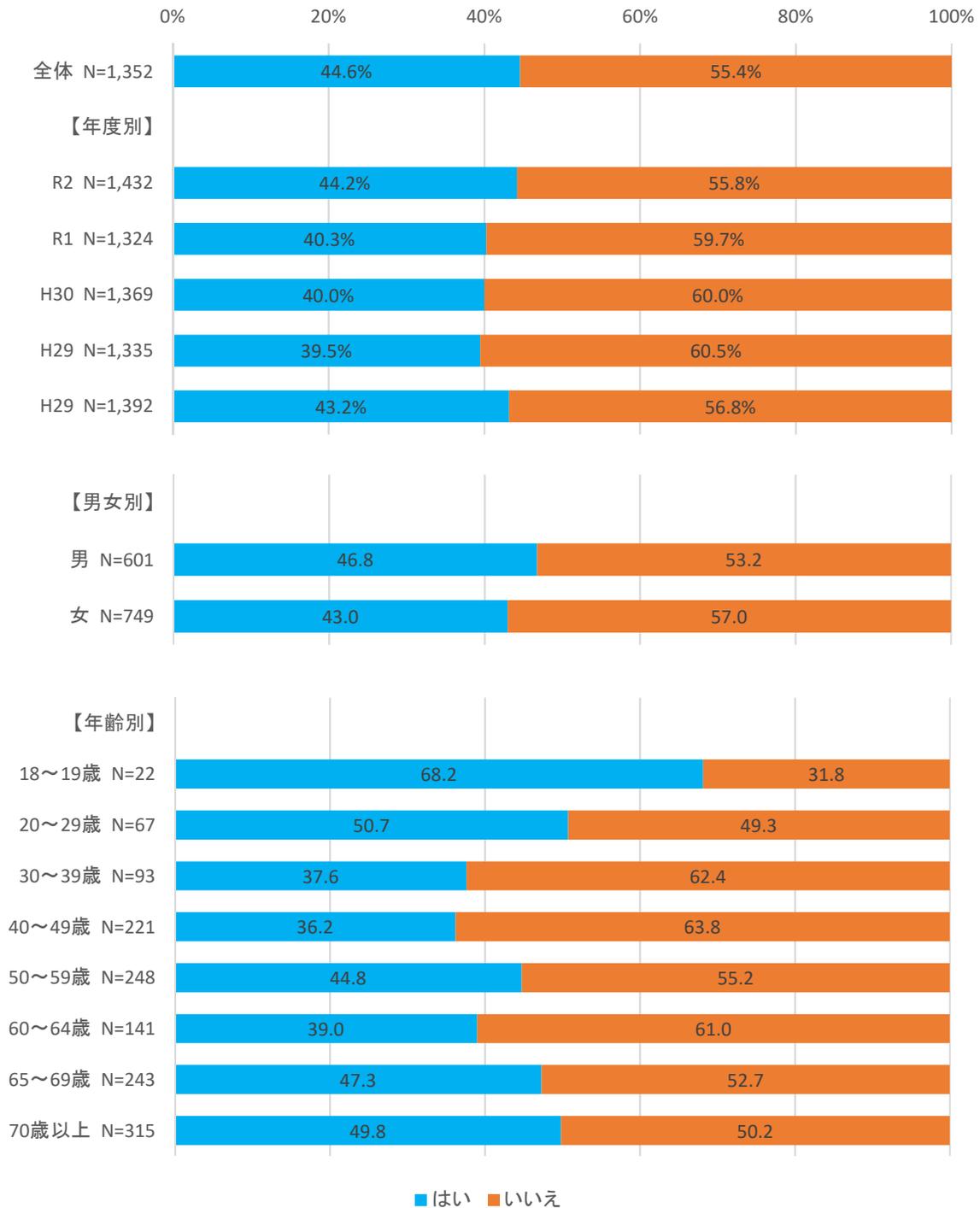


問18 あなたは、日頃からスポーツ・運動(散歩、体操を含む)を行っていますか。

全体の約4割は日頃からスポーツ・運動を行っている。

日頃のスポーツ・運動の状況を見ると、「はい(行っている)」が44.6%、「いいえ(行っていない)」が55.4%となっている。
 年齢別にみると、母体数が少ない19歳以下を除くと、20歳～29歳は「はい(行っている)」が50.7%と最も多く、次いで70歳以上の49.8%となっている。
 男女別にみると、男性が女性に比べて「はい(行っている)」が多くなっている。

図21 スポーツ・運動の実施状況

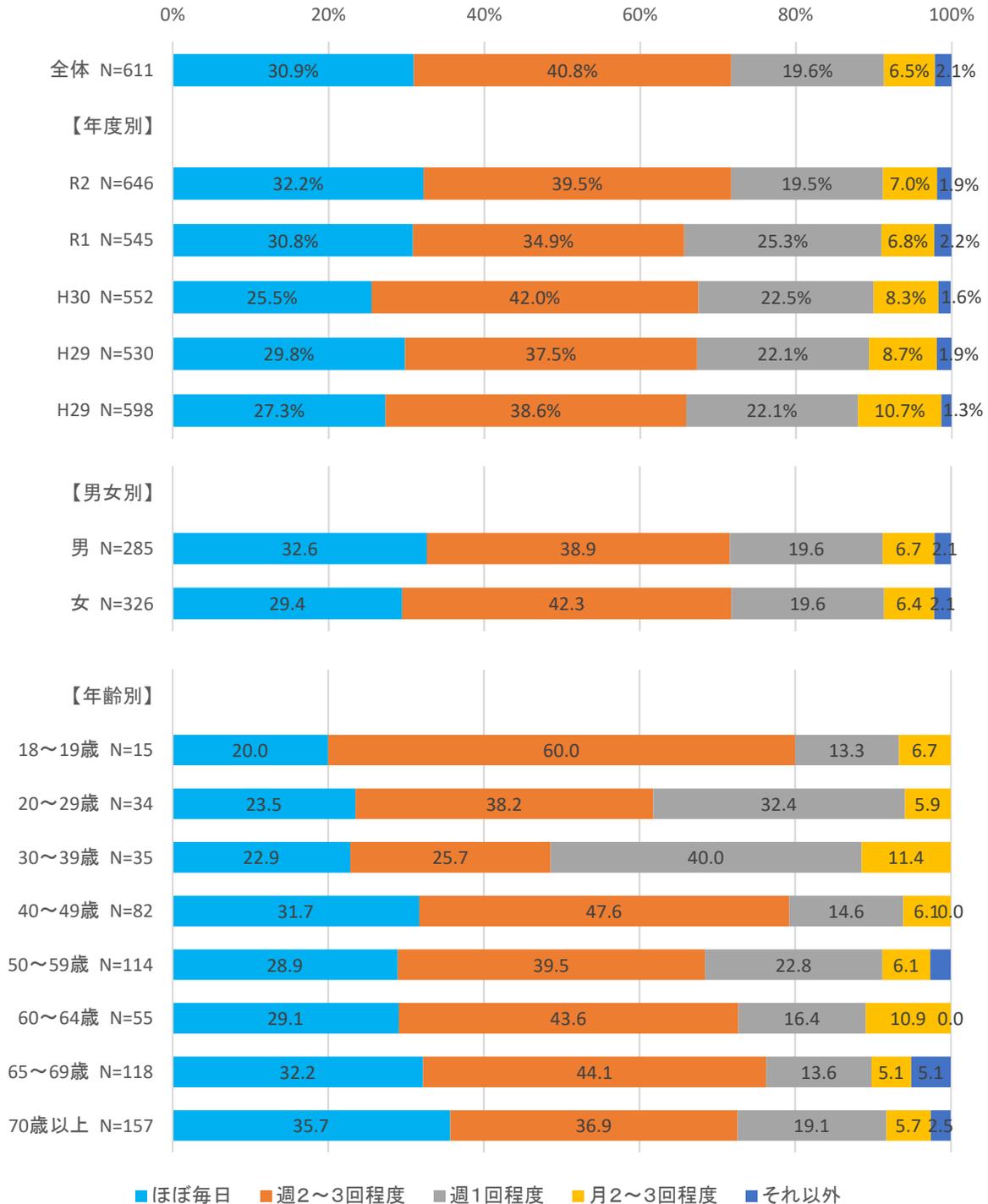


問19 問18で「1.はい」と回答した方にお聞きします。どれぐらいの頻度でスポーツ・運動(散歩、体操を含む)を行っていますか。

スポーツ・運動の頻度は週2～3回程度が最も多くなっている。

スポーツ・運動を行っている方について、スポーツ・運動の頻度をみると、「ほぼ毎日」が30.9%、「週2～3回程度」が40.8%、「週1回程度」が19.6%、「月2～3回程度」が6.5%などとなっている。
年齢別にみると、70歳以上は「ほぼ毎日」が35.7%と最も多くなっており、年齢が高いほど「ほぼ毎日」が多い傾向にある。

図22 スポーツ・運動の頻度

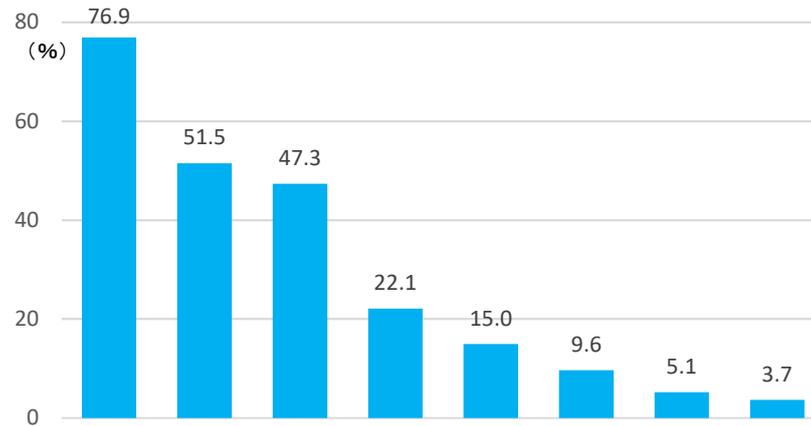


問20 問18で「1. はい」と回答した方にお聞きします。あなたがスポーツ・運動(散歩、体操を含む)をする主な理由は何ですか。

健康維持・体力増進のところが最も多くなっている。

スポーツ・運動をする理由をみると、「健康維持・体力増進のため」が76.9%と最も多く、次いで「楽しみや、ストレス解消、気分転換のため」が51.5%、「運動不足を感じるから」が47.3%などとなっている。
 年度別にみると、各理由の割合はここ6年間大きな変化はなかった。
 年齢別にみると、年齢が高いほど「健康維持・体力増進のため」が多い傾向にある。

図23 スポーツ・運動をする理由(MA)



		健康維持・体力増進のため	楽しみや、気分転換のため	運動不足を感じるから	美容や肥満解消のため	家族の仲のよい友達	心身の鍛錬や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	その他
全体 N=603		76.9	51.5	47.3	22.1	15.0	9.6	5.1	3.7
年度別	R2年 N=636	74.2	51.1	51.1	19.7	13.1	7.7	4.9	3.6
	R1年 N=529	72.2	54.3	46.1	18.5	17.6	11.5	6.2	4.2
	H30年 N=554	69.7	51.6	48.2	17.1	16.8	10.5	3.8	4.9
	H29年 N=526	71.1	51.7	50.0	21.5	18.8	11.0	5.9	4.0
	H28年 N=603	69.2	48.9	43.8	21.4	19.4	10.8	6.0	4.3
年齢別	18～19歳 N=15	53.3	46.7	26.7	26.7	26.7	13.3	13.3	6.7
	20～29歳 N=34	52.9	58.8	47.1	11.8	11.8	17.6	8.8	2.9
	30～39歳 N=35	68.6	54.3	40.0	11.4	11.4	11.4	0.0	2.9
	40～49歳 N=80	73.8	45.0	41.3	5.0	5.0	10.0	7.5	1.3
	50～59歳 N=110	75.5	52.7	48.2	3.6	3.6	10.0	8.2	0.9
	60～64歳 N=57	73.7	45.6	49.1	7.0	7.0	7.0	5.3	1.8
	65～69歳 N=115	82.6	53.0	49.6	3.5	3.5	5.2	0.9	0.9
70歳以上 N=156	85.9	53.2	51.3	2.6	2.6	10.9	4.5	0.6	
地域別	城端地域 N=79	77.2	38.0	51.9	32.9	15.2	11.4	7.6	5.1
	平地地域 N=7	100.0	57.1	42.9	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
	上平地地域 N=14	92.9	42.9	57.1	14.3	0.0	21.4	0.0	0.0
	利賀地域 N=7	42.9	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域 N=113	77.0	54.0	50.4	20.4	14.2	7.1	0.9	2.7
	井口地域 N=15	73.3	66.7	26.7	6.7	13.3	6.7	0.0	13.3
	福野地域 N=160	71.9	46.3	45.6	23.8	16.9	9.4	5.6	3.1
	福光地域 N=201	80.6	59.7	45.8	20.9	14.4	10.9	7.5	4.0

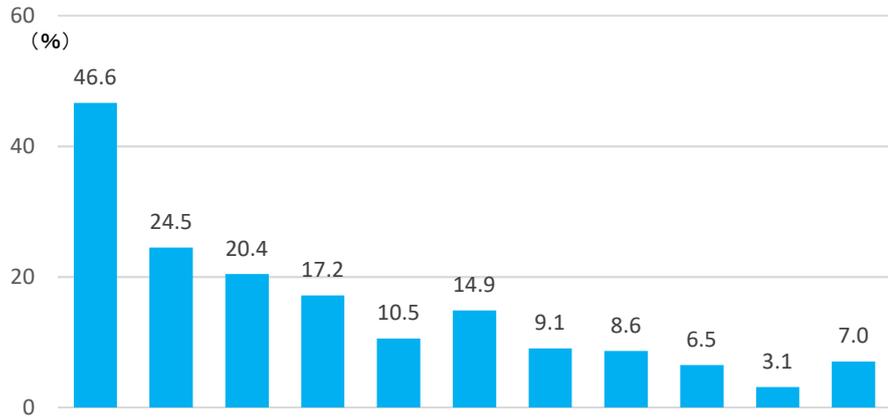
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問21 問18で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。あなたがスポーツ・運動(散歩、体操を含む)をしない理由は何ですか。

仕事が忙しくて時間が取れないが最も多くなっている。

スポーツ・運動をしない理由をみると、「仕事が忙しくて時間がとれない」が46.6%と最も多く、次いで「特に理由はない」が24.5%、「運動が好きではない、苦手だから」が20.4%などとなっている。
年齢別にみると、30～39歳は「仕事が忙しくて時間がとれない」が68.4%と最も多く、次いで50～59歳が61.0%、40～49歳が60.3%となっている。

図24 スポーツ・運動をしない理由(MA)



	仕事を(家事、育児、介護を含む)が忙しくて時間がとれないから	特に理由はない	運動が好きではない、苦手だから	年をとって体力に自信がないから	お金がかかるから	他にやりたいことがあるから	仲間がいないから	身近に場所や施設がないから	体が弱いから	指導者が教えてくれないから	その他	
全体 N=740	46.6	24.5	20.4	17.2	10.5	14.9	9.1	8.6	6.5	3.1	7.0	
年度別	R2年 N=783	45.6	26.8	20.7	11.5	10.6	17.5	10.7	7.9	5.5	2.9	5.9
	R1年 N=784	55.5	24.1	19.6	15.4	12.9	11.5	9.9	7.9	5.4	1.5	6.1
	H30年 N=832	52.5	23.8	18.0	16.2	13.9	11.9	11.9	10.2	5.2	3.4	6.4
	H29年 N=808	50.0	21.3	18.6	15.5	9.4	12.3	11.0	9.8	4.8	2.1	5.4
	H28年 N=794	56.0	19.9	19.0	14.1	11.2	12.1	11.7	6.9	6.3	2.0	4.9
年齢別	18～19歳 N=7	14.3	28.6	42.9	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3
	20～29歳 N=33	48.5	9.1	30.3	0.0	18.2	21.2	18.2	27.3	0.0	9.1	3.0
	30～39歳 N=57	68.4	17.5	28.1	3.5	12.3	15.8	10.5	14.0	1.8	7.0	3.5
	40～49歳 N=141	60.3	22.7	20.6	8.5	12.1	10.6	7.1	7.8	6.4	1.4	6.4
	50～59歳 N=136	61.0	21.3	16.2	11.0	10.3	16.9	5.1	5.9	2.9	1.5	5.9
	60～64歳 N=84	45.2	22.6	21.4	17.9	10.7	10.7	10.7	10.7	6.0	2.4	15.5
	65～69歳 N=125	33.6	28.0	16.0	25.6	8.8	17.6	9.6	4.8	6.4	2.4	7.2
70歳以上 N=156	25.6	32.1	21.2	32.7	9.0	14.7	10.3	7.7	13.5	4.5	5.8	
地域別	城端地域 N=109	45.0	25.7	25.7	22.9	10.1	15.6	6.4	5.5	10.1	0.0	6.4
	平地地域 N=17	41.2	17.6	11.8	11.8	5.9	17.6	0.0	5.9	5.9	0.0	11.8
	上平地地域 N=10	60.0	20.0	30.0	0.0	10.0	40.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0
	利賀地域 N=3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	井波地域 N=118	49.2	23.7	16.9	15.3	7.6	14.4	7.6	9.3	5.9	3.4	11.0
	井口地域 N=21	33.3	23.8	14.3	19.0	9.5	14.3	19.0	14.3	4.8	4.8	19.0
	福野地域 N=200	47.5	24.0	21.5	18.0	11.5	16.0	9.0	6.0	4.0	4.0	6.0
	福光地域 N=256	46.9	25.0	19.9	16.0	11.3	13.3	10.9	9.8	7.8	2.7	5.5

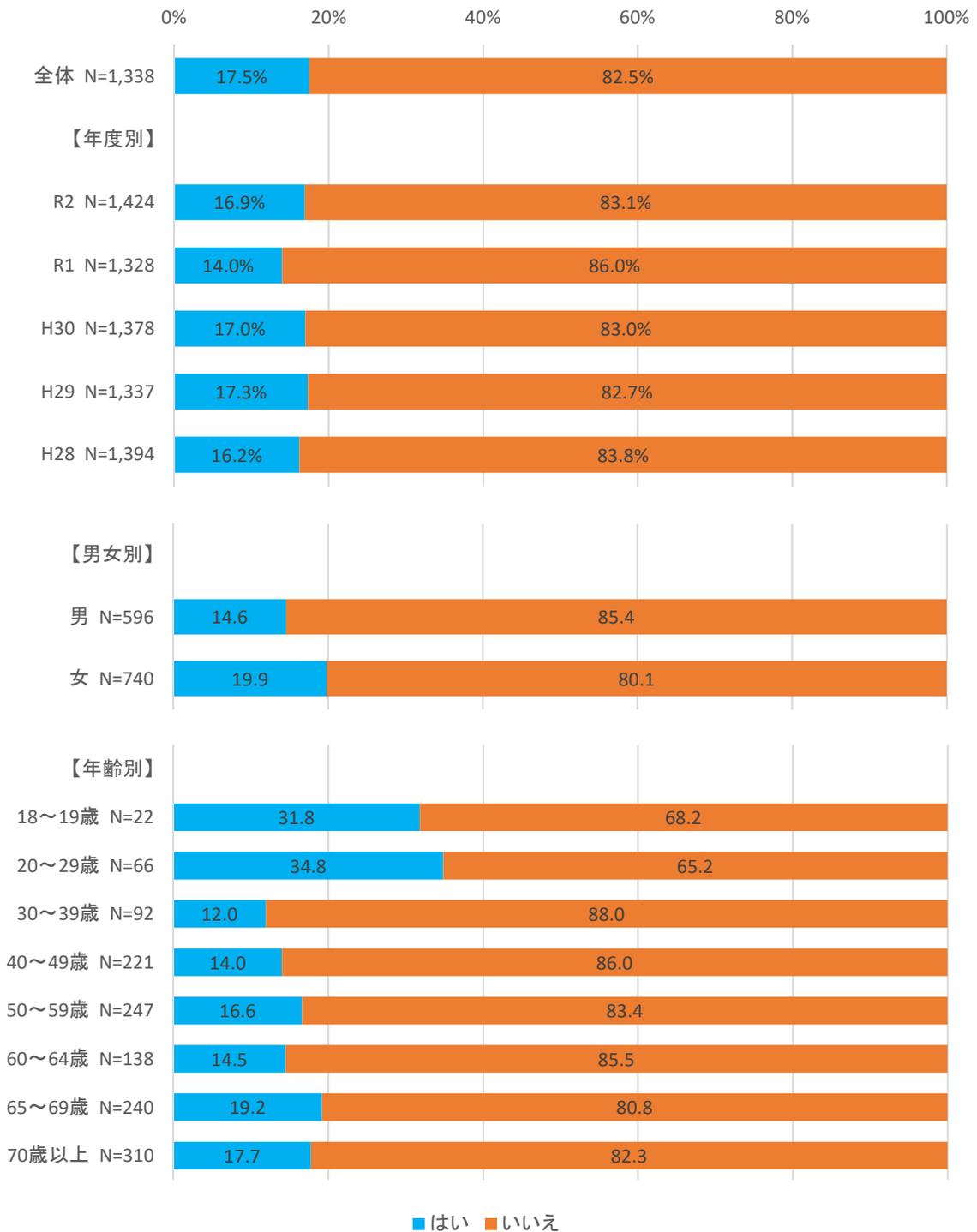
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問22 あなたは、積極的に文化活動(音楽、踊り、文芸、写真など)を行っていますか。

積極的に文化活動を行っているのは全体の1割強となっている。

文化活動の取組状況を見ると、「はい(行っている)」が17.5%、「いいえ(行っていない)」が82.5%となっている。
 年齢別にみると、20～29歳は「はい(行っている)」が34.8%と最も多く、次いで18～19歳が31.8%となっている。

図25 文化活動の取組み状況



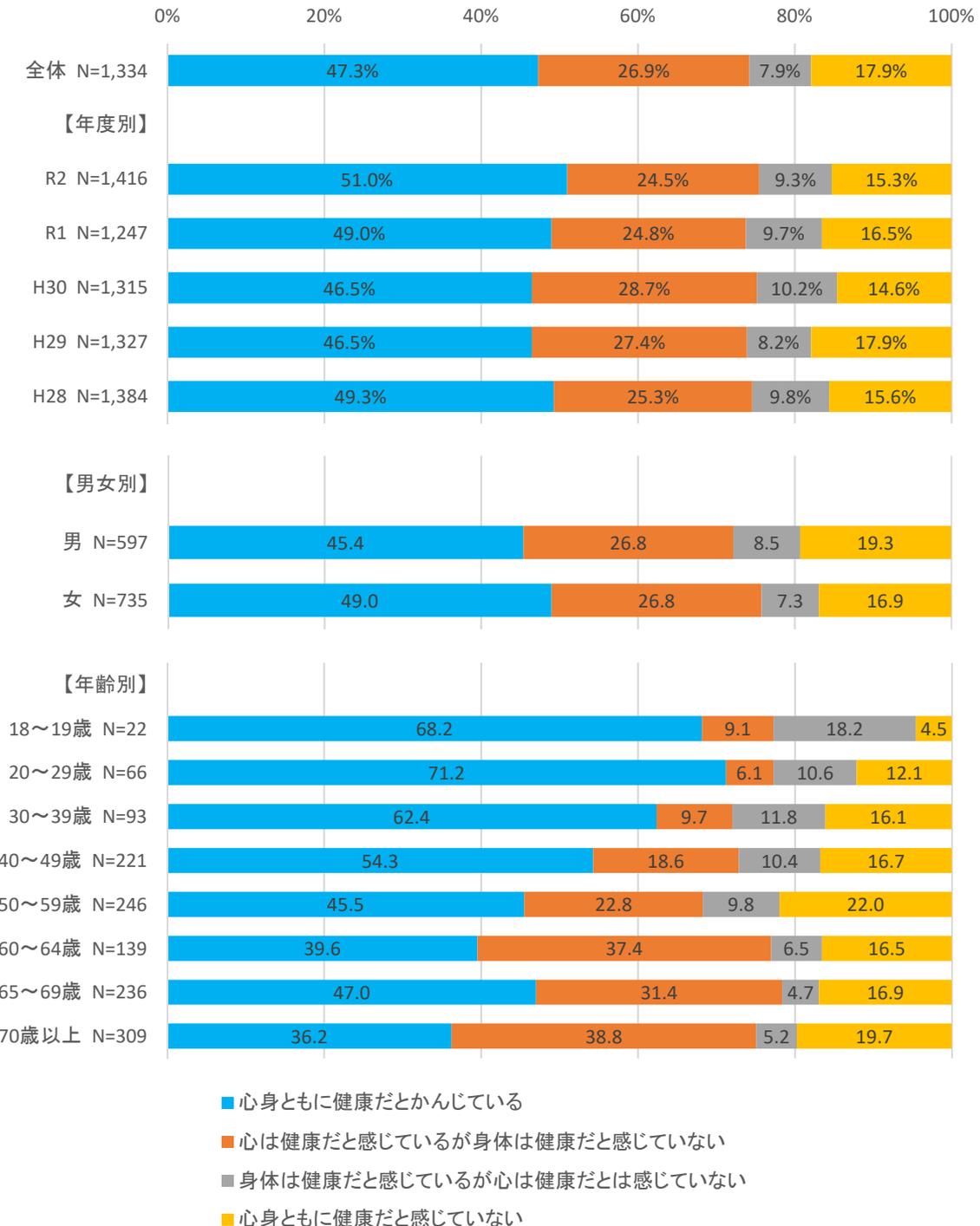
問23 あなたは、心身ともに健康ですか。

全体の4割強は心身ともに健康だと感じている。

心身ともに健康かについてみると、「心身ともに健康だと感じている」が47.3%、「心は健康だと感じているが身体は健康だとは感じていない」が26.9%、「体は健康だと感じているが心は健康だとは感じていない」が7.9%、「心身ともに健康だとは感じていない」が17.9%となっている。

年齢別にみると、年齢が若いほど「心身ともに健康だと感じている」が多い傾向にある。男女別にみると、女性が男性に比べて「心身ともに健康だと感じている」が若干多かった。

図26 心身ともに健康か



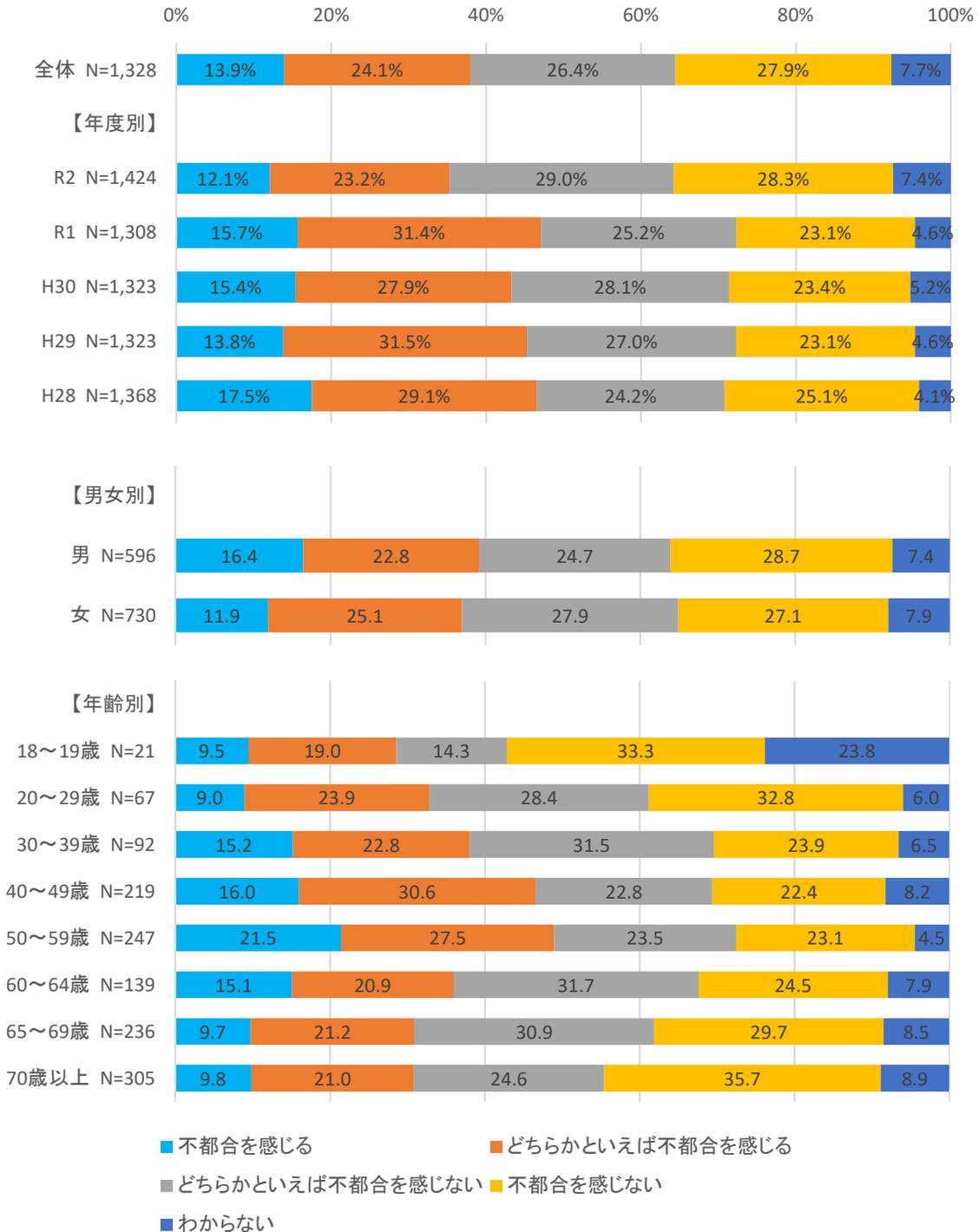
問24 あなたは身近な生活道路(市道等)を通行する際に不都合を感じますか。

全体の4割は生活道路に不都合を感じている。

生活道路の状況を見ると、「不都合を感じる」が13.9%、「どちらかといえば不都合を感じる」が24.1%、「どちらかといえば不都合を感じない」が26.4%、「不都合を感じない」が27.9%などとなっており、「不都合を感じている割合(「不都合を感じる」+「どちらかといえば不都合を感じる」)」は38.0%となっている。

年齢別にみると、50～59歳が「不都合に感じている割合」が49.0%が最も多く、50～59歳から年齢が離れるにつれて割合が低くなる傾向となっている。

図27 生活道路の状況



問25 あなたは、次の公共交通機関を使いやすいと感じますか。
また、最近1年間に次の公共交通機関をよく利用しましたか。

**全体の9割強は公共交通機関をあまり利用していない。
使いやすいと感じている割合はタクシーが最も多くなっている。**

公共交通機関の最近一年間の利用状況を見ると、いずれの公共交通機関も「あまり利用しなかった」が9割強となっている。

次に、公共交通機関の使いやすさをみると、「使いやすいと感じている割合（「使いやすいと感じる」+「どちらかといえば使いやすいと感じる」）はタクシーが21.1%と最も多く、次いで「JR城端線」が19.4%となっている。

しかし、「使いやすいと感じていない割合（「使いやすいと感じない」+「どちらかといえば使いやすいと感じない」）は、「JR城端線」が42.2%と他に比べて最も多くなっている。

図28 最近1年間の利用状況

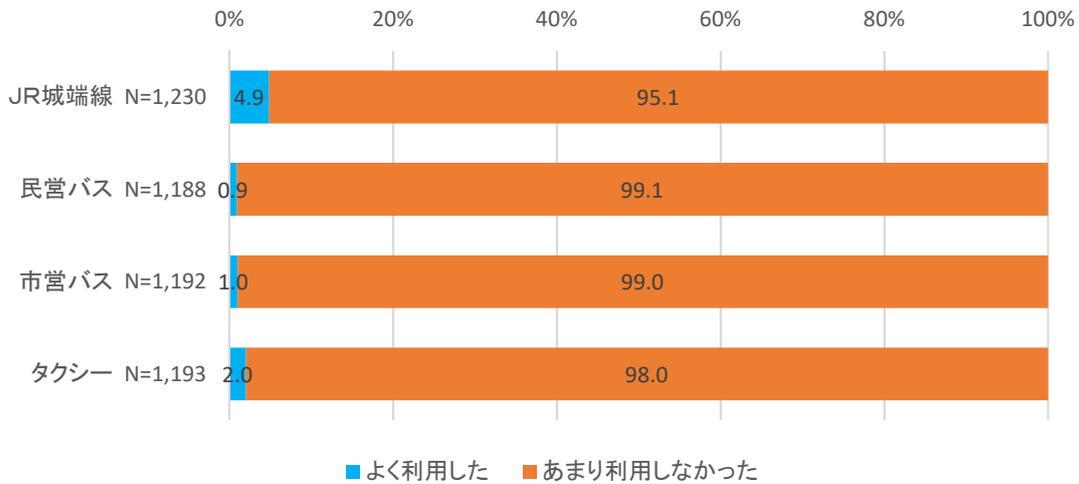
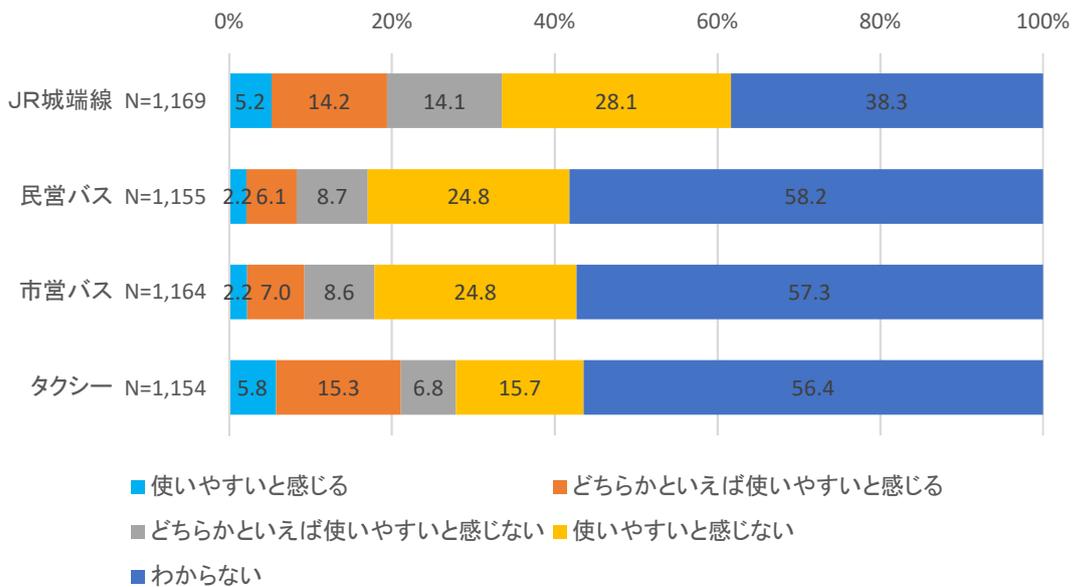


図29 公共交通機関の使いやすさ

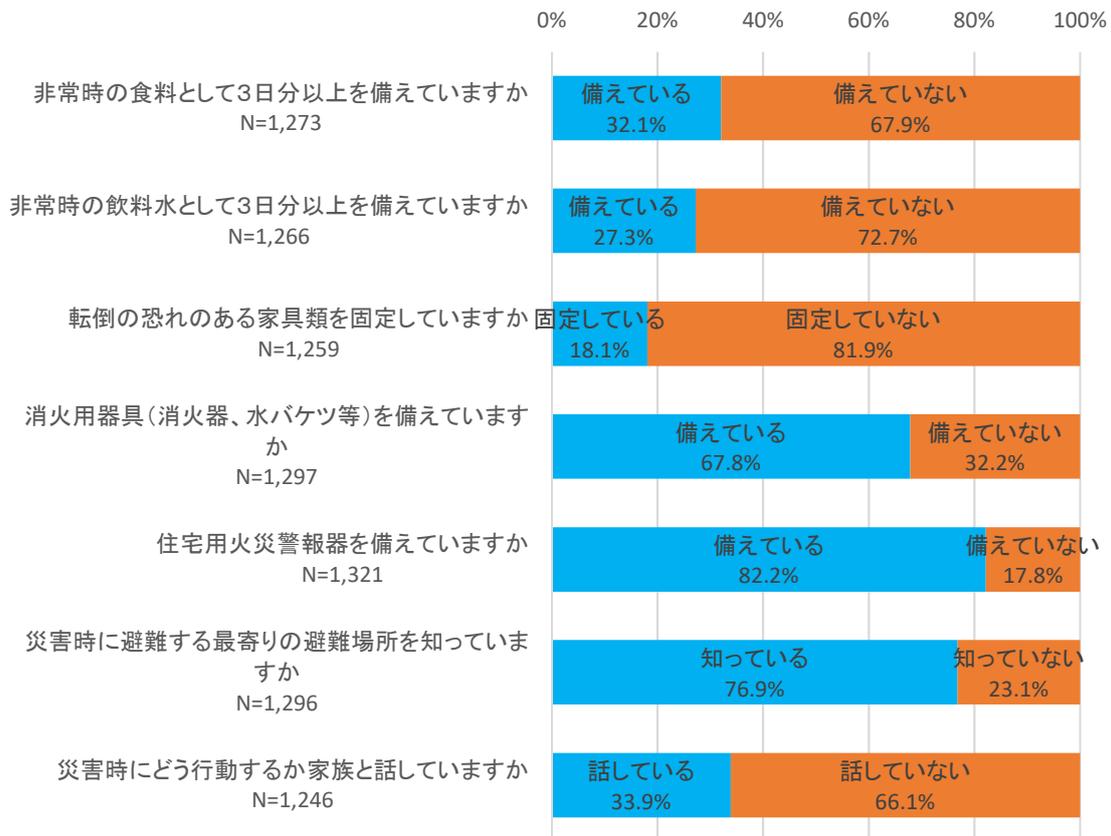


問26 あなたのお宅では、災害等(地震や水害など)の発生に対して、日頃から以下の備えをしていますか。

火災に対する備えが主になっており、大規模な災害への備えは万全とは言えない。

災害の発生に対する備えの状況を見ると、「住宅用火災警報器を備えている」が82.2%、「災害時に避難する最寄りの避難場所を知っている」が76.9%、「消火器具を備えている」が67.8%と、大半の過程は火災への対策を行っている。一方で、「転倒の恐れのある家具類を固定している」が18.1%、「非常時の食料として3日以上を備えている」が32.1%、「非常時の飲料水として3日以上備えている」が27.3%と、地震等の大規模災害への対策を行っている家庭は少ない状況となっている。

図30 災害等の発生に対する備えの状況

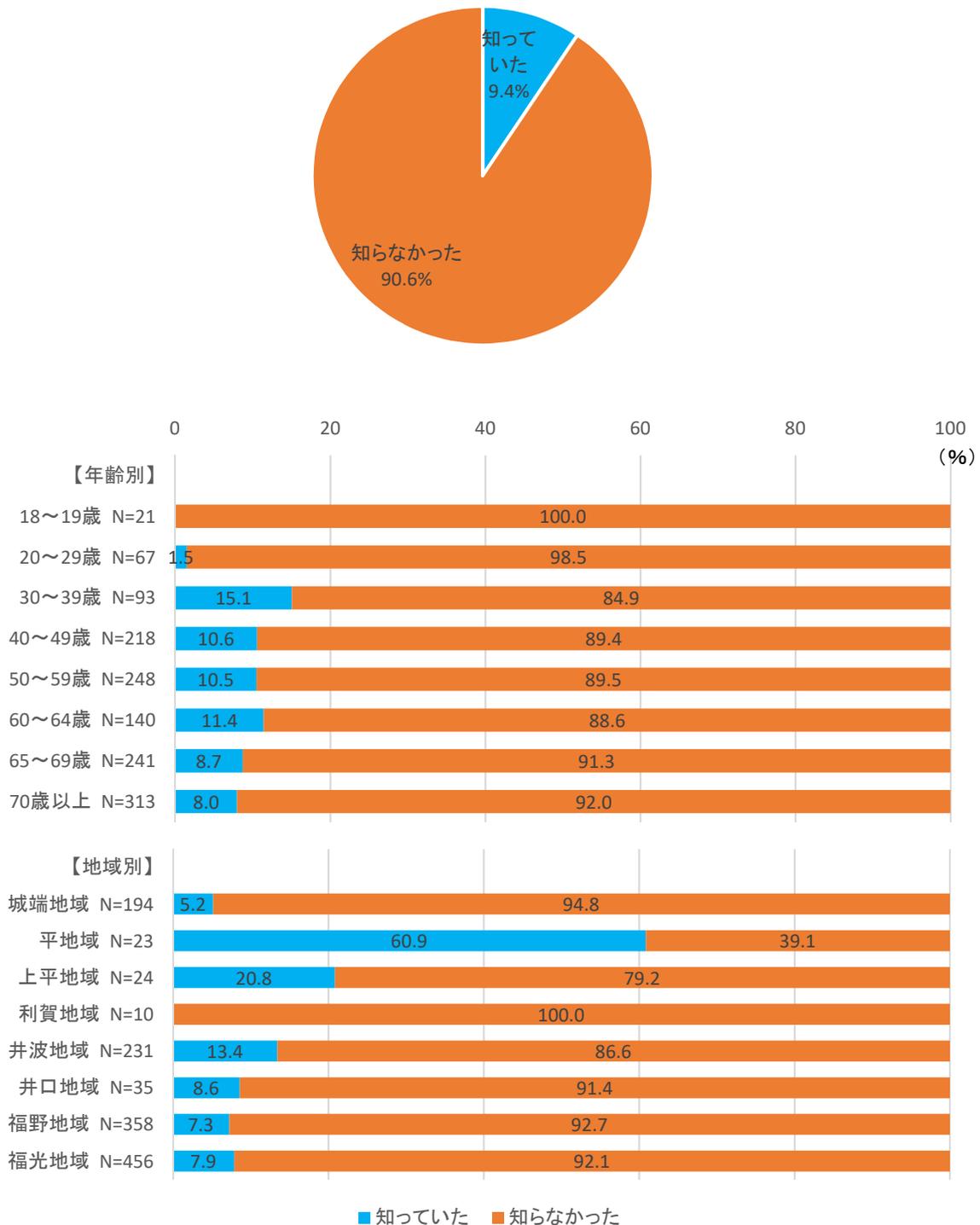


問27 行政防災無線の内容が聞き取れなかった場合、「聞き直しサービス(電話0763-53-2580)」で内容を確認することができます。あなたは、このサービスを知っていましたか。

全体の9割は、聞き直しサービスを知らない。

行政防災無線の聞き直しサービスの認知状況をみると、「知らなかった」が90.6%となっている。地域別にみると、母数は少ないが、平地域は「知っていた」が60.9%と他の地域に比べ高くなっている。

図31 行政防災無線「聞き直しサービス」の認知状況 N=1,343

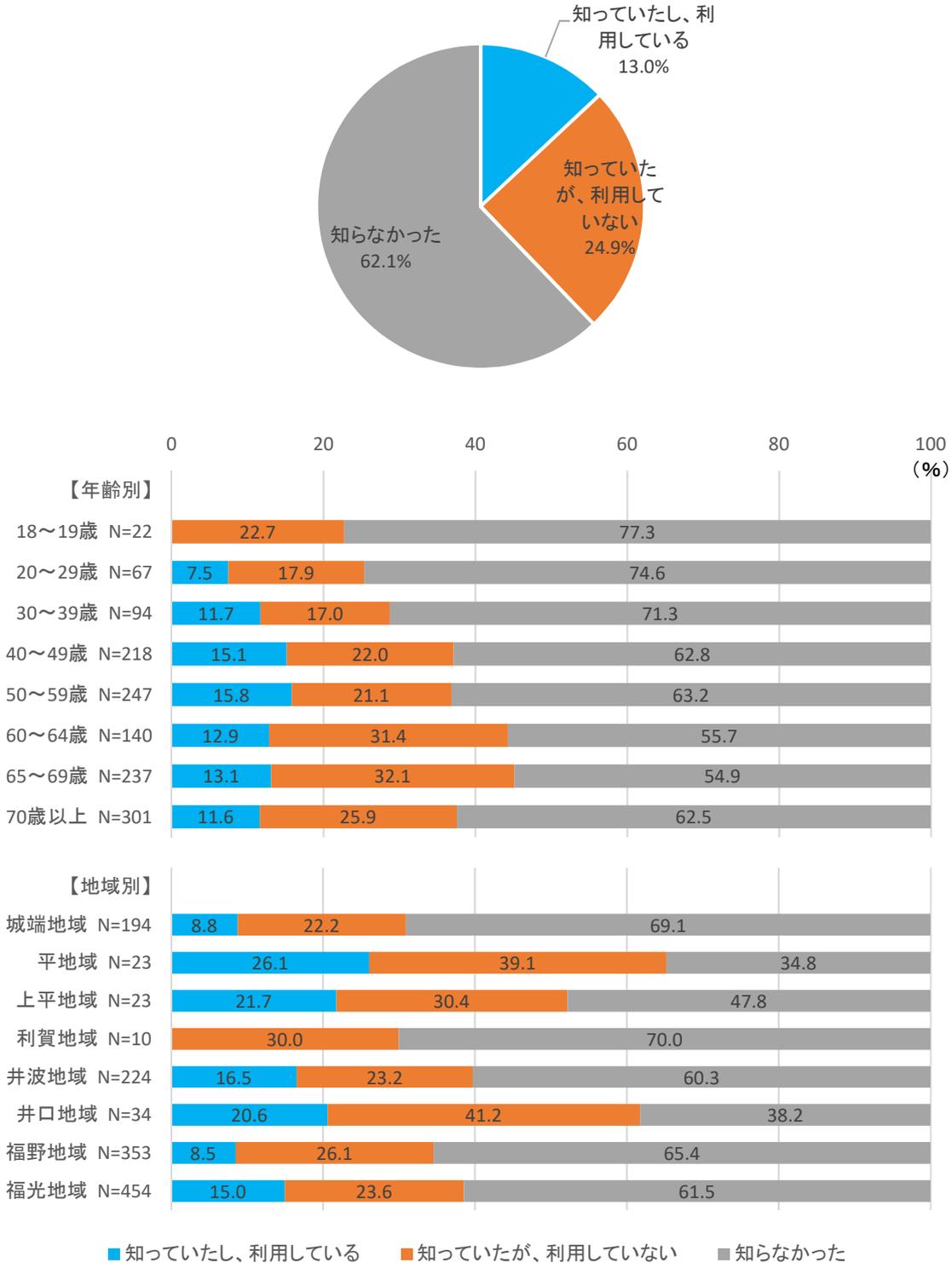


問28 あなたは、気象警報、避難情報やクマの出没情報などの防災情報や緊急情報を南砺市がメールやアプリで配信している以下のサービスを知っていましたか。

全体の6割がなんと！緊急メールサービスを知らない。

なんと！緊急メールサービスの認知状況をみると、「知っていたし、利用している」が13.0%、「知っていたが、利用していない」が24.9%、「知らなかった」が62.1%となっている。
年齢別みにみると、年代が高いほど「知っていた」が多い傾向にある。

図32 なんと！緊急メールサービスの認知状況 N=1,328

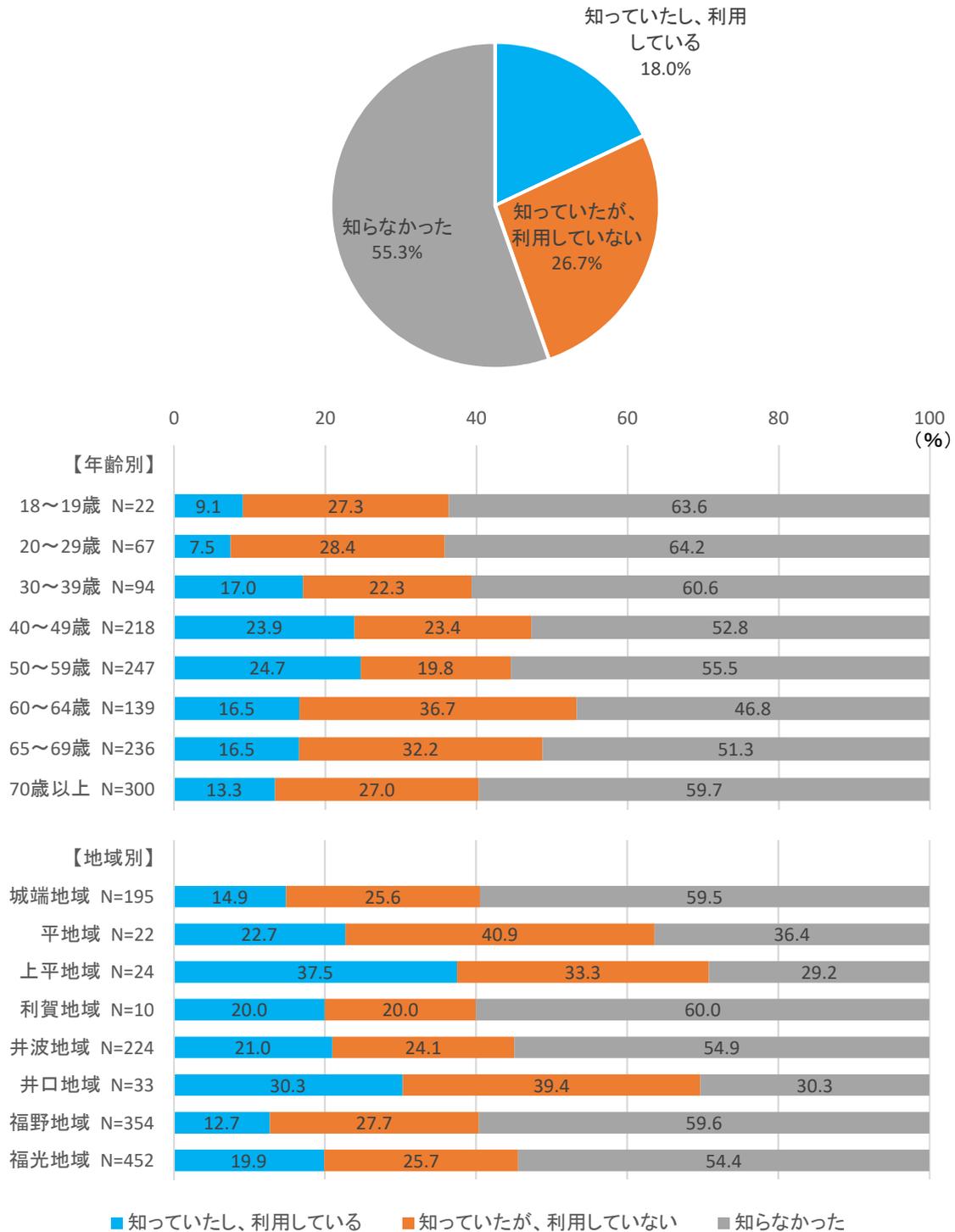


問28 あなたは、気象警報、避難情報やクマの出没情報などの防災情報や緊急情報を南砺市がメールやアプリで配信している以下のサービスを知っていましたか。

全体の5割強が南砺市防災アプリを知らない

南砺市防災アプリの認知状況をみると、「知っていたし、利用している」が18.0%、「知っていたが、利用していない」が26.7%、「知らなかった」が55.3%となっている。
地域別みにみると、上平地域は「知っていた」が70.8%と最も多く、次いで井口地域が69.7%、平地域が63.6%となっている。

図33 南砺市防災アプリの認知状況 N=1,325

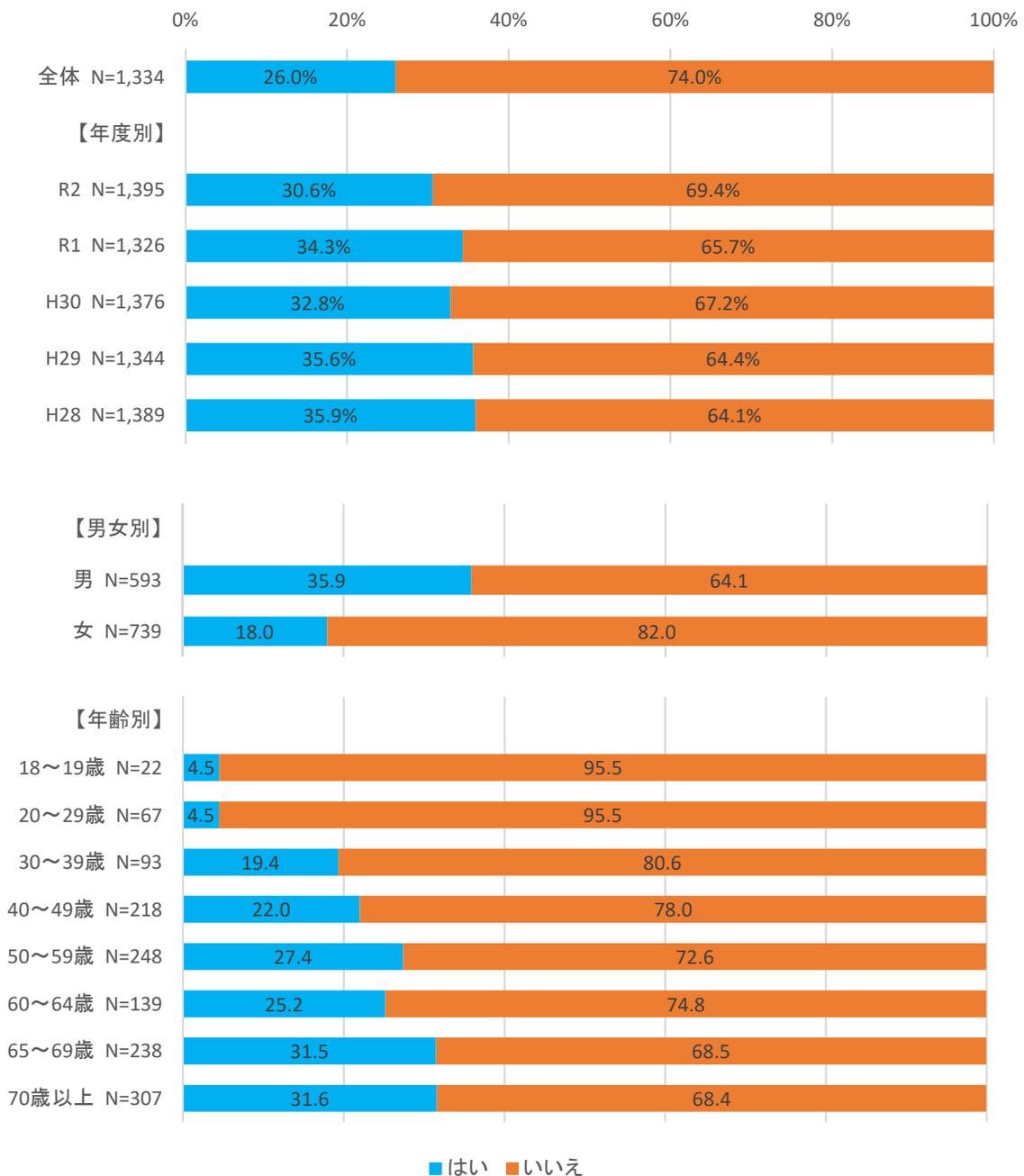


問29 あなたは、過去1年間に交通安全の活動や行事に参加しましたか。

全体の2割強が過去1年間に交通安全の活動や行事に参加している。

過去1年間の交通安全の活動や行事への参加状況を見ると、「はい(参加した)」が26.0%、「いいえ(参加していない)」が74.0%となっている。
 年齢別みると、18～19歳と20～29歳が「はい(参加した)」が4.5%と最も少なく、年齢が高くなるにつれて多くなる傾向にある。
 男女別にみると、男性が女性に比べて「はい(参加した)」が多くなっている。

図34 交通安全の活動や行事への参加状況



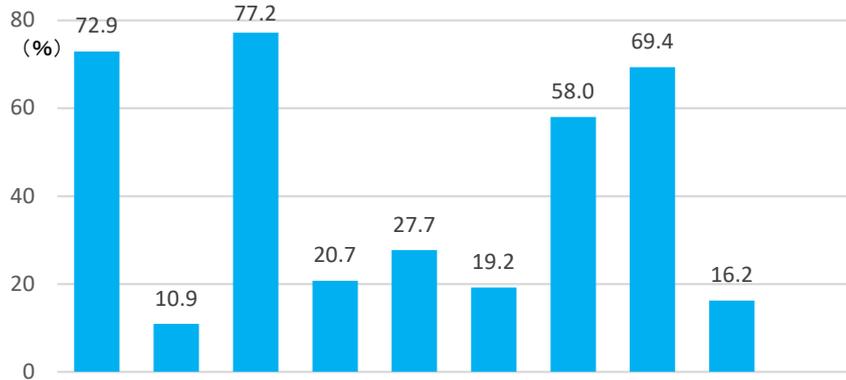
問30 あなたは、日常生活の中で犯罪に遭わないようにどのような取り組みをしていますか。

全体の7割が「自転車に関する防犯対策」や「住居の戸締り」に取り組んでいる。

日常生活の中で防犯への取組状況を見ると、「住居の戸締り」が77.2%と最も多く、次いで「自転車に関する防犯対策」が72.9%、「悪質商法対策」が69.4%となっている。

年齢別にみると、「ネット犯罪対策」や「防犯グッズの携帯」は年代が若いほど多い傾向にある。

図35 防犯への取り組み状況 (MA)



		自動車に関する防犯対策	防犯対策グッズの携帯	住居の戸締り	空き巣の対策設備の設置	自転車に関する防犯対策	犯罪情報の入手	ネット犯罪対策	悪質商法対策	特に何も行っていない	その他
全体 N=1,348		72.9	10.9	77.2	20.7	27.7	19.2	58.0	69.4	16.2	
年度別	R2年 N=1,433	70.1	3.0	69.5	15.1	20.2	16.2	57.2	68.7	5.4	
	R1年 N=1,329	74.4	1.4	70.1	11.8	22.1	14.4	50.1	63.4	5.2	0.8
	H30年 N=1,378	70.8	1.2	68.5	11.5	23.7	12.1	46.7	61.8	5.9	1.2
	H29年 N=1,344	70.9	0.7	69.9	11.0	24.6	13.4	46.1	65.1	5.0	1.3
	H28年 N=1,396	71.6	0.8	71.2	10.6	24.9	13.9	44.2	63.2	4.6	1.3
年齢別	18～19歳 N=22	50.0	36.4	68.2	31.8	72.7	36.4	81.8	54.5	45.5	
	20～29歳 N=67	73.1	38.8	88.1	43.3	23.9	46.3	74.6	65.7	40.3	
	30～39歳 N=94	74.5	20.2	78.7	31.9	17.0	27.7	67.0	51.1	25.5	
	40～49歳 N=219	73.5	17.8	77.2	27.4	7.3	24.7	68.9	66.2	24.7	
	50～59歳 N=247	72.5	11.3	76.1	23.9	6.5	18.6	67.2	68.8	13.0	
	60～64歳 N=141	73.0	5.7	73.0	16.3	11.3	12.8	58.2	75.2	8.5	
	65～69歳 N=242	71.9	3.3	76.4	14.5	6.6	10.7	47.1	68.6	9.1	
70歳以上 N=314	74.8	3.5	78.3	11.5	5.1	15.9	43.9	77.4	11.5		
地域別	城端地域 N=195	67.7	13.3	73.8	21.0	21.5	18.5	55.4	63.6	21.5	
	平地地域 N=24	79.2	4.2	41.7	12.5	4.2	20.8	54.2	87.5	8.3	
	上平地地域 N=24	91.7	29.2	83.3	33.3	33.3	37.5	75.0	83.3	25.0	
	利賀地域 N=10	80.0	0.0	60.0	10.0	10.0	10.0	60.0	50.0	10.0	
	井波地域 N=231	76.2	9.5	79.2	19.9	24.2	19.5	60.2	74.9	15.6	
	井口地域 N=33	66.7	9.1	60.6	18.2	21.2	12.1	60.6	63.6	15.2	
	福野地域 N=360	76.7	11.7	80.8	22.2	32.8	20.0	60.0	72.2	15.0	
	福光地域 N=460	69.8	10.0	77.6	20.2	30.0	18.3	55.4	65.9	15.7	

※図中の回答項目は、調査票の表現を要訳し記載しています。

※H28年からR1年は設問内容に相違点あり。

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

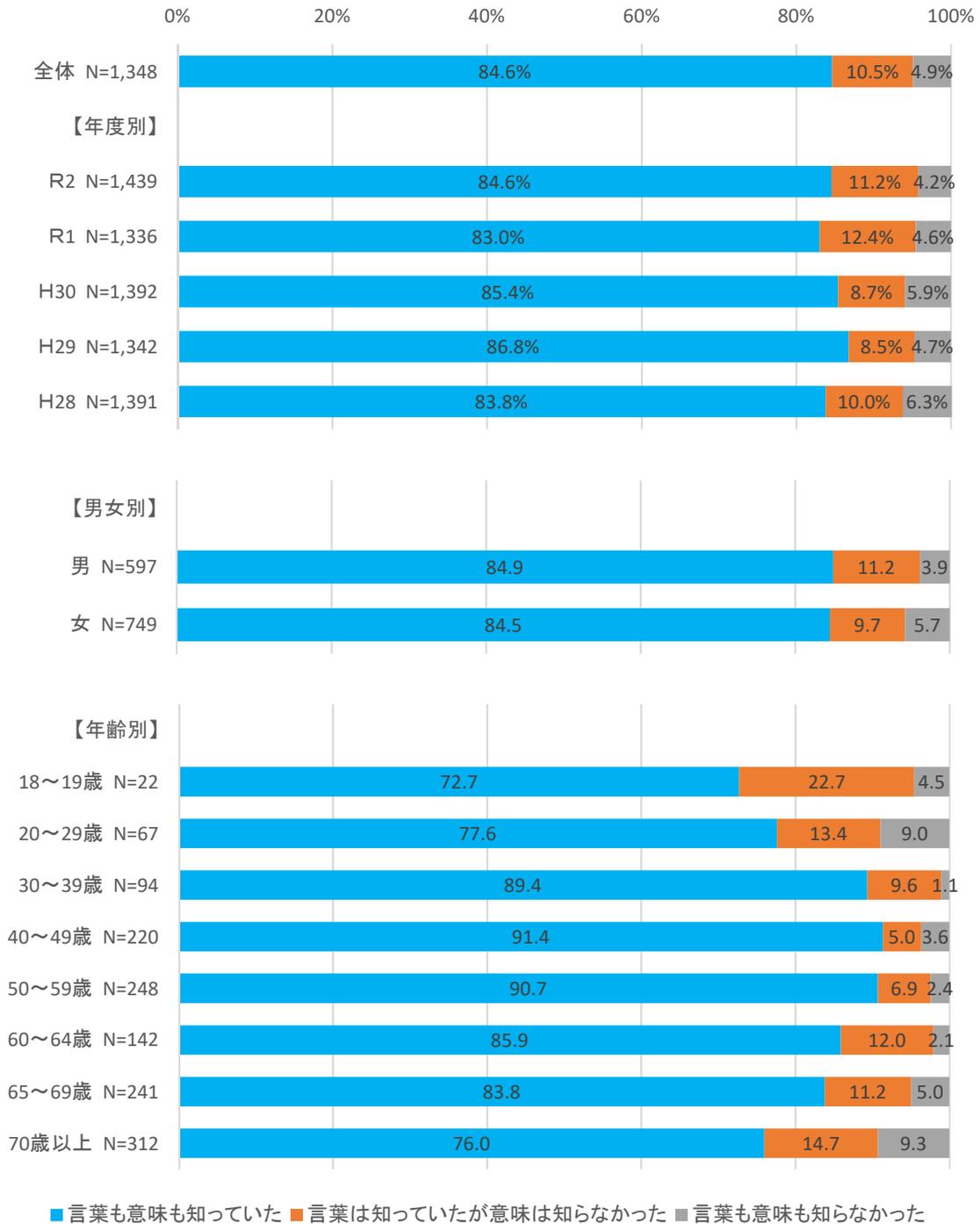
問31 クーリング・オフ制度とは、訪問販売など特定の取引について、いったん契約した場合でも、一定期間は消費者からの一方的な契約解除を認める制度です。あなたは、この制度のことを知っていましたか。

全体の8割強はクーリング・オフの言葉も意味も認知している。

クーリング・オフ制度の認知状況を見ると、「言葉も意味も知っていた」が84.6%と最も多く、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が10.5%、「言葉も意味も知らなかった」が4.9%となっている。

年齢別にみると、「意味を知らなかった割合（「言葉は知っていたが意味は知らなかった」+「言葉も意味も知らなかった」）をみると、18～19歳が27.2%と最も多く、次いで70歳以上が24.0%となっている。

図36 クーリング・オフ制度の認知状況



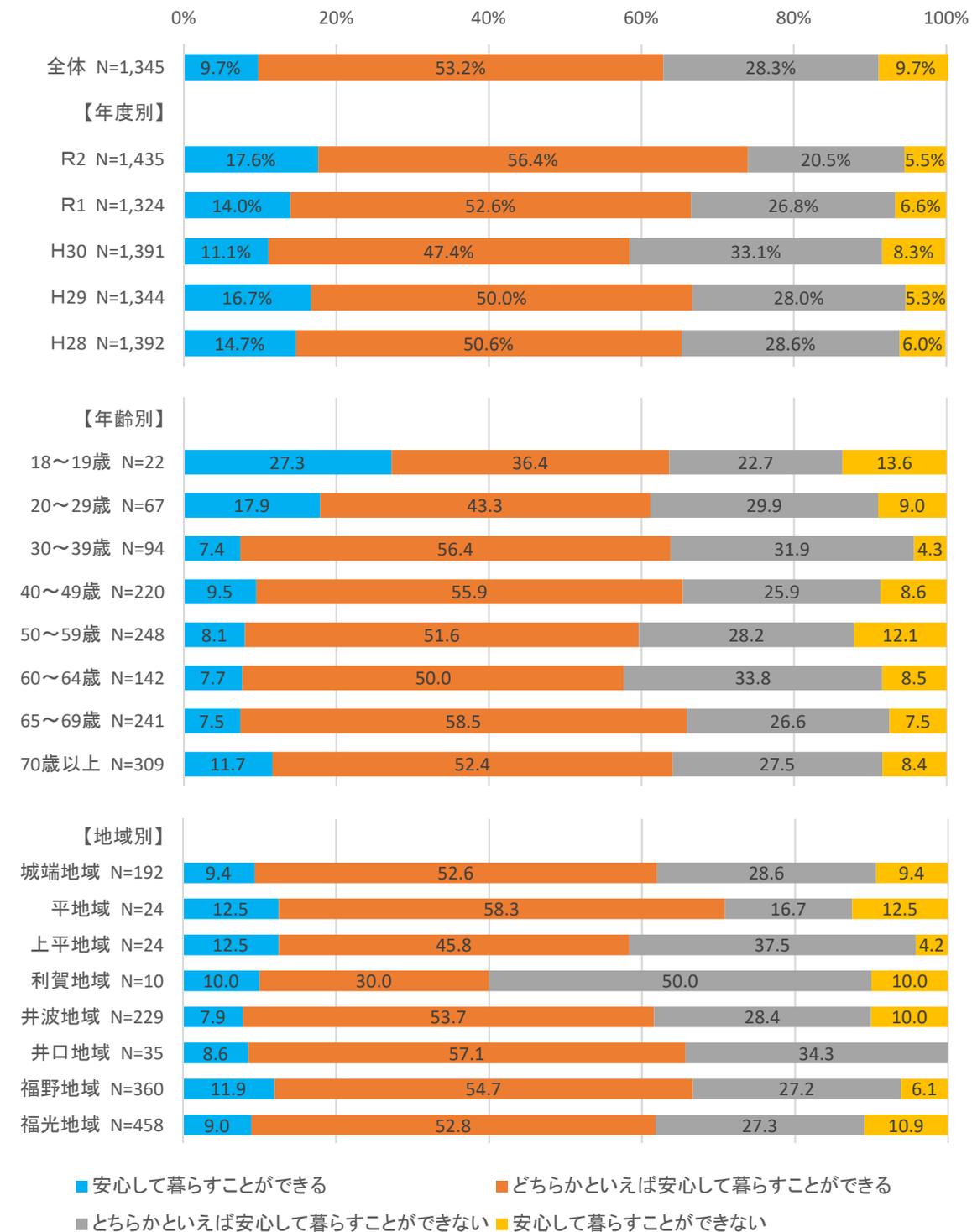
問32 あなたは、冬期に安心して暮らすことができると感じますか。

全体の6割が冬期に安心して暮らすことができている。

冬期に安心して暮らすことができると感じるかをみると、「安心して暮らすことができる」が9.7%、「どちらかといえば安心して暮らすことができる」が53.2%、「どちらかといえば安心して暮らすことができない」が28.3%、「安心して暮らすことができない」が9.7%となっている。

地域別にみると、利賀地域は「安心して暮らすことができない割合（「どちらかといえば安心して暮らすことができない」+「安心して暮らすことができない」）が60.0%と最も高くなっている。

図37 冬期の暮らし

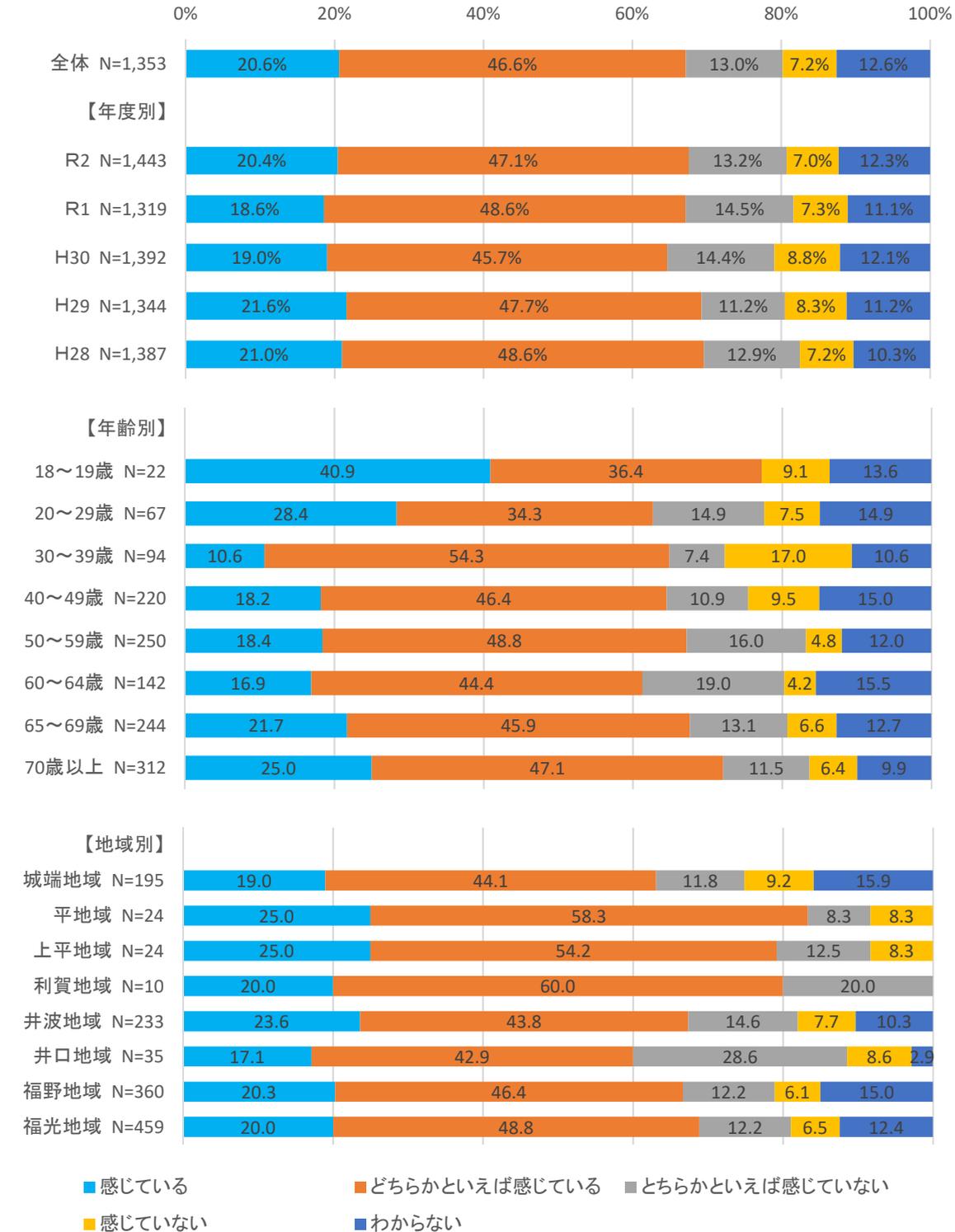


問33 あなたは、南砺市への「誇り」や「愛着」を感じていますか。

全体の6割が南砺市への「誇り」や「愛着」を感じている。

南砺市への「誇り」や「愛着」を感じているかをみると、「感じている」が20.6%、「どちらかといえば感じている」が46.6%、「どちらかといえば感じていない」が13.0%、「感じていない」が7.2%などとなっている。
地域別でみると、平地域が「感じている割合（「感じている」+「どちらかといえば感じている」）が83.3%と最も多く、次いで利賀地域が80.0%、上平地域が79.2%となっている。

図38 南砺市への「誇り」や「愛着」

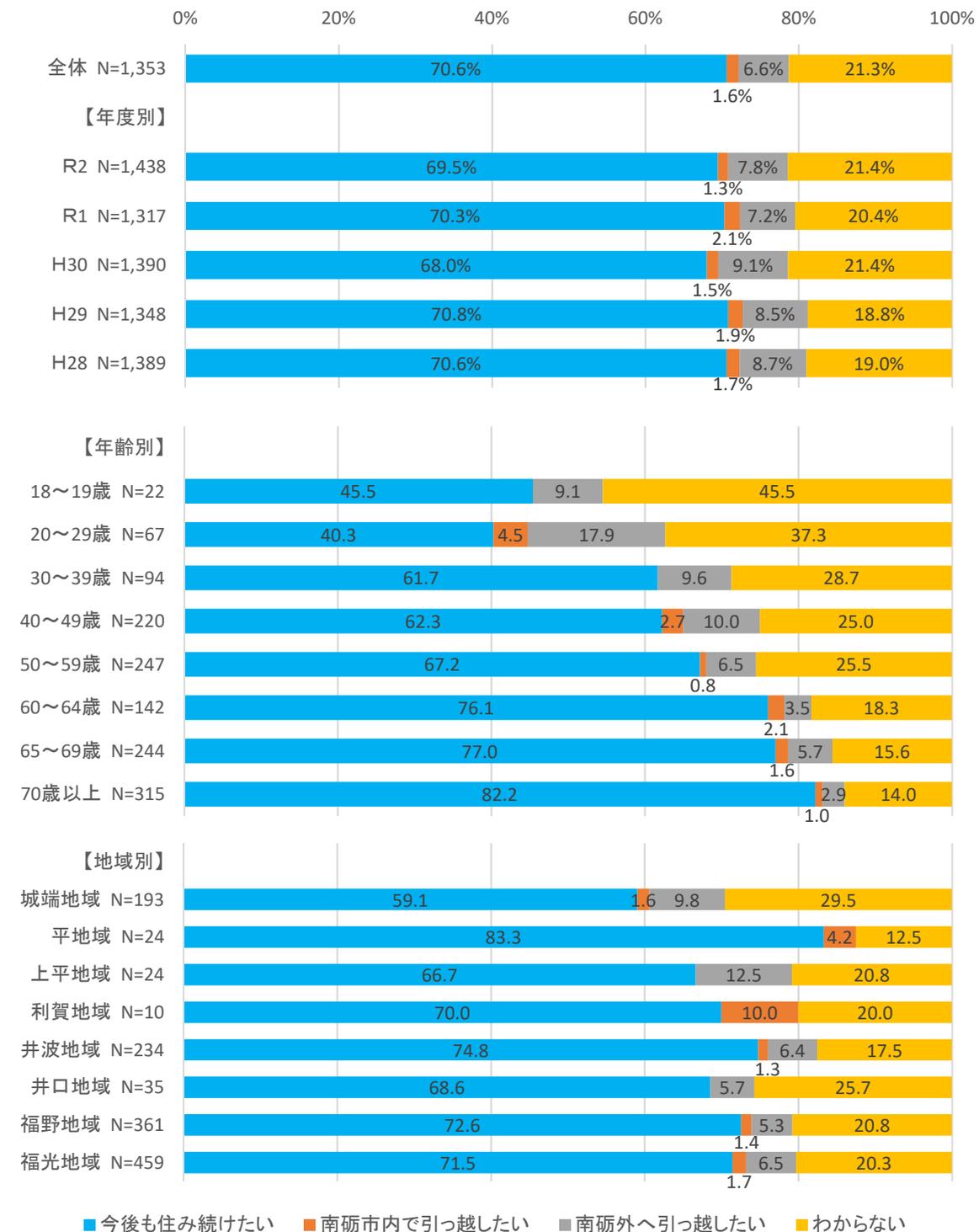


問34 あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。

全体の7割は今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思っている。

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいかをみると、「今後も住み続けたい」が70.6%、「南砺市内で引越したい」が1.6%、「南砺市外へ引越したい」が6.6%、「わからない」が21.3%となっている。
 年齢別にみると、年齢が高いほど「今後も住み続けたい」が多い傾向にあり、70歳以上が82.2%で最も多い。一方で年齢が若いほど「わからない」が多い傾向にある。

図39 今後も現在住んでいる地域に住み続けたいか

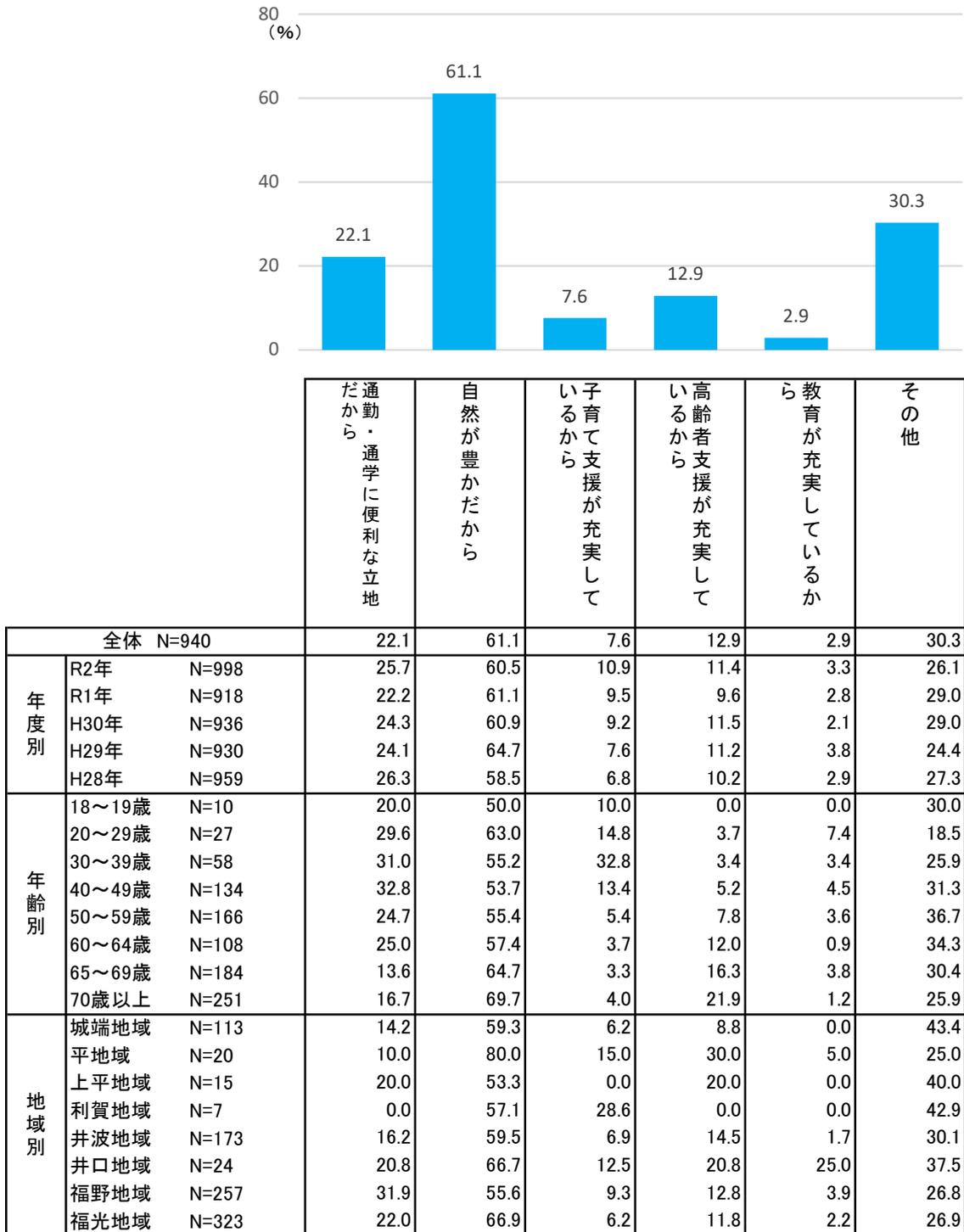


問35 問34で「1. 今後も住み続けたい」と回答した方にお聞きます。そう思う理由は何ですか。

現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由の6割強は「自然が豊かだから」。

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由をみると、「自然が豊かだから」が61.1%と最も多く、次いで「通勤・通学に便利な立地だから」が22.1%、「高齢者支援が充実しているから」が12.9%となっている。
年齢別にみると、30～39歳は「子育て支援が充実しているから」が32.8%と最も多く、次いで20～29歳が14.8%となっている。

図40 今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由(MA)



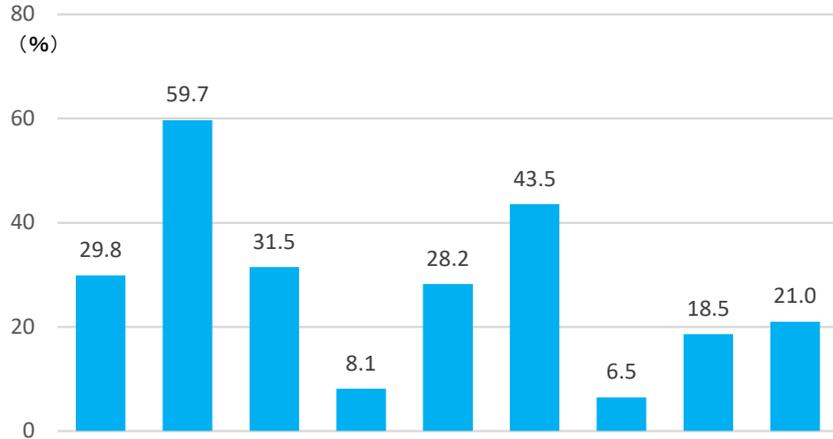
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問36 問34「2. 南砺市内で引っ越したい」、「3. 南砺市外へ引っ越したい」と回答した方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。

現在の住まいから引っ越したい理由の6割は「買い物など日常生活が不便」。

現在の住まいから引っ越したいと思う理由をみると、「買い物など日常生活が不便」が59.7%、次いで「公共交通が不便」が43.5%、「医療機関が充実していないから」が31.5%などとなっている。
年齢別にみると、30～39歳は「子育て環境が充分でないため」が20.0%と他に比べて多くなっている。

図41 現在の住まいから引っ越したいと思う理由(MA)



	通勤・通学が不便だから	買い物など日常生活が不便だから	医療機関が充実していないから	教育環境がよくないから	近所になじめないから	公共交通が不便だから	子育て環境が充分でないから	世話をしてくれる家族がいないから	その他	
全体 N=124	29.8	59.7	31.5	8.1	28.2	43.5	6.5	18.5	21.0	
年度別	R2年 N=146	32.2	57.5	32.9	7.5	23.3	52.7	7.5	9.6	23.3
	R1年 N=149	35.6	58.4	30.2	6.7	26.2	50.3	6.7	15.4	20.1
	H30年 N=162	37.0	47.5	35.2	9.9	19.8	49.4	6.2	9.3	25.9
	H29年 N=145	32.4	56.6	35.2	11.0	18.6	46.9	8.3	15.9	22.1
	H28年 N=154	33.8	48.1	29.2	9.7	27.3	40.3	9.1	16.2	24.7
年齢別	18～19歳 N=3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	20～29歳 N=15	53.3	66.7	20.0	20.0	13.3	46.7	6.7	6.7	40.0
	30～39歳 N=10	90.0	70.0	20.0	10.0	30.0	50.0	20.0	20.0	0.0
	40～49歳 N=32	34.4	62.5	37.5	6.3	31.3	28.1	12.5	12.5	25.0
	50～59歳 N=18	11.1	50.0	16.7	0.0	38.9	55.6	0.0	16.7	16.7
	60～64歳 N=10	10.0	60.0	40.0	10.0	30.0	50.0	10.0	10.0	20.0
	65～69歳 N=19	15.8	47.4	36.8	10.5	21.1	42.1	0.0	21.1	21.1
70歳以上 N=17	11.8	64.7	41.2	5.9	35.3	52.9	0.0	47.1	5.9	
地域別	城端地域 N=21	19.0	76.2	23.8	0.0	42.9	47.6	0.0	14.3	14.3
	平地地域 N=2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	上平地地域 N=3	66.7	100.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	利賀地域 N=1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域 N=21	33.3	66.7	23.8	4.8	14.3	38.1	4.8	14.3	23.8
	井口地域 N=3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
	福野地域 N=26	23.1	53.8	38.5	7.7	42.3	53.8	7.7	19.2	23.1
	福光地域 N=45	31.1	53.3	33.3	13.3	24.4	42.2	6.7	20.0	24.4

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問37 ご家族に18歳未満のお子さん(弟、妹、子、孫等)がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたのご家庭には、次のお子さんは何人いらっしゃいますか。

全体の3割は家庭に18歳未満のお子さんがいる。

18歳未満のお子さんの有無をみると、「いる」が30.2%、「いない」が69.8%となっている。

図42 18歳未満のお子さんの有無

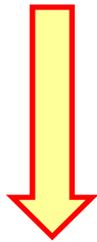
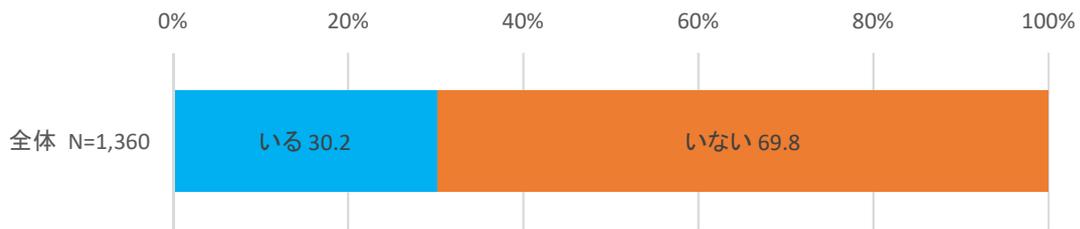
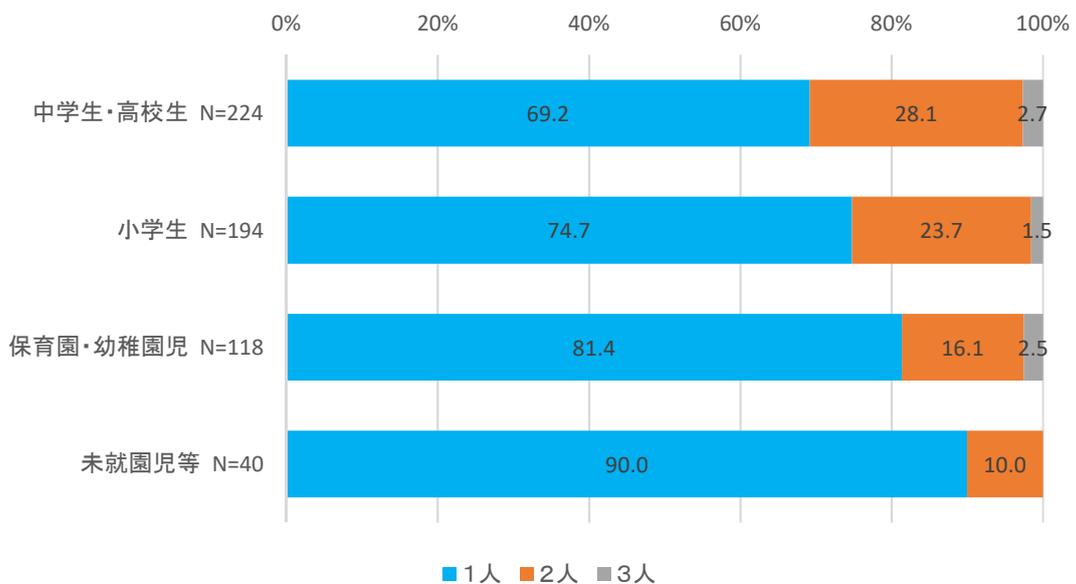


図43 18歳未満のお子さんの内訳(MA)

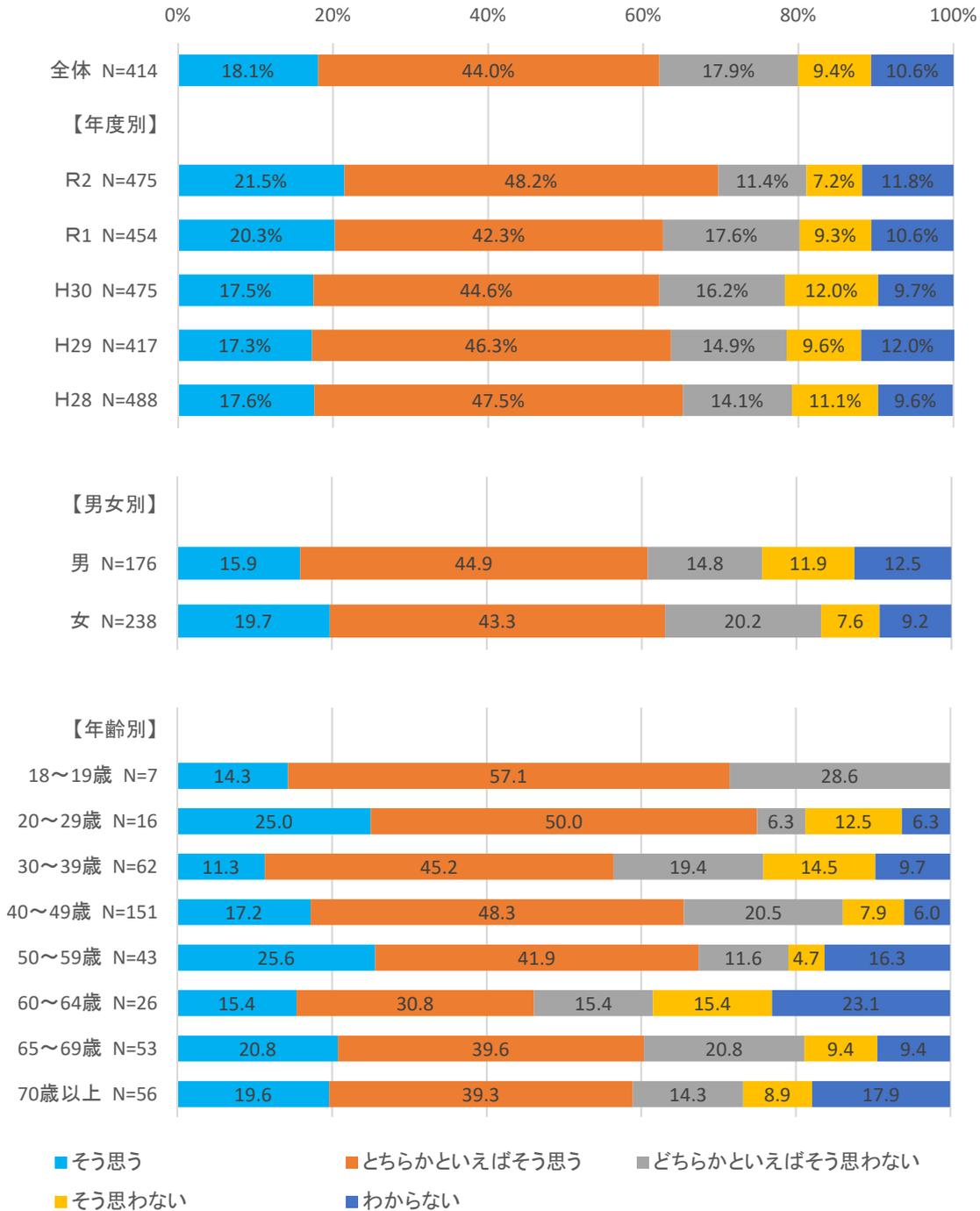


問38 ご家庭に18歳未満のお子さん(弟、妹、子、孫等)がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたは、南砺市では就労しながら無理なく子育てをすることができますか。

全体の6割は就労しながら無理なく子育てをすることができると思っている。

就労しながら無理なく子育てをすることができるかをみると、「そう思う」が18.1%、「どちらかといえばそう思う」が44.0%、「どちらかといえばそう思わない」が17.9%、「そう思わない」が9.4%となっており、「そう思っている割合(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が62.1%になっている。
年齢別でみると、60～64歳は「そう思っている割合」が46.2%と他の年齢に比べて最も少なくなっている。

図44 就労しながら無理なく子育てできるか

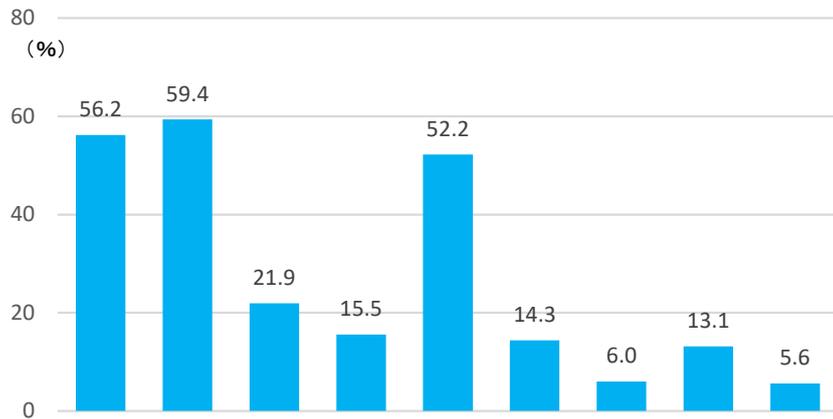


問39 就労しながら無理なく子育てができると思う理由は何ですか。

就労しながら無理なく子育てができると思う理由は「子供を預ける場が充実しているから」が最も多い。

就労しながら無理なく子育てをすることができると思っている方について、その理由をみると、「子どもを預ける場が充実しているから」が59.4%と最も多く、次いで「保育サービスが充実しているから」が56.2%、「医療費助成が充実しているから」が52.2%などとなっている。

図45 就労しながら無理なく子育てができると思う理由 (MA)



		保育サービスが充実しているから	子供を預ける場が充実しているから	子供を遊ばせる場が多いから	小児医療体制が整っているから	医療費助成が充実しているから	教育環境が充実しているから	相談サービスが充実しているから	周りに相談できる人・団体があるから	その他
全体 N=251		56.2	59.4	21.9	15.5	52.2	14.3	6.0	13.1	5.6
年度別	R2年 N=323	59.1	61.0	25.4	19.5	53.9	10.8	5.0	14.6	5.3
	R1年 N=284	66.2	63.0	20.4	23.2	53.2	10.2	4.6	10.2	4.6
	H30年 N=297	63.6	60.3	19.5	22.2	53.2	10.8	5.4	11.4	3.0
	H29年 N=310	61.0	53.8	15.9	22.0	49.6	14.4	4.9	10.6	6.1
	H28年 N=316	57.1	56.5	17.4	16.5	46.5	11.9	4.5	13.2	6.1
年齢別	18～19歳 N=5	60.0	60.0	60.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	20～29歳 N=12	41.7	58.3	33.3	16.7	25.0	16.7	8.3	25.0	0.0
	30～39歳 N=35	62.9	62.9	17.1	11.4	45.7	8.6	8.6	20.0	5.7
	40～49歳 N=98	51.0	55.1	19.4	16.3	62.2	7.1	7.1	14.3	8.2
	50～59歳 N=27	48.1	48.1	29.6	22.2	74.1	18.5	14.8	22.2	3.7
	60～64歳 N=12	75.0	83.3	25.0	16.7	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0
	65～69歳 N=30	76.7	66.7	23.3	16.7	43.3	33.3	0.0	0.0	3.3
70歳以上 N=32	50.0	62.5	15.6	12.5	40.6	21.9	0.0	6.3	6.3	
地域別	城端地域 N=40	62.5	60.0	32.5	7.5	47.5	2.5	2.5	5.0	7.5
	平地地域 N=5	80.0	100.0	0.0	20.0	80.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	上平地地域 N=3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3
	利賀地域 N=3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	井波地域 N=38	68.4	68.4	21.1	26.3	57.9	13.2	5.3	13.2	5.3
	井口地域 N=7	42.9	42.9	0.0	0.0	28.6	71.4	0.0	14.3	14.3
	福野地域 N=70	58.6	57.1	17.1	15.7	45.7	7.1	5.7	15.7	7.1
	福光地域 N=85	47.1	57.6	25.9	16.5	57.6	20.0	9.4	12.9	2.4

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

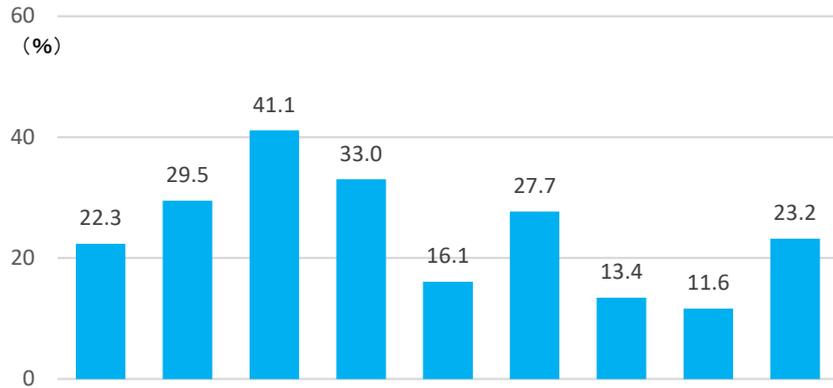
問40 就労しながら無理なく子育てができると思わない理由は何ですか。

就労しながら無理なく子育てができると思わない理由は「子供を遊ばせる場が少ないから」が最も多い。

就労しながら無理なく子育てができると思っていない方について、その理由をみると、「子供を遊ばせる場が少ないから」が41.1%と最も多く、次いで「小児医療体制が不十分だから」が33.0%、「子供を預ける場が少ないから」が29.5%などとなっている。

年度別にみると、「保育サービスが不十分だから」と「医療費助成が不十分だから」という理由は、年々減少傾向にある。

図46 就労しながら無理なく子育てができると思わない理由(MA)



	か ら	い か ら	な い か ら	だ か ら	か ら	ら	だ か ら	団 体 が な い か ら	そ の 他	
全体 N=112	22.3	29.5	41.1	33.0	16.1	27.7	13.4	11.6	23.2	
年 度 別	R2年 N=88	22.7	25.0	38.6	30.7	10.2	22.7	9.1	10.2	28.4
	R1年 N=106	26.4	27.4	30.2	26.4	8.5	27.4	6.6	7.5	17.9
	H30年 N=131	16.0	16.8	33.6	35.1	19.8	22.9	9.9	13.0	26.7
	H29年 N=93	24.5	22.4	32.7	35.7	17.3	24.5	14.3	11.2	27.6
	H28年 N=123	30.1	23.6	30.9	38.2	14.6	26.8	9.8	9.8	23.6
年 齢 別	18～19歳 N=2	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳 N=3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	30～39歳 N=20	25.0	20.0	60.0	40.0	15.0	25.0	30.0	15.0	20.0
	40～49歳 N=42	4.8	33.3	31.0	33.3	11.9	28.6	9.5	7.1	31.0
	50～59歳 N=8	25.0	12.5	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0	12.5	25.0
	60～64歳 N=8	37.5	37.5	37.5	37.5	25.0	37.5	0.0	0.0	12.5
	65～69歳 N=18	44.4	44.4	50.0	33.3	16.7	27.8	22.2	22.2	11.1
70歳以上 N=11	18.2	18.2	54.5	9.1	9.1	36.4	9.1	18.2	18.2	
地 域 別	城端地域 N=14	21.4	28.6	21.4	21.4	14.3	21.4	7.1	7.1	35.7
	平地域 N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上平地域 N=3	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7
	利賀地域 N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域 N=24	37.5	25.0	41.7	37.5	16.7	41.7	16.7	4.2	20.8
	井口地域 N=2	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
	福野地域 N=26	19.2	34.6	42.3	23.1	19.2	3.8	3.8	7.7	11.5
	福光地域 N=42	16.7	28.6	47.6	35.7	14.3	35.7	19.0	19.0	21.4

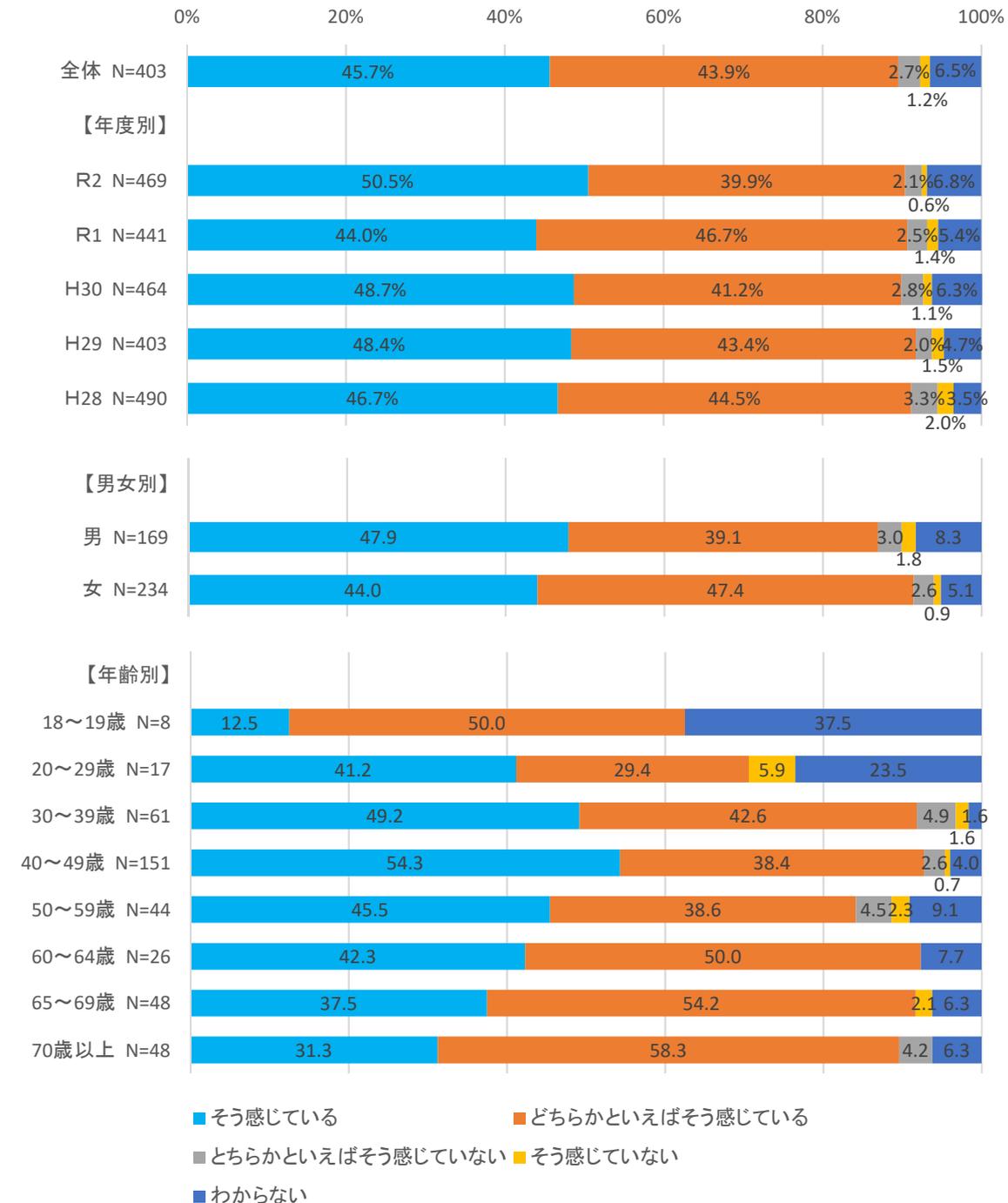
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問41 ご家庭に18歳未満のお子さん(弟、妹、子、孫等)がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたは、子育てに喜びや生きがいを感じていますか。

18歳未満のお子さんがある方の9割は子育てに喜びや生きがいを感じている。

ご家庭に18歳未満のお子さんがある方について、子育てに喜びや生きがいを感じているかをみると、「そう感じている」が45.7%、「どちらかといえばそう感じている」が43.9%、「どちらかといえばそう感じている」が2.7%、「そう感じている」が6.5%となっており、「そう感じている割合(「そう感じている」+「どちらかといえばそう感じている」)は89.6%となっている。
年齢別にみると、40～49歳が「そう感じている割合」が92.7%と最も多く、年齢が高くなるにつれ減少していく傾向にある。

図47 子育てに喜びや生きがいを感じるか



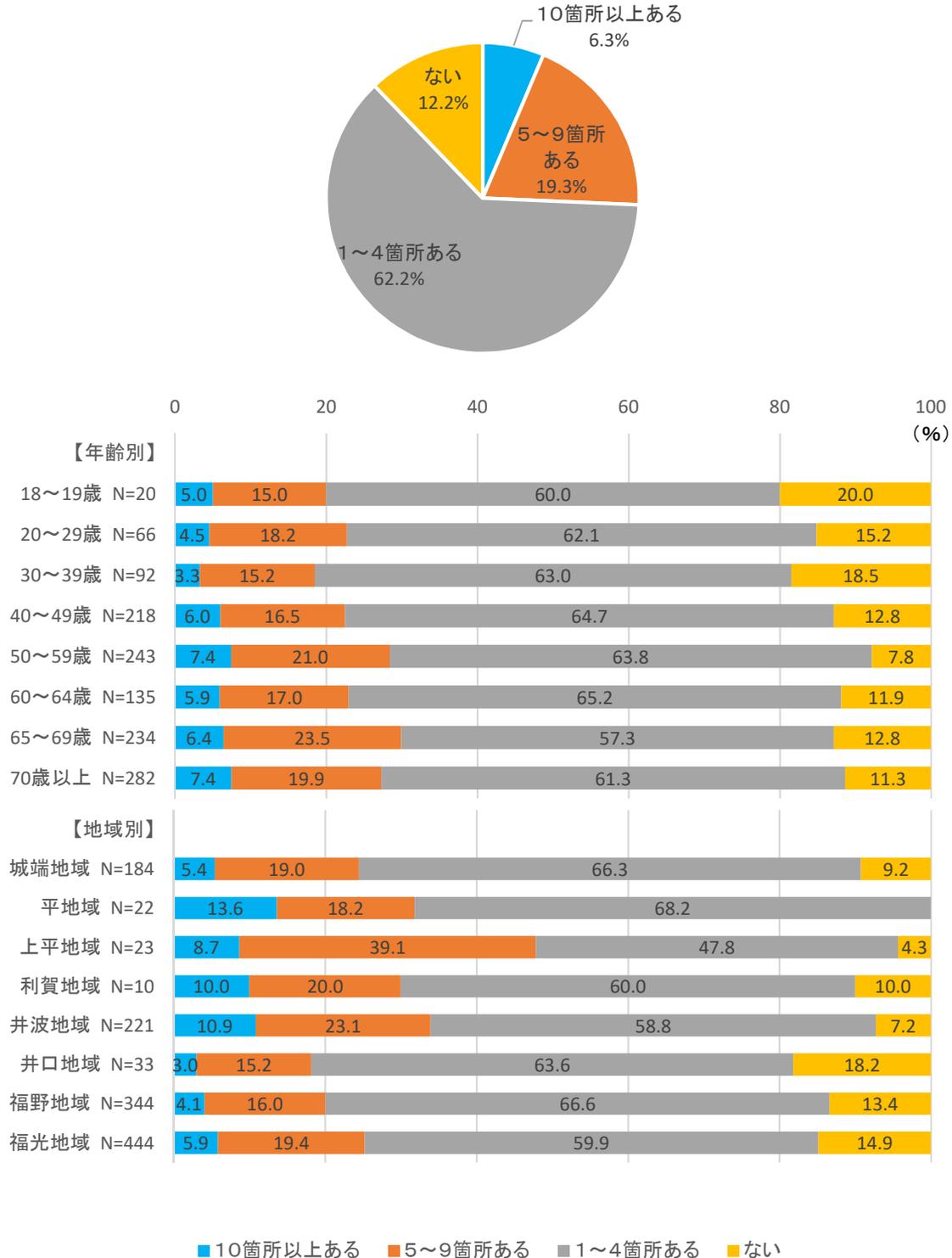
問42 あなたが友人や知人に、ぜひお勧めしたい南砺市内の文化や景観はいくつありますか。

全体の8割強は友人や知人にお勧めしたい南砺市内の文化や景観がある。

友人や知人にお勧めしたい文化や景観があるかをみると、「10箇所以上ある」が6.3%、「5～9箇所ある」が19.3%、「1～4箇所ある」が62.2%となっており、「1箇所以上ある割合（「10箇所以上ある」+「5～9箇所ある」+「1～4箇所ある」）が87.8%となっている。

地域別にみると平地域は「1箇所以上ある割合」が100.0%と最も多くなっている。

図48 友人や知人にお勧めしたい南砺市の文化や景観の個数 N=1,292



問43 あなたは、過去1年間にボランティア活動(団体による清掃活動等)に参加しましたか。

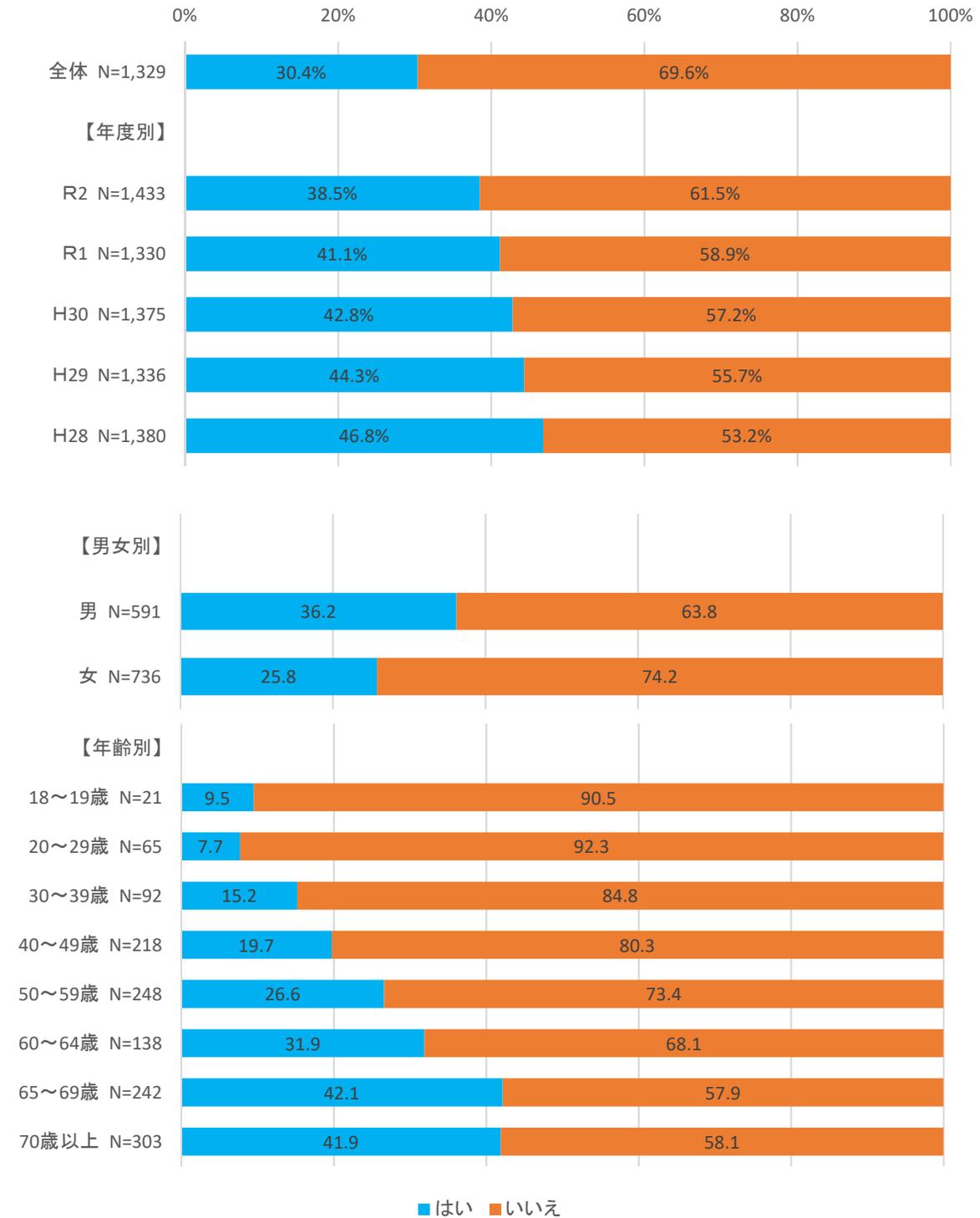
全体の3割は過去1年間にボランティア活動に参加している。

過去1年間のボランティア参加状況を見ると、「はい(参加した)」が30.4%、「いいえ(参加していない)」が69.6%となっている。

年度別にみると、「はい(参加した)」は減少傾向にある。

年齢別にみると、年齢が高いほど「はい(参加した)」が多い傾向にある。

図49 ボランティア活動への参加状況



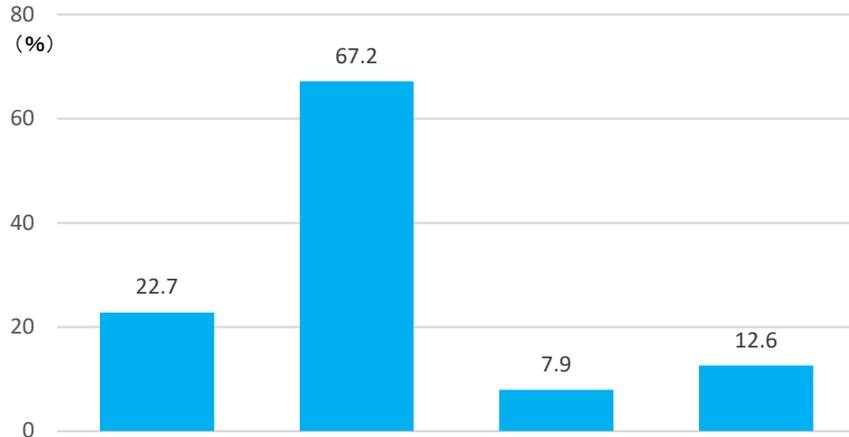
問44 ボランティア活動の内容は何ですか

ボランティア活動の内容は6割強が「環境分野」となっている。

ボランティア活動に参加したことがある方について、その活動内容を見ると、「環境分野」が67.2%、「福祉分野」が22.7%、「教育分野」が7.9%となっている。

地域別にみると、利賀地域は「環境分野」が100.0%と他に比べて多くなっている。また、福野地域は「環境分野」が53.2%と他の地域と比べて最も低くなっている一方で、「その他」が18.2%と最も多くなっている。

図50 ボランティア活動の内容(MA)



		福祉分野	環境分野	教育分野	その他
全体 N=405		22.7	67.2	7.9	12.6
年度別	R2年 N=552	23.0	74.8	9.4	7.8
	R1年 N=547	21.4	71.8	11.0	8.0
	H30年 N=597	20.1	74.2	11.4	7.5
	H29年 N=586	18.6	75.4	8.7	7.7
	H28年 N=636	20.2	73.0	10.8	7.1
年齢別	18～19歳 N=2	0.0	50.0	0.0	50.0
	20～29歳 N=5	40.0	40.0	20.0	20.0
	30～39歳 N=14	14.3	78.6	14.3	28.6
	40～49歳 N=43	9.3	65.1	18.6	11.6
	50～59歳 N=66	12.1	78.8	13.6	13.6
	60～64歳 N=44	20.5	70.5	4.5	6.8
	65～69歳 N=101	21.8	66.3	5.9	12.9
70歳以上 N=129	34.9	61.2	3.1	11.6	
地域別	城端地域 N=56	26.8	58.9	7.1	17.9
	平地域 N=13	15.4	84.6	7.7	0.0
	上平地域 N=13	38.5	76.9	0.0	0.0
	利賀地域 N=3	0.0	100.0	0.0	0.0
	井波地域 N=91	23.1	70.3	11.0	13.2
	井口地域 N=13	23.1	84.6	0.0	7.7
	福野地域 N=77	24.7	53.2	10.4	18.2
	福光地域 N=133	19.5	72.9	6.8	8.3

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

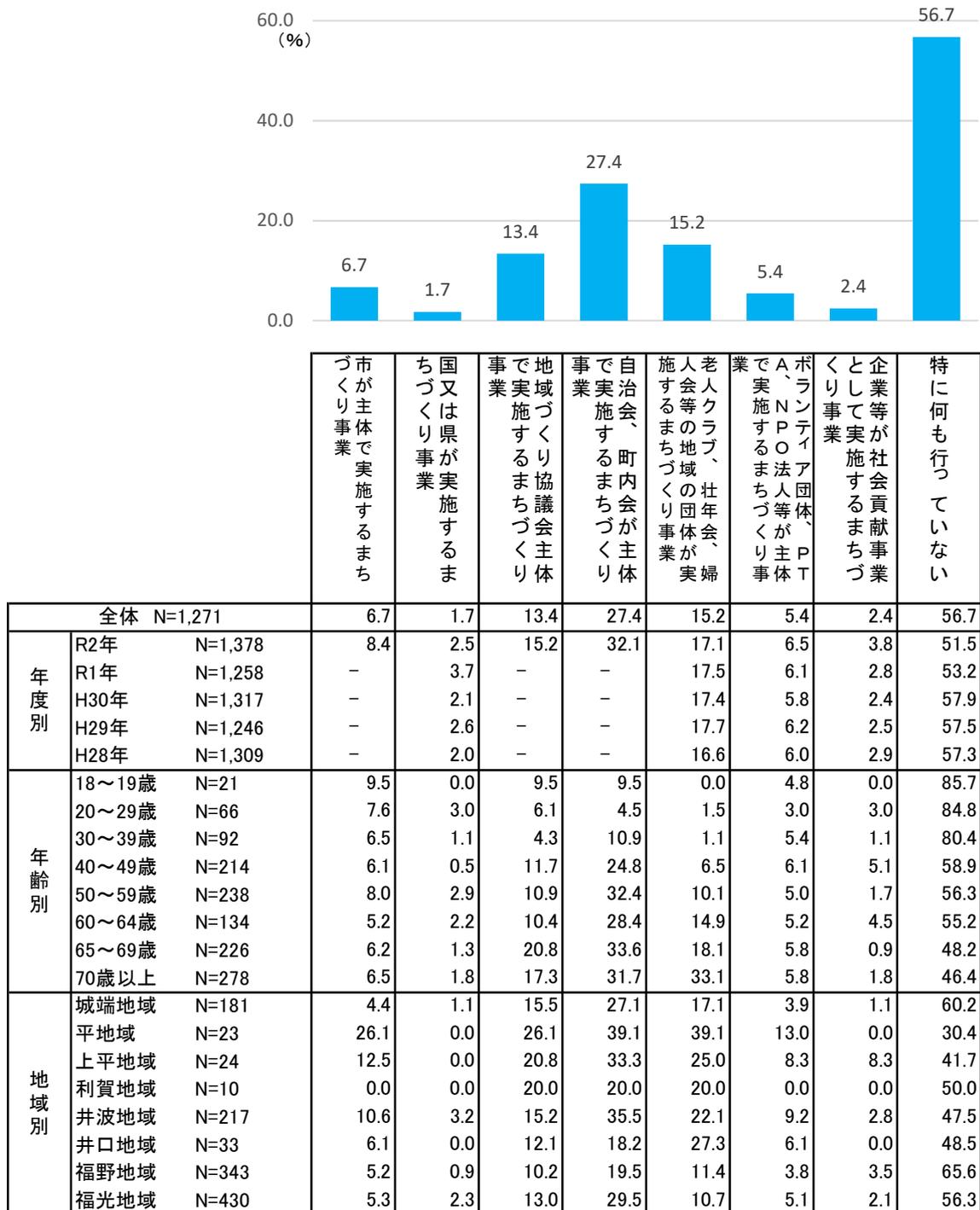
問45 協働のまちづくりとは、市民、市民団体、事業者及び市が協力して、地域の課題解決に取り組むまちづくりの手法のことです。あなたは、どのような協働のまちづくりに取り組んでいますか。

全体の5割強は協働のまちづくりに取り組んでいない。

協働のまちづくりへの取り組み状況を見ると、「自治会、町内会が主体で実施するまちづくり事業」が27.4%で他のまちづくり事業と比べて最も多いが、「特に何も行ってない」が56.7%と最も多くなっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど「特に何も行ってない」が増加傾向にある。

図51 協働のまちづくりへの取り組み状況(MA)



※H28～R1は設問内容に相違点あり

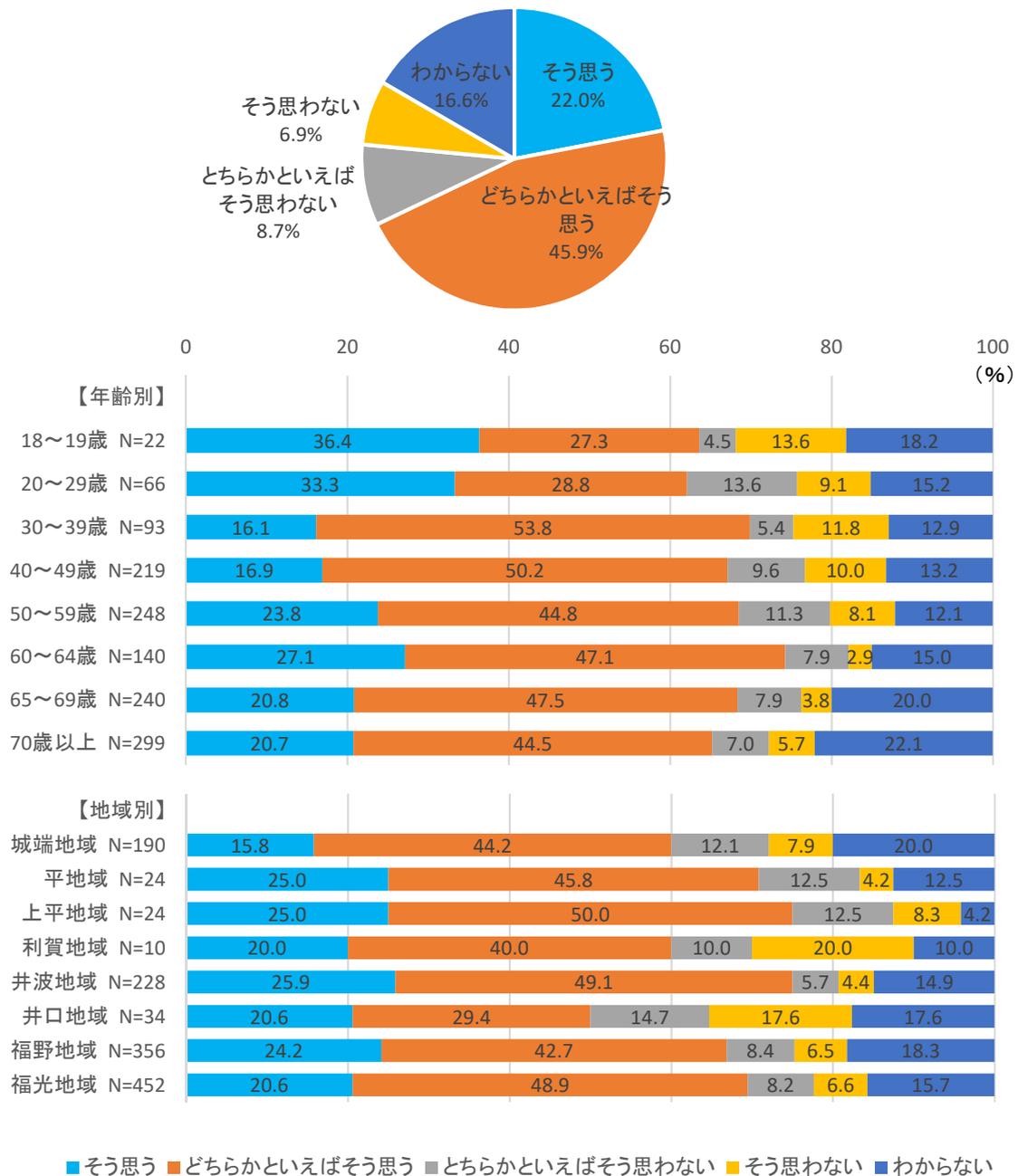
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問46 あなたは、「みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる」と思いますか。

全体の6割強が「みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる」と思っている。

「みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる」という思いについてみると、「そう思う」が22.0%、「どちらかといえばそう思う」が45.9%、「どちらかといえばそう思わない」が8.7%、「そう思わない」が6.9%などとなっている。
年齢別にみると、60～64歳は「そう思う割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が74.2%と最も多くなっている。

図52 みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になると思う N=1,329

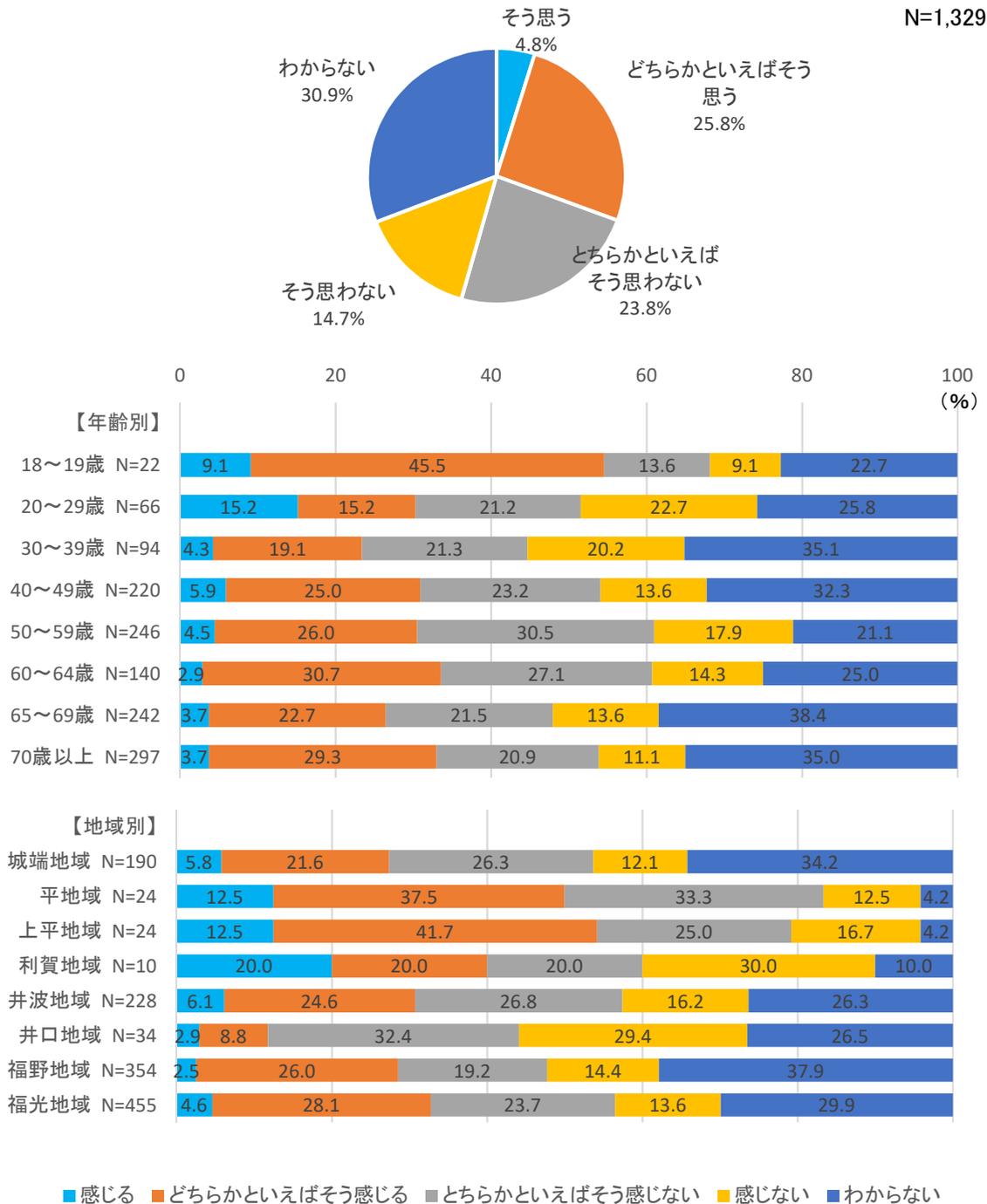


問47 あなたがお住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか。

全体の3割は自分達の地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じている。

文化や言語が異なる人々を理解しようとする雰囲気があるかについてみると、「そう思う」が4.8%、「どちらかといえばそう思う」が25.8%、「どちらかといえばそう思わない」が23.8%、「そう思わない」が14.7%などとなっている。
地域別にみると、上平地域は「そう思う割合(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)」が54.2%と他の地域と比べて最も多く、次いで平地域が50.0%となっている。

図53 お住まいの地域に文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があるか



問48 あなたは、南砺市が発信している次の情報を利用していますか。利用している場合、それらの内容はわかりやすいと思いますか。

全体の7割が広報なんどを利用し、利用者の8割が広報なんどをわかりやすいと思っている。

南砺市が発信する情報についてみると、広報なんどを「利用している」が74.3%、「利用していない」が25.7%、南砺市ホームページを「利用している」が33.7%、「利用していない」が66.3%、南砺市フェイスブックを「利用している」が5.3%、「利用していない」が94.7%となっている。

それぞれの利用者を見ると、広報なんどを「わかりやすいと思う割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）」は82.3%、南砺市ホームページは53.3%、南砺市フェイスブックは21.0%となった。

図54 南砺市が発信する情報の利用状況

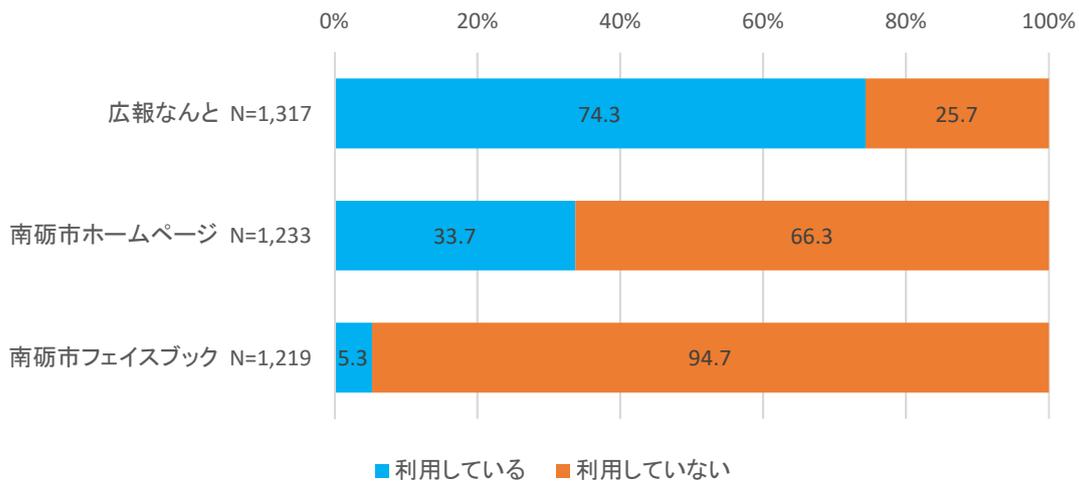
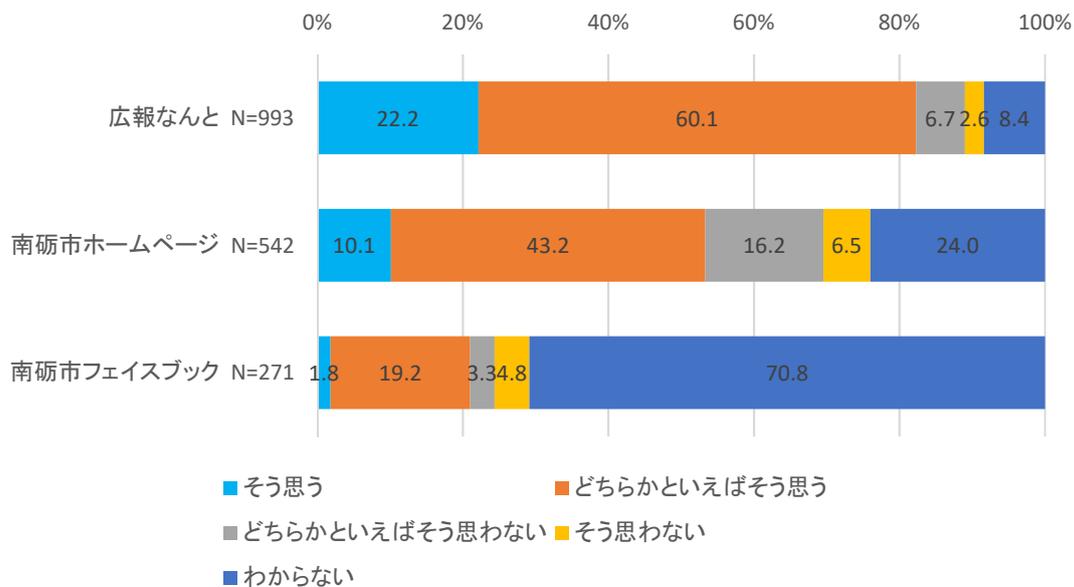


図55 南砺市が発信する情報のわかりやすさ

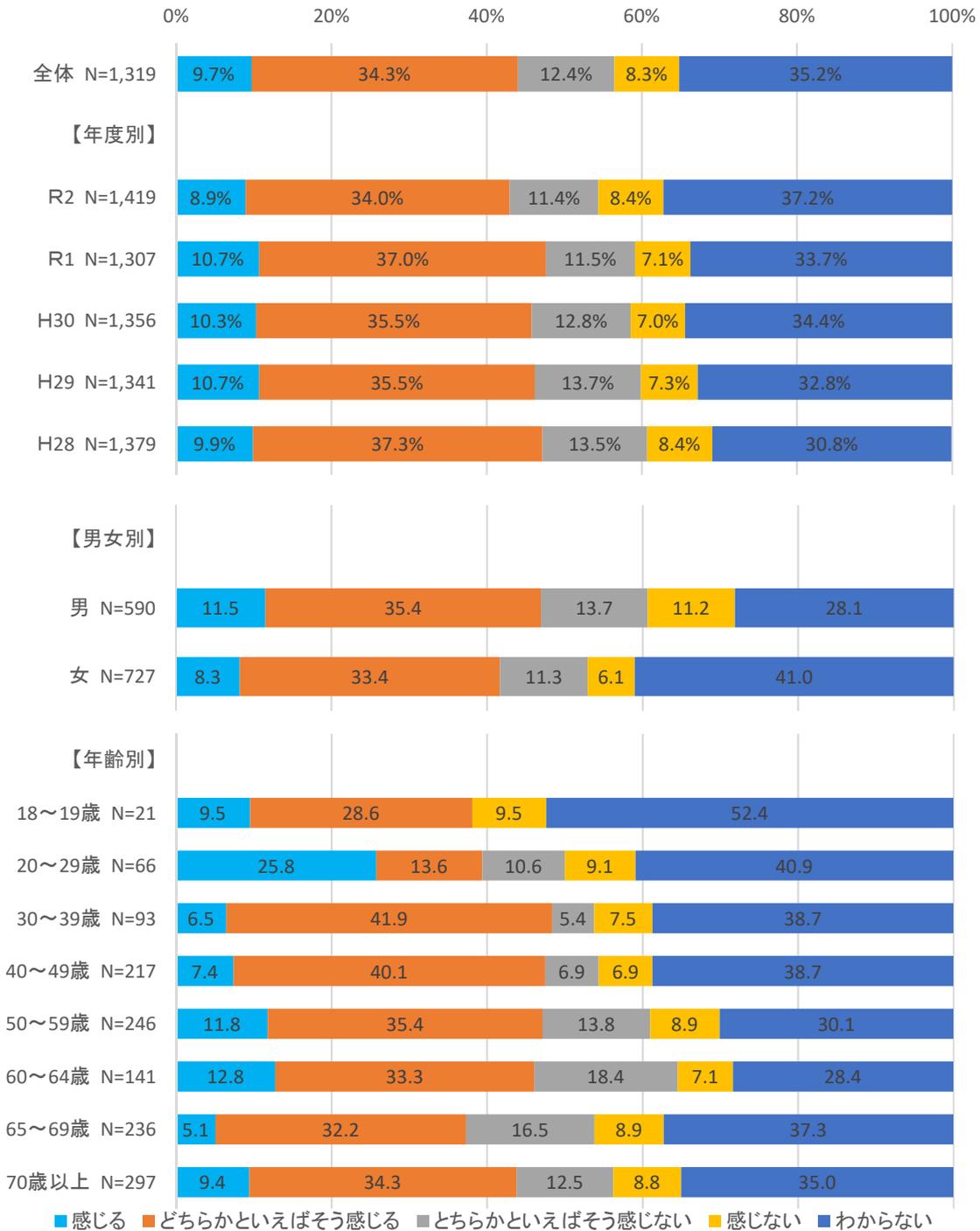


問49 あなたは、南砺市の行政サービス(市役所の仕事)の水準は適正だと思いますか。

全体の4割は南砺市の行政サービスの水準が適切だと思っている。

南砺市の行政サービスの水準は適切だと思うかをみると、「そう思う」が9.7%、「どちらかといえばそう思う」が34.3%、「どちらかといえばそう思わない」が12.4%、「そう思わない」が8.3%となっており、「そう思う割合(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が44.0%となっている。

図56 南砺市の行政サービス水準

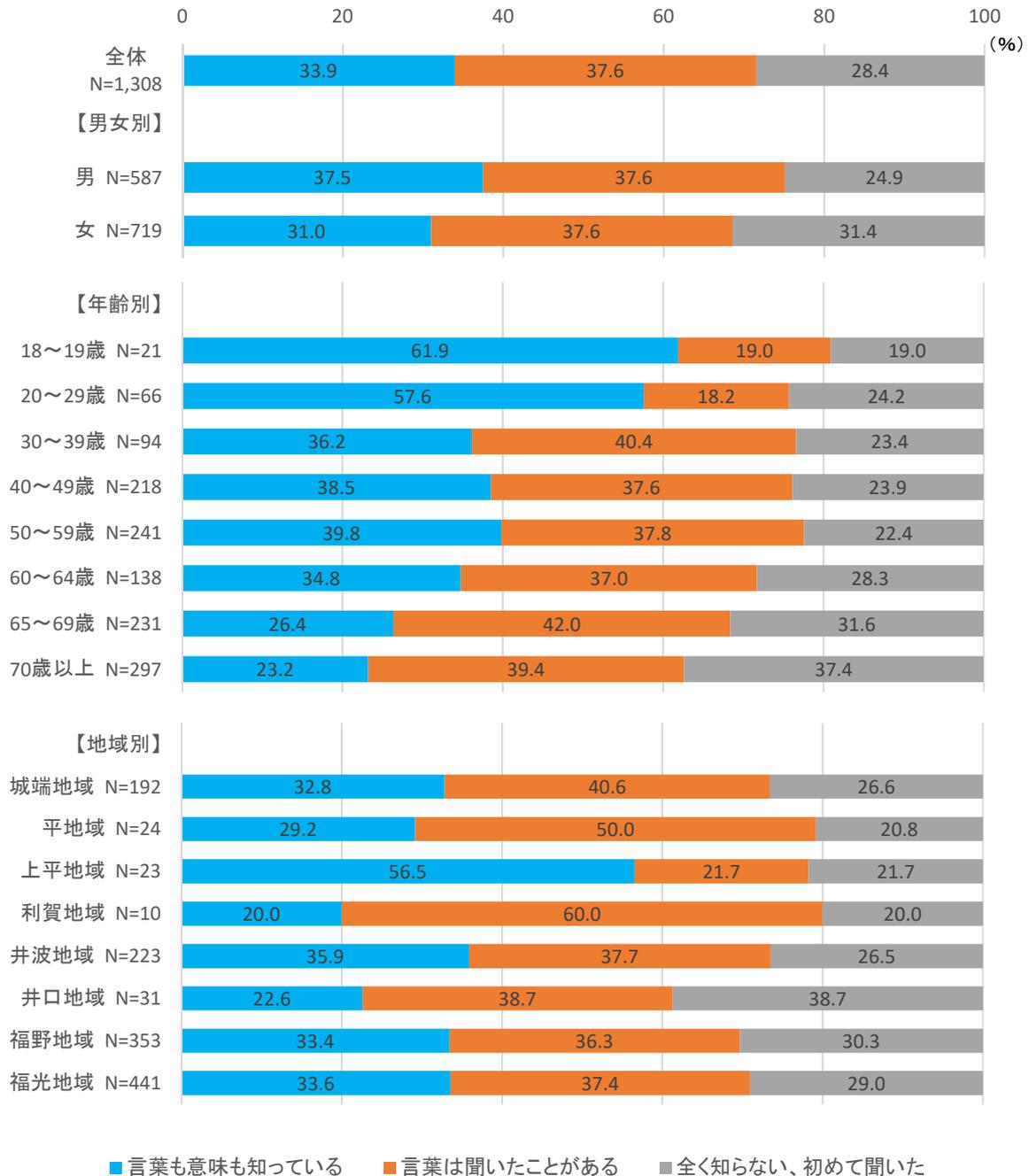


問50 あなたは「SDGs」についてどの程度知っていますか？

全体の3割はSDGsの意味を知っている。

SDGsの認知についてみると、「言葉も意味も知っている」が33.9%、「言葉は聞いたことがある」が37.6%、「全く知らない、初めて聞いた」が28.4%となっている。
 年齢別にみると、18～19歳は「言葉も意味も知っている」が61.9%と最も高く、年齢が高くなるにつれて減少していく傾向にある。

図57 SDGsの認知状況

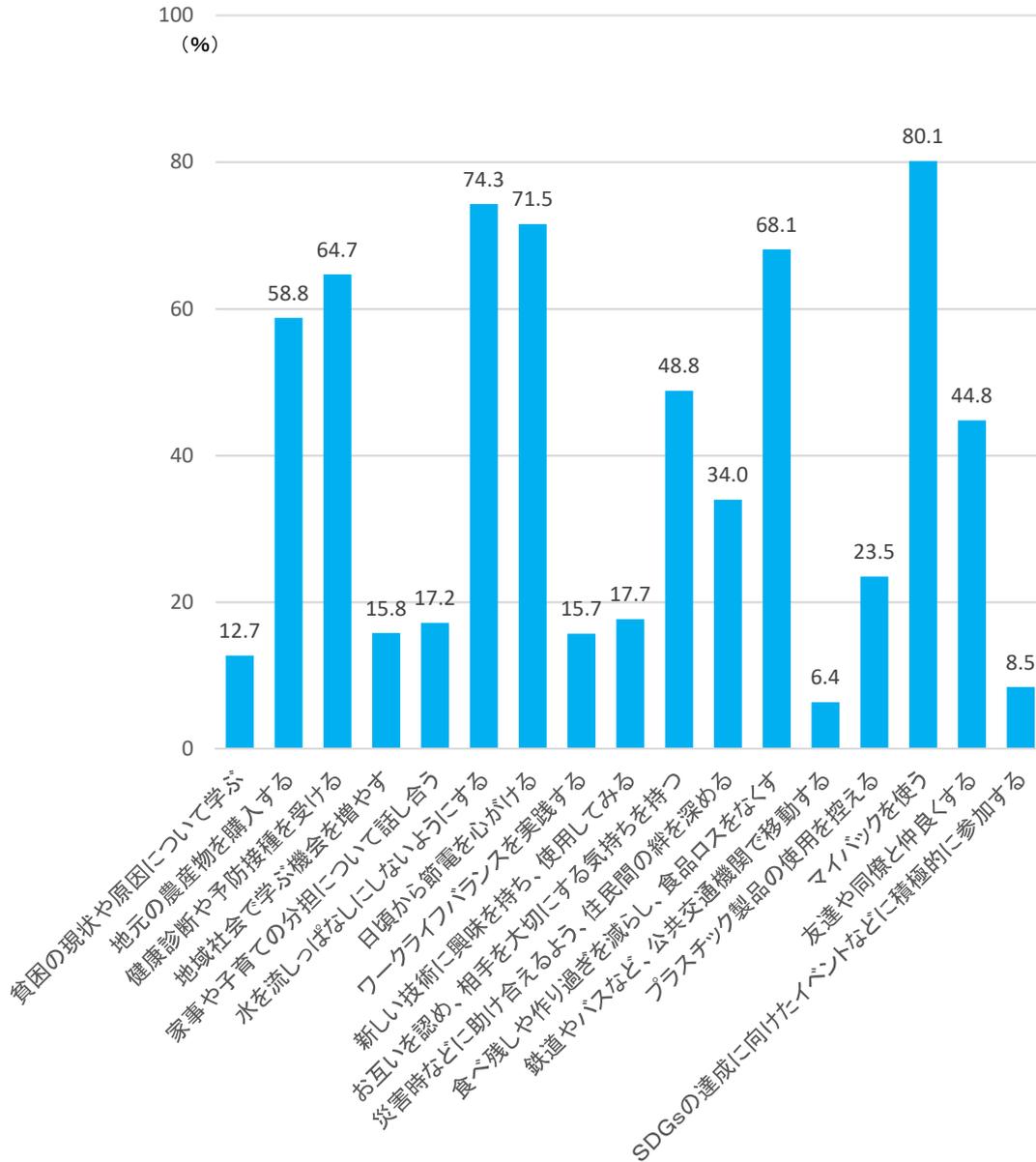


問51 「SDGs」の達成には身近な行動が大切です。あなたが取り組めると思うものは何ですか。

最も取り組めると思うのは「マイバックを使う」となっている

SDGsの取り組めると思うものについてみると、「マイバックを使う」が80.1%で最も多く、次いで「水を流しっぱなしにしないようにする」が74.3%、「日頃から節電を心がける」が71.5%などとなっている。

図58 SDGsの取り組めると思う行い(MA) N=1,360

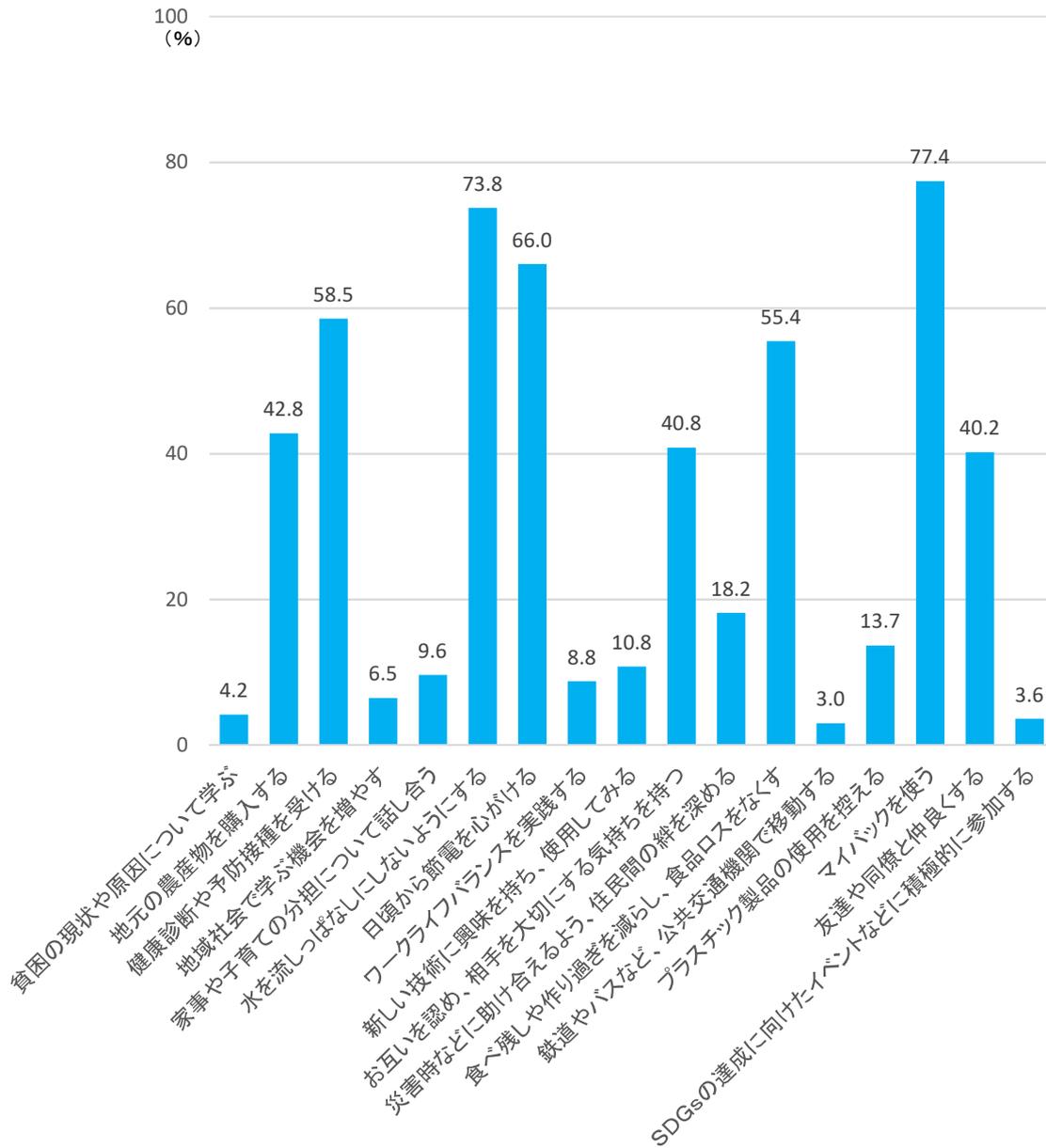


問52 実際に取り組んでいるものは何ですか。

実際に取り組んでいるSDGsの行動で最も多いのは「マイバックを使う」

SDGsで実際に取り組んでいる行動についてみると、「マイバックを使う」が77.4%で最も多く、次いで「水を流しっぱなしにしないようにする」が73.8%、「日頃から節電を心がける」が66.0%などとなっている。

図59 SDGsの実際に取り組んでいる行い(MA) N=1,360

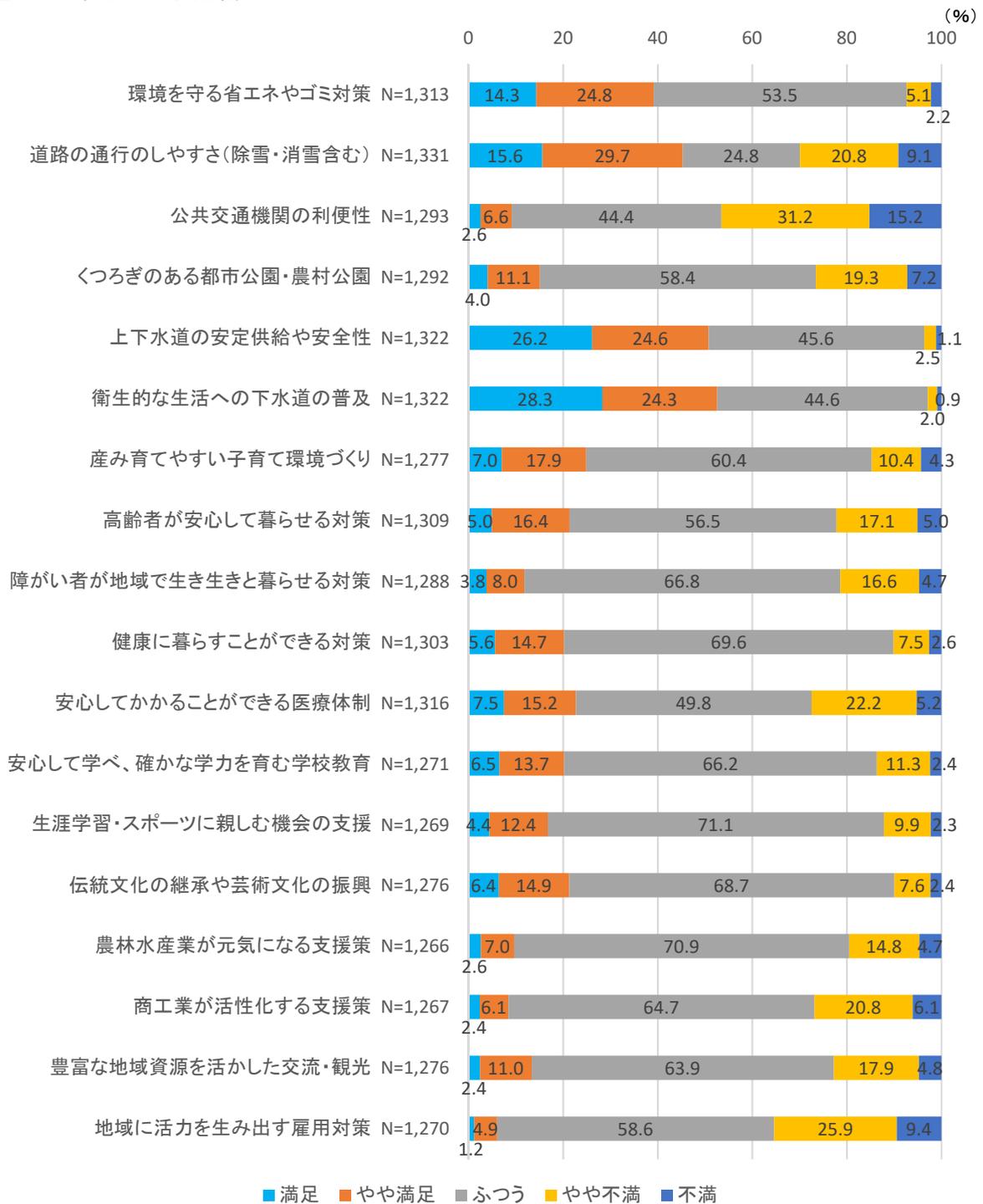


問53 最後に、南砺市の市政への満足度をお聞きます。

最も市政への満足度が高いのは「衛生的な生活への下水道の普及」。

全体の「市政への満足度」の割合をみると、「衛生的な生活への下水道の普及」が28.3%と最も多く、次いで「上下水道の安定供給や安全性」が26.2%、「道路の通行のしやすさ」が15.6%、「環境を守る省エネやゴミ対策」が14.3%となっている。

図60 市政への満足度



Ⅲ 自由意見集計結果

1. 記入状況

記入数 271通：アンケート回収数(有効回答数)1,360通に対し19.9%に当たります。

2. 意見分類一覧

回答いただいたご意見を下記のように分類しました。

主な分野	件数
ICT・情報	15件
SDGs	5件
コロナ	17件
移住・定住	6件
医療・介護	12件
観光・交流	6件
公共施設	16件
出産・子育て	12件
自治	14件
商工業	20件
生活環境	30件
道路・除雪	41件
農林業	9件
福祉	11件
防災	6件
行政・議会	47件
少子化・高齢化	5件
税・公共料金	8件
教育・文化	11件
公共交通	25件

3. 意見詳細

ご意見の概要は次の通りです。

分類	主な意見	件数
ICT・情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットインフラを整備し、企業誘致に力をいれてほしい。 ・ ネットを使用して手続きすることが多くなっているが、高齢者には無理なことが多い。 ・ 高齢者にやさしい自治をお願いしたい。デジタル化が進行しているが高齢者はこれに弱い。 ・ コロナワクチン接種の回覧がなされたが、高齢者がWEB、コールセンターを解釈できただろうか。 ・ 老人社会にもネットを身近に利用できる教育の場が必要。 ・ 山間部に携帯電話の電波がほとんどない場が本当に多い。災害時や緊急時等、連絡を断たれてしまう状況が怖い。 ・ もっとICTを活用したまちづくりをお願いします。教育にも行政サービス、医療(子育て)についても先進的に進めていってほしい。 	15

分類	主な意見	件数
SDGs	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ対策が優先される昨今ですが、アフターコロナを見据えて教育、公共交通、高齢者対策などの充実で住みやすい南砺市を目指し、世界規模のSDGsを個人が身近なところから始められるようSDGsをもっと広める広報活動をやってほしい。 ・ SDGsを教えてほしい。 ・ SDGsとか、地球温暖化とか、CO2ゼロとかいってますが、南砺市としては具体的にいつまでどのような政策をしていくのか。 	5

分類	主な意見	件数
コロナ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナワクチン接種の予約がとりにくい。 ・ コロナワクチン接種の予約について、年寄りでも簡単に手続きできるよう弱者に寄り添った行政にしてください。 ・ ワクチンの受理のような重大なことについて早い者順のような安直な対応はやめてほしい。 ・ コロナに対する意識を高め南砺市より出さない強い考えをしてほしい。 ・ コロナ感染者の居住地をもっと詳しく載せてほしい。“南砺市”だけではわからず濃厚接触者の有無がはっきりしていない。 ・ 南砺市の接種率が他の市に比べて遅いのはなぜか。予約方法もこんなに混雑しないような方法がないのか。今後のためにも検証していってほしい。 	17

分類	主な意見	件数
移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住者ばかりに手厚いイメージがある。 ・ 南砺市で家建てたい時のメリットや優遇策が無い。 ・ 砺波市は支援対象者が「転入世帯または子育て世代」なので、子育ても考えたら砺波に家建てたいと思う。 ・ 新築補助金100万円が市外からの転入者に限るのが不満。市内の新築の方が恩恵あるべき。流入よりも流出を抑える方が優先と思う。 	6

分類	主な意見	件数
医療・介護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関が少ない。小児科が少ない。皮膚科がない。耳鼻科がない。専門的なところがない。 ・ 災害時に医療活動を続ける指針となる市民病院の業務継続計画(BPU)の策定が急務と思う。病院だけで全ての業務に対応するのは限界があり、一般の市民や企業団体がサポートすることが大切。病院を核に、地域全体で災害に耐える力を高める努力を地域づくり協議会のテーマとして取り組む必要がある。 ・ 南砺市・砺波市を含む広域で住民の医療データをクラウドサーバ上で保管し、何の病院からでも利用できるようにしてほしい。 ・ 大きな市立病院が2ヶ所あるのはムダとしか思えない。 ・ 病院の待ち時間が長すぎる。予約時間どおりに診察してほしい。 ・ 病院は予約優先、具合が悪くて受信しても何時間も待たされる。 ・ 介護の現場では人手不足で高齢の職員が高齢の利用者を介護している、若い人材の育成が絶対必要。 ・ 南砺市内の小児医療機関についてもっとPRしていいと思う。家庭地域医療センターの小児科(心療内科ではない方)を知らない人が多いのではないか。 	12

分類	主な意見	件数
観光・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光にも力を入れるようになってほしいと思う。 ・ 長野県の小布施クラスの観光地になってほしい。 ・ ドッグランを作してほしい。景観が良いのでカフェ等もっと観光スポットになればいい。 ・ 道の駅のお風呂を復活してほしい。 ・ 休日だけでも井波の八日町通りを通行止めにしてほしい。 ・ すばらしい物がたくさんあるので、もっと多くの人が観光に来れたらと思う。すごく良い所だと発信できたらと。 	6

分類	主な意見	件数
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園がほしい。公園をもっと充実させてほしい。 ・ 子供目線で公園を整備してほしい。(小学生でも届かないような高さの遊具がある) ・ 都市公園の遊具が壊れてそのままになっている。 ・ 体育館が利用し辛くなった。市民が使いやすい体育館利用システムにしてほしい。 ・ 福野植物園の利用価値が低い。周辺に幼児の遊ぶ場を作ってみてはどうか。 ・ 使用しなくなった箱物があまりにも多いと思う。 ・ 平・上平の保育園統合やめてほしい。 ・ 保育園が遠くなるのは地域で子供を育てるという市の姿勢と違うのでは。 	16

分類	主な意見	件数
出産・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠したら出産する場所が無い。産科がない。産科を作ってほしい。 ・ 手厚い子育て支援策の拡大を求む。 ・ 子供の医療費助成について、“ピンクの紙”の提出がなくなり非常に助かった。しかし対象市町村を拡大していただけたらなおありがたい。 ・ 保育園のアプリ(コドモン)がとても便利。小中学校でも似たものがあるといいな。 ・ 雨天時や冬期に子供を遊ばせる施設がなく、子供が小さいとき困りました。 ・ 子育て中の市の補助が世帯主でないと振込できないと言われた。子育ては夫婦で行うもの。どの通帳でもいいのではないか。 	12

分類	主な意見	件数
自治	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の地域間にまたがる課題を解決してゆく場合、問題解決の過程にコーディネーターのような第3者が支援する体制があればよい。 ・ 地域ごとの協働のまちづくりというが、参加するメンバーはいつも同じ。とても不公平。 ・ 地域づくり協議会の役割、内容がわかりにくい。トップ(役員)に行政のあまくだりが多い。 ・ 小規模多機能自治は住民によく理解されないまま導入されているように思う。 ・ 合併して市になり、行政センターが市民センターになり、以前の役場でしてもたっていたことが地域づくり協議会でしていたり、その仕組みについていけない。 ・ 各地域のサロンとか公民館運営にしても世話をする人が元行政機関に勤めていた人とか病院関係の人でいつも同じ。1年毎に交代するとか公平に選んでほしい。 ・ 地元の方々はもっと仲良くなる機会があればいい。 	14

分類	主な意見	件数
商工業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者が働ける企業を南砺市に来てもらえるよう働きかけてほしい。若い人の働く場所が少ない。 ・ 大規模商業施設や工業企業を立地してはどうか。 ・ GUとかユニクロとかイオンとかほしい。 ・ PayPayを利用していないため、キャンペーンの恩恵がなかった。特定の事業者を支援するような施策は問題があると思う。 ・ PayPayよりも各家庭に商品券を配った方が、すべての家庭に公平に分配されて良かったと思う。 ・ キャッシュレスをもっと推進してほしい。 ・ 南砺市は広く旧町村のそれぞれの特色が豊かだと思うが、商業(食料品や衣服)は一部の地域に集中し、選択肢が少なく寂しい。 ・ 若い人材が欲しい。雇用したいが斡旋はできないのか。 ・ 地域に就職したいので、ハローワークのような情報がネットにほしい。 ・ 商工会通しの助成金は聞いていかないと知らずに終わっていた。 	20

分類	主な意見	件数
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野焼きを堂々とやっている人がいる。 ・ 庭木の枝や落ち葉の処理に困っている。散居村カインヨを文化とするなら、枝・葉の処理についてもう少し真剣に考えてほしい。 ・ 屋敷林などの枯山枝処理について代替案を望む。「燃やすな」「袋で」は現状に合わない。 ・ 南砺市指定ゴミ袋が小さい。破れやすい。強度があり大きな袋も作ってほしい。 ・ 身近に焼却施設があればいい。 ・ 粗大ごみの戸別回収を行ってほしい。富山市のような、戸別有料回収のサービスを南砺市でも行ってほしい。 ・ 常設の資源回収場を作ってほしい。 ・ ゴミ回収日が少ない。時間が短い。 ・ 放置されている空き家の対策が不明。 ・ まち中の一等地にある廃屋と化した建物をホントなんとかしてほしい。 	30

分類	主な意見	件数
道路・除雪	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬期の除雪、スクールゾーンだけでも通学時間前(6:30ごろ)にしてほしい。子供たちが車道を歩かなければならない。 ・ 急なドカ雪に対して迅速な対応があれば非常に助かる。 ・ 融雪装置の普及が不十分であり偏りがある。融雪装置を増やしてほしい。 ・ 町の小路で除雪車が入ってこれないところに融雪装置を設置してほしい。 ・ できるだけ除雪をお願いしたい。家の前までしてほしい。 ・ 南砺市の除雪スキルは高いと感じる。冬の除雪が早いので有難い。 ・ 除雪の素晴らしいところと下手な地域の差がありすぎる。 ・ 市道(路肩歩道)の雑草が景観として見苦しい。除草してほしい。 ・ 街路樹が育ちすぎ、根の部分で歩道や鉄製の蓋が持ち上がり危ないので対処してほしい。 ・ 道路の補修要望をだしてもなかなか直してもらえない。 ・ 国道が止まった時村内放送がなかった。通行止めときは放送してほしい。 ・ 白線が薄くなっているところが目立ちすぎているので引いてほしい。 	41

分類	主な意見	件数
農林業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地所有者で農業をしていない人が増えている。水路や農地の改良・改修時に理解・協力してもらえよう施策を考えておかないといけない。 ・ 個人の所有でない用水や農道の修繕を国や市でおこなってほしい。自治会でも土地改良でも対応してもらえない。 ・ 地産の主力商品を決めて一転集中で取り組まないと成果が上がらないと思う。 ・ 先祖代々から譲り受けた山だが、何にもならない。何とかしてほしい。 ・ 転作が多く農作物に支援が必要だと思う。 	9

分類	主な意見	件数
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物に行っても、子供を乗せるものはあるけど老人用の車はない。病院にあるような手押し車があればよいのに。 ・ デイサービスがない。 ・ 障がい者がいきいきと暮らせる対策とあるが、どのような対策があるのか教えてほしい。 ・ 生活弱者の立場に立ったやさしい政策をつくってほしい。大きな声を出した方に有利になるのではなく、小さな声にも耳を傾けていただきたい。 ・ もっと障がい者に対して目を向けていただきたい。老人、一人暮らし、障がい者は力がなく発信力はありません。 ・ 一人暮らしの高齢者(デイサービスを利用していない人)が入浴する場所がなくて困っている。家のお風呂は寒いし掃除も大変、転んだりしたら心配。 ・ 介護支援を充実させてほしい。認定や入所までの時間がかりすぎる。 	11

分類	主な意見	件数
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郊外放送がまったく何を言っているのか聞こえない。 ・ 防災行政無線が聞き取りにくい。ゆっくり間を開けて発音してほしい。 ・ 聞き直しサービスを知らなかったし、確認しようと思わない。 ・ 最近の水害、災害に不安を感じ、大雨になるたびに不安になる。 	6

分類	主な意見	件数
行政・議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要な職員の人員整理をお願いします。 ・ 職員の対応が上から目線になっている方がいる。 ・ 市民との調和を考えて行動してほしい。 ・ 行政はコロナ禍に人を集めるイベントをやりすぎ。ステイホームを求めているのに人を集めている。 ・ サービス、行事が目につかず見えないことがある。年配者にもわかりやすい明解な発信、取得できるツールがあればと思う。 ・ 市職員も市長と同じレベルの発言ができるようになってほしい。使命感とか責任感を感じる人が少ない。 ・ 国に対してもっと交付金をだすように要求すべき。地区の自治に対して行政による支援は不可欠。 ・ 公務員が少なすぎる。もっと増やすべき。 ・ 庁舎が統合して支払等の手続きしかできない火曜延長は意味がない。火曜の延長をやめて半日でも良いので休日に行政手続きできるようにしてほしい。 ・ 「一流のいなか」の方向性の意味がよくわからない。 ・ 施設の利用者、行政の支援を必要とする人の意見ばかり聞かず、施設で働く人、支援をする人の意見も聞いてほしい。 ・ 知ろうとしないと耳に入ってこないことが多く、情報発信の仕方、受け取り方は難しい。 ・ 地域創生・再生の実権のあるコンサルタントと組んで、住民を含めたタスク・フォースをつくってはどうか。 ・ 福光(庁舎所在地)以外の地域の衰退を危惧しています。 ・ 毎月の広報といっしょに配布されるチラシが多すぎる。 ・ 地域のイベントの一貫性がない。南砺市全体のイベントがない。 ・ 他人や他市の模倣、変形した事業に終始するだけでなく、独自の画期的な事業を立案できる市議の出現を期待します。 ・ 選挙が行われない市議会では質の低下が心配。 	47

分類	主な意見	件数
少子化・高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供、若い人がとても少ない。地域の活力が年々失われている。 ・ 年々少子化が進み、市政でもいろいろされているが、なかなか改善されない。 ・ 高齢化が進み子供の数がどんどん減っていくのを寂しく感じる。 	5

分類	主な意見	件数
税・公共料金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南砺市は税金が高い、公共料金も高い。 ・ 砺波市は税金が安いのに。 ・ 水道代が他の自治体に比べて高いと聞いた。 ・ 固定資産税が高い。農地を所有しているものが不利に思える。 ・ 上下水道料金をクレジットカード払いで払いたい。 	8

分類	主な意見	件数
教育文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の部活動が、生徒数の減少により活動しづらい状況なので、合同チームか中学校の統合を検討してほしい。 ・ 学力にものすごい差が出ている。きちんとした授業がなされていない。 ・ 部活を中心に考えれば校区を超えて考えることがいいように思えるが、地域から学校がなくなる可能性がある。 ・ 校区外に通う交通費を補助してほしい。 ・ 福光地域の小中学校の統合を早く進めてほしい。 	11

分類	主な意見	件数
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城端線の主な使用者は学生なのに、学生に寄り添った運行になっていない。 ・ 授業開始にタイミングが合う朝のバスがあると助かる。 ・ JR城端線帰りの通学だけでももう少し本数を増やしてほしい。 ・ バスが少ない。 ・ 移動が不便。 ・ 福野駅と石動駅までの公共交通を充実させてほしい。 ・ 南砺中央、南砺市民病院への交通の便が悪い。 ・ 高齢者がいつでも行きたい時間に行きたい所へ行ける対策をしてほしい。タクシー代の補助やつきそいボランティアなどの対策があると助かる。 ・ 免許の返還時に中途半ばではない対策を考えてほしいです。 ・ いずれ免許を返納すると思うが現状ではもっとバスが充実しないと無理。 ・ 免許返納した場合、安心して買い物や病院に行けるわかりやすいバスにしてほしい。 ・ 市営バス⇄電車のタイムロスを少なくしてもらえると嬉しく利用しやすい。 ・ マイカーなしでも充実した生活ができる、歩いて暮らせる街づくり、地域づくりを願う。 	25